

平成23年度

# 山梨県立博物館年報

Annual report of the Yamanashi Prefectural Museum



## はじめに

平成23年度は開館してから5周年度目までの運営状況について検討を加え、『総合評価報告書』を公刊しました。そのことで、当館の成果と課題が明確になりました。今後、開館10周年度目に向けて、課題については順次改善していき、より適正な館運営に努めてまいります。

今後の大きな目標の一つは、子どもたちが博物館の生きた資料から、日常的に山梨の歴史を学べる場を提供することです。東日本大震災は私たちに改めて災害、自然に対する向きあい方について再考を迫るものでした。自然はさまざまな資源を通じて人間に豊かさをもたらす存在であるとともに、脅威を与える畏怖の対象としても存在したことを多くの人たち、とりわけ子どもたちに向けて情報発信したいと考えております。

そのためには、博物館の基本的活動である調査・研究事業をたゆまなく推進する必要があります。平成23年度の活動は、日本学術振興会 科学研究費補助金の助成を受けた調査・研究が4件、民間の研究助成を受けた調査・研究が3件あり、外部資金を得ながら充実した調査・研究体制を構築いたしました。今後、こうした調査・研究の成果を、展示や講座・講演会等とおして広く公開し、「『山梨の自然と人との関わりの歴史』を学ぶ場を目指す」という当館の使命実現に努めることとします。

また、昨年度はこれまでも要望が多かった県都 甲府に関わる企画展「柳沢吉保と甲府城」と「おふどうと名乗った家—豪商大木家の350年—」を相次いで企画・開催しました。関連事業についても甲府市役所・甲府市教育委員会及び甲府市内の多くの個人・関係団体と連携して実施しました。これも「交流のセンターを目指す」という当館の使命の実践であります。

今後とも、山梨県立博物館に対する皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

山梨県立博物館

館長 平川 南

# 目次

## はじめに

### 第Ⅰ編 山梨県立博物館の目指すところ

#### 第1章 県立博物館の評価制度 …… 1

- (1) 県立博物館の使命 …… 1
- (2) 県立博物館の評価制度 …… 1

#### 第2章 通信簿ツアーの実施 …… 2

- (1) 通信簿ツアーの内容 …… 2
- (2) 通信簿ツアーの結果 …… 4

### 第Ⅱ編 事業・諸活動

#### 第1章 運営・ミュージアムサービス …… 18

- (1) 運営・ミュージアムサービスの方針 …… 18
- (2) 平成23年度利用者状況一覧 …… 18

#### 第2章 調査・研究 …… 22

- (1) 外部資金による調査・研究 …… 22
- (2) 県費による調査・研究 …… 27
- (3) 個別調査・研究 …… 29
- (4) 調査・研究成果の公表 …… 31
- (5) 富士山世界文化遺産学術調査・研究への協力 …… 33

#### 第3章 資料の収集・保管・活用 …… 34

- (1) 資料収集の方針 …… 34
- (2) 資料の収集 …… 34
- (3) 資料の整理・目録（データ）化 …… 35
- (4) 資料の修復・管理 …… 36
- (5) 資料の活用 …… 36

#### 第4章 展示 …… 38

- (1) 常設展示 …… 38
- (2) 企画展・シンボル展 …… 46
- (3) 展覧会関係刊行物 …… 67

#### 第5章 企画交流事業 …… 68

- (1) 生涯学習サービス事業 …… 68
- (2) 博学連携 …… 70
- (3) 博物館同士のネットワーク …… 74
- (4) 広報 …… 75

#### 第6章 施設の整備・管理 …… 76

- (1) 安全快適な施設づくり …… 76
- (2) 施設開放 …… 76

#### 第7章 情報の発信と公開 …… 77

- (1) 資料閲覧室の利用状況 …… 77
- (2) 博物館総合情報システム …… 78
- (3) 博物館ホームページ …… 79

#### 第8章 県民参画 …… 80

- (1) NPOとの連携 …… 80
- (2) 博物館協力会（ボランティア）との連携 …… 81

#### 第9章 組織・人員 …… 82

- (1) 職員の資質向上 …… 82
- (2) 第三者委員会 …… 82

#### 第10章 外部支援と連携 …… 84

- (1) 外部支援 …… 84
- (2) 外部との連携 …… 84

### 第Ⅲ編 各種資料

#### 1 組織・職員等名簿 …… 85

#### 2 平成23年度予算額 …… 87

#### 3 年間日誌 …… 87

#### 凡例

- ・各事業の経緯・方針・関連法規等については平成17年度年報を参照されたい。
- ・各種委員等の名簿における勤務先・役職等については、全て平成23年度におけるものである。
- ・原則として、各種名簿の順序は五十音順である。
- ・敬称は略している。
- ・「県立博物館」と表記されているものは、全て山梨県立博物館を指す。  
(表紙) 常設展示「城下町の賑わい」のジオラマの人形

# 第I編 山梨県立博物館の目指すところ

## 第1章 県立博物館の評価制度

### (1) 県立博物館の使命

#### 使命1

■山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりの歴史」を学ぶ場を目指します。

山梨県の歴史の特色は豊かで多様な自然に育まれた人々の個性あふれる暮らしの歴史である、とまとめられます。だからこそ「山梨の自然と人との関わりの歴史」を学ぶことは、現在はもとより未来へ開く扉の鍵を探ることにつながるのです。

山梨県立博物館ではその一例として、本県の特色ある生業や富士山への向き合い方、武田氏の動向等々について総合的に資料の収集・調査・研究を行います。そして、その最新の成果を「山梨県の精神の拠り所」として絶えず利用者の皆様に問いかけ、共に考え続けます。

#### 使命2

■山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。

山梨県は、周囲の高い山々によって閉じられた地域という印象を持たれています。ですが、四方を高い山々に囲まれた地域だからこそ、山梨の先人達は昔から活発な「交流」を求めてきました。

こうした歴史にふさわしく、山梨県立博物館は、県内各地の様々な文化施設、史跡・自然をはじめ、県内外の多くの皆様と活発に交流を行います。「交流」のセンターとして、当館を起点に県内各地へと多くの人々の誘導を図り、本県の活性化に絶えず努めます。

### (2) 県立博物館の評価制度

県立博物館の活動が独善に陥ることなく、社会に開かれた活動を行っていくためには、県立博物館の活動を適切に評価し、その結果を運営改善に結びつけていく体制づくりが必要である。

そこで、県立博物館が開館した平成17年度から平成19年度にかけて、県民の代表から構成される第三者委員会「みんなでつくる博物館協議会」（以下「みんつく」、第II編第9章参照）において、県立博物館の評価制度について検討が加えられた。このみんつくでの検討結果については、平成19年9月19日（水）に開催された第8回山梨県立博物館運営委員会（以下「運営委員会」、第II編第9章参照）に付議をして了承を得、平成19年10月10日（水）に館長決裁を行い、正式に県立博物館の評価制度として決定した。

県立博物館の評価制度は、上に掲げる県立博物館の二つの使命を実現させるために制定されたもので、評価の対象は開館してから5周年度目までとした。具体的には平成17年度から平成22年度末までの運営実績に対して検証を行い、達成点と課題を明らかにすることで、今後の運営改善に結びつけていくというものである。

評価制度の詳細と5周年度目までの評価結果については『山梨県立博物館総合評価報告書—開館5周年度目までにおける評価結果—』（平成24年3月刊）にとりまとめて公刊したので、参照いただきたい。

今後は開館10周年度目（平成27年度）に向けて新たな評価制度を構築することが課題である。

## 第2章 通信簿ツアーの実施

### (1) 通信簿ツアーの内容

#### ■平成23年度における通信簿ツアーの特徴

平成23年8月7日(日)及び同18日(木)に、県民参画事業(第II編第8章参照)の一環として「通信簿ツアー」を実施した。これは利用者とともに県立博物館を評価する(県立博物館の「通信簿」を付ける)という利用者参加型の評価方法である(本事業の概要は平成18年度県立博物館年報第I編第2章参照)。

平成23年度の特徴は次のとおりである。

- ・質問内容が多すぎるといふ平成22年度の参加者からの声を踏まえ、はい・いいえ方式の設問を導入し、記載の簡素化を図った。
- ・あわせて、これまでどおり記述式の設問も残し、多様な利用者からの声をすい上げる仕組みとした。
- ・当日の参加者数は166名であり、例年並の参加者数を得た。

#### ■通信簿ツアー評価項目

A 山梨県立博物館(かいじあむ)に到着するまでの、道のりは順調でしたか?

1. 博物館までの道のり、迷わずに来られましたか? ご意見
2. 最寄り駅のJR石和温泉駅からいらした方、バスの便はよかったですか? ご意見
3. カーナビをお使いの方、県立博物館がのっていましたか? はい いいえ ご意見

B いよいよ館内に入ります。

1. チケット売り場はすぐにわかりましたか? 受付(総合案内)や案内スタッフの対応はいかがでしたか? ご意見
2. 案内パンフレットは使いやすいですか? ご意見
3. 入場料が必要などところとそうでないところの区別はすぐわかりましたか? ご意見
4. 途中で館外に出ても、当日なら再入場できますが、そのことはすぐわかりましたか? ご意見
5. 館内マップやサイン(案内表示)はわかりやすいですか? ご意見
6. エントランス(入り口)にいろいろな掲示がありますが、気づきましたか?  
気づいたものに○をつけていただけますか? ご意見もあればお聞かせください。(複数回答可)

- ・次回企画展とイベントの案内・県立博物館紹介の新聞スクラップ
- ・エントランス中庭(石舞台)の説明案内
- ・館内の禁止事項の案内

7. 広いエントランスホールは無料ゾーンです。これまでもいろいろな形で利用していますが、「こんな利用方法がよかった」というご意見や、「こう利用したら?」という提案があったらお書きください。 ご意見
8. 博物館の入り口の竹林に風鈴(ふうりん)がかけられています。気づきましたか? 10点満点 ご意見

C 館内は快適ですか?

1. 資料保存のために空調を寒くしているのですが、館内の温度については快適ですか? ご意見
2. 暑さ対策、寒さ対策に案はありますか? ご意見
3. 小さな子が楽しめそうなどところやサービスはありましたか? ご意見
4. 視聴覚障害者向けサービスは充実していると思いますか? ご意見
5. 外国人に対応したサービスは充分だと思えますか? ご意見
6. 館内に休憩できるスペースや椅子は充分ありますか? ご意見
7. 館内に自動販売機があります。どこに置かれているか気づきましたか? ご意見
8. 館内のどこでなら、飲み物を飲んで良いか知っていますか? ご意見

D さて、展示室です。(常設展示について)

1. まず目に入るのは、巨大な山梨の衛星写真(「山梨の舞台」)。自分のまちが見つかりましたか? はい いいえ ご意見
2. 常設展はどのテーマから見ても良いように、展示室内には厳密な順路は設けられていません。それでも、やはり順路があったほうが見やすいという人のために、パンフレットには展示室内の地図があります。うまく順路をたどれましたか? ご意見
3. 展示品のタイトルや解説類の文字の大きさはちょうど良かったですか? 10点満点 ご意見
4. 室内にはジオラマの下の引き出し式展示やタッチパネルの映像をはじめ、ユニークな仕掛けがいろいろありますが、気づきましたか? ご意見

D 展示は楽しめましたか?(体験型展示について)

5. 衛星写真「山梨の舞台」の奥にある賑やかな展示場は実際の資料に触ったり、いろいろなことをゲーム感覚で楽しめる体験コーナーです。体験の仕方はわかりましたか？ ご意見
6. 体験型展示のコーナーだけは実は「写真撮影可」ですが、そのことに気づきましたか？ はい いいえ ご意見
7. 展示理解の手助けとなる解説グッズ類は、充実していると思いますか？ ご意見
- D 展示は楽しめましたか？（常設展示について）
8. ところで、常設展示室内では、2ヶ月ごとに資料の展示替えを行っていますが、常設展のおすすめ資料を紹介したパネルに気づきましたか？そのできればは？ ご意見
9. 特に興味や関心をもった展示はどれでしたか？その理由を教えてください。 ご意見
- D 展示は楽しめましたか？何かを学ぶことができましたか？（企画展示について）
- 平成23年8月29日まで「歴史の中の昆虫たち」を開催中です。
10. 今回の企画展は面白かったですか？具体的にどんなところが？感想を聞かせてください。 ご意見
- E 「資料閲覧室」や「地域インデックス」の充実度は？
- ◎もっと知識を深めたい方は、「資料閲覧室」へ。
1. 資料閲覧室は誰でも自由に使えますが、使ってみた感想は？ ご意見
2. 博物館で収蔵している実物の古文書を見たい方、閲覧手続きの方法はわかりやすいですか？ ご意見
3. 古文書の即日閲覧（申請すれば、その日のうちに博物館収蔵の古文書を見ることができるサービス）というサービスがあることは、わかりやすかったですか？ ご意見
4. 毎月「古文書相談日」、あなたの町に出前する「出張古文書相談日」のいずれかが開かれていますか、その情報はわかりやすかったですか？ ご意見
5. もしお宅に古文書があれば、相談してみたいですか？ はい いいえ ご意見
6. 「甲州文庫」等のデジタル画像を見ることができる検索端末（パソコン）を知っていましたか？使い勝手はいかがですか？ ご意見
- ◎山梨県をもっと幅広く楽しみたい方は、「地域インデックス」へ
7. 博物館周辺のおすすめスポットや、県内各所の観光案内など、情報は充実していますか？ ご意見
8. 常設展や企画展の展示を見て、どこかの地域に実際に行ってみたくと思ったとき、このコーナーは役に立つと思いますか？ ご意見
- F ショップやレストラン、お庭散策も楽しめましたか？
1. ショップは目玉商品をわかりやすく見せるなど、商品陳列の工夫などもありましたか？ ご意見
2. レジの対応はいかがでしょう？ ご意見
3. 買ったもの、買いたいものはありましたか？ ご意見
4. 現在、県立博物館オリジナルグッズとして、博物館の絵葉書と、富嶽三十六景のコースター、マグネット、ボールペンなどがあります。他にどのようなオリジナルグッズや商品があると良いと思いますか？ ご意見
5. レストランの雰囲気やサービス、メニューやお味、お値段など、総合してよかったですか？ ご意見
6. レストランのメニューを山梨県立博物館のホームページで紹介していますが、ご存じですか？ ご意見
7. オープンテラス（博物館レストランの外）で食事をとることができるのをご存じですか？ また、試してみた方はご感想を。 ご意見
8. 建物のまわりの広いお庭と植栽は、博物館の自慢です。毎月「ボランティアによるお庭の見所ガイド」を開催しているのですが、ご存知でしたか？ ご意見
- G イベントや普及プログラムに興味がありますか？
1. 館で行われているイベントプログラムは参加しやすいですか？ ご意見
2. こんなプログラムがあれば参加したい、というのがありますか？ ご意見
3. 博物館と県内市町村をつなぐための「歴史ウォーキング」に興味がありますか？（県博とNPOで制作した、まちミュージアムガイドブックをショップで販売中です） はい いいえ ご意見
- H 館で働く人たちと交流できましたか？
1. 館内スタッフの案内や誘導は上手ですか？ ご意見
2. 展示交流員（女性はグレーのチェックの制服を着ています）の説明はわかりやすかったですか？ 面白い話を聞きましたか？ ご意見
3. 館内には、「協力員」と呼ばれる「ボランティア・スタッフ」がいて、赤色のスタジャンを着ています。あなたもなってみてみたいですか？ はい いいえ ご意見
4. 昨年度より、毎週土曜日午前11時から展示交流員が常設展示全体の見どころを紹介する「スルーガイド」、毎週日曜日午前11時から体験イベント「遊ぼう！学ぼう！寺子屋ひろば」を開催しています。ご存知でしたか？また、参加された方はご感想を。 ご意見
- I 博物館に行く前に、情報は入手できましたか？
1. 県立博物館のホームページを見たことがありますか？ある方、満足度は？ ご意見
2. 今日、博物館に来る前にどのような広報をご覧になりましたか？○をつけていただけますか？（複数回答可）

- ・ホームページ ・かいじあむ通信「交い」 ・ちらし ・新聞 ・テレビ ・その他（ ）
- 3. 今年8月から山梨県内の博物館が連携した「ミュージアム甲斐・ネットワーク」のホームページを公開しました。  
(<http://www.museum-kai.net/>)  
見たことがありますか？ある方はご感想を。 ご意見
- J 最後に、これもぜひお聞きしたいところです。
  1. 館の愛称は、「かいじあむ」。名前の感想は？ ご意見
  2. 入館料（常設展、企画展）は適当ですか？ ご意見
  3. 1年間、何回でも博物館を利用することのできる年間パスポート（ミュージアム甲斐in券）の存在をご存知でしたか？  
はい いいえ
  4. 値段は安い、あるいは高いと思いますか？ ご意見
  5. これまでの通信簿ツアーの結果を踏まえて、お盆期間中（8月13日～15日）は午後6時まで開館時間を延長しています。ほかにも平成20年4月から次のとおり開館日や開館時間を変更しました。ご存知でしたか？また、開館時間や休館日などの変更希望がありましたら、お書きください。  
○開館時間 9時30分から→9時から（30分早く開館しました）  
○休館日 原則として毎週月曜日→原則として毎週火曜日  
はい いいえ ご意見
  6. 以前に来館したことがある方、以前よりよくなっていると思ったところがありますか？評価すると？ ご意見
  7. 県内の人・県外の人に関係なく、博物館にきたことでもっと山梨県を歩いてみたい、観光してみたいと思いましたか？  
ご意見
  8. もう一度、この館に来たいですか？ ご意見

## (2) 通信簿ツアーの結果

### ■通信簿ツアー評価結果抜粋

紙幅の都合上、ここでは評価結果の一部を抜粋という形で掲載することとする。

回答番号	質問内容・意見	評価者No.
A	山梨県立博物館（かいじあむ）に到着するまでの、道のりは順調でしたか？	
A01	博物館までの道のり、迷わずに来られましたか？	
A01	何度も来てるので迷わず来れた。しかし、初めて来る時は地図で調べないと分からなかった。	69
A01	一宮御坂ICから自動車のナビをつかって来たが、道路の案内標識が各所にあり、案内板だけでも来れたと思う。	77
A01	隣のぶどう園から徒歩で来た。隣のぶどう園が送迎してくれた。	98
A01	一宮御坂ICで降りました。道が分かりにくかったです。直接のアクセス連絡がある、もしくはわかりやすい掲示などあるといいと思いました。	104
A02	最寄り駅のJR石和温泉駅からいらした方、バスの便はよかったですでしょうか？	
A02	はい。	95
A02	専用バス（マイクロ）が石和温泉駅・甲府駅で送迎したらどうか。	160
A03	カーナビをお使いの方、県立博物館がのっていましたか？	
A03	はい。しかし、入口が正しく出ず、裏口に案内されました…。	3
A03	いいえ。電話番号や住所で探しましたが、出ていませんでした。	118
B	いよいよ館内に入ります。	
B01	チケット売り場はすぐわかりましたか？受付（総合案内）や案内スタッフの対応はいかがでしたでしょうか？	
B01	入口からどちらに進むのか分からなかった。人がいたのでこちらかな…という感じ。	14
B01	案内していただいたのでわかりました。	17
B01	一瞬迷いましたが、すぐに声をかけてくださったので、スムーズでした。チケット売り場奥のトイレって使っていないでしょうか？	68
B01	一瞬、広い方へ向かってしまいそうになるが、声をかけてくれるので分かりやすいと思う。	69
B01	丁寧な対応で好感。	70
B01	ちょっとわかりづらい。スタッフ対応はすばらしい。	124
B01	良かった。宿泊割引はうれしい。逆に県内の人はおとく感がないかも。	49
B02	案内パンフレットは使いやすいですか？	
B02	みやすく、クイズもありおもしろい。	25
B02	丁寧に作られていて、見易いです。	70

B02	パンフは紙の無駄で、それ程見ないと思う。その分料金下げるべし。	9
B02	貰ってないので見ていません。	14
B02	案内が多すぎ。	41
B03	入場料が必要なところと、そうでないところの区別はすぐわかりましたか？	
B03	説明いただきわかりました。	104
B03	受付とプリントがあったのを見つけたけど、わかりづらい。企画展の方がわかりやすかった。	64
B03	大昆虫展のロボットがいる所は微妙でした。お金払ってなくても行って見ていいのか？と。	68
B03	ぱっと見では、いまいち分からない。絵本のところなど、入っていいのか、はじめは分からなかった。	69
B04	途中で館外に出ても、当日なら再入場できますが、そのことはすぐにわかりましたか？	
B04	説明されました。	3
B04	受付をした時に聞いたのでわかりました。	67
B04	帰る時に、(常設展から)「半券で再入場できます」と書いてあったので、すぐ分かった。	69
B04	わかりません。出た時わかりました。	17
B04	すぐにはわからなかった。	18
B04	チケット裏面みてわかりました。	20
B04	よく分からなかった。表示に気付かなかった。	22
B04	入るときは分からなかったので、受付の方に声をかけて頂きたいです。出るときはサインでわかりました。	66
B05	館内マップやサイン(案内表示)はわかりやすいですか？	
B05	大きくて見やすい。	64
B05	大体良い。	92
B05	とてもきれいで分かりやすい。	117
B05	外の昆虫博覧会の表示(←)があったが、←の方向にまっすぐ行くのか迷った。初めてなので入口を知らないため。	17
B05	常設は少しわかりにくかった。ただ、それはそれで非常に楽しかった。	24
B05	目立つ色(赤・黄)が見やすいと思いました。	63
B05	◎サインがもっと大きい方がわかりやすい(入場ゲート前)。	66
B05	館マップはあまり見ませんでした。案内表示は数字や字が大きくて見やすかったです。	67
B05	トイレがわかりづらい。	72
B05	普通か。特に分り易いとは言えない。	78
B05	駐車場からの案内が少ない。	110
B05	トイレは常設展の外であることを表示してほしい。	50
B06	エントランス(入り口)にいろいろな掲示がありますが、気づきましたか？気づいたものに○をつけていただけますか？ご意見もあればお聞かせください。	
B06	全て(同回答 8名)	21
B06	次回企画展とイベントの案内(同回答 34名)	17
B06	館内の禁止事項の案内(同回答 18名)	91
B06	県立博物館紹介の新聞スクラップ(同回答 14名)	69
B06	エントランス中庭の説明案内(同回答 13名)	18
B06	気がつかなかった。字や写真が小さすぎ。目立たない。(同回答 5名)	72
B07	広いエントランスホールは無料ゾーンです。これまでもいろいろな形で利用していますが、「こんな利用法がよかった」というご意見や、「こう利用したら？」という提案があったらお書きください。	
B07	子供達 長期休業中のイベント 工作等	26
B07	ベンチを増やして欲しい。	8
B07	ゆったり休憩できればよい。	62
B07	昆虫の石の像はよかったと思う。あれだけ大きいものを置いても、人が通れるし。	64
B07	夜の怪談会	66
B07	昆虫展に合わせて、虫の石像があり、ガランとしていなくて良かったです。	67
B07	展示室の外にも展示があるとワクワク感が出た。	72
B07	もう少し展示物を増やしては？	93
B07	エントランスではないですが、庭での餅つきがよかった。	81
B07	今回のようにミニ展示をするのはよいアイデア。	52

B07	利用されていること、知りませんでした。	14
B08	博物館の入り口の竹林に、風鈴（ふうりん）がかけられています。気づきましたか？	
B08	竹林が涼しげで良かった。風鈴がかわいらしかった。	17
B08	気づいた。今日は涼しい日だったけど、暑い日には涼しさを感じられそうだと思う。	30
B08	はい。しかし、分かりづらいので、前に突き出した入口の屋根につけた方が良い。風鈴は上から音がした方が心地良い。	62
B08	わかったけど、何で風鈴なのか、わからない。	64
B08	はい。去年もありましたね。	69
B08	鈴の音が暑さを感じさせないところが良かった。竹林が両側にあり、竹林を抜けるとエントランスがある演出であると良かった。	102
B08	竹林の中を子供たちが歩いてきたので、風鈴に気づきました。	118
B08	涼しい演出で素敵だと思った。	119
B08	気付いた。願い事が短冊に書いてありました。	50
B08	わかりました。ちょうど音が出たので。風が吹いたんですね。竹の小道がもう少し長ければいつも思います。	164
C	館内は快適ですか？	
C01	資料保存のために空調を寒くしているのですが、館内の温度については快適ですか？	
C01	快適です！！寒いとは感じませんでした。	22
C01	少し寒いとは思いますが、必要ならば良いと思う。	30
C01	動いて体験している時は平気。見るだけだと少し寒いかも。	64
C01	肌寒い。でも資料保存のためなら仕方がない。	65
C01	上着がないと寒い。24℃設定のサインを入場口のもっと上の方にしたらどうか。	66
C01	今の時期、外が非常に暑いので、涼しくてよかったです。ただ、気温差が激しいと体調を崩す母・祖母にはきついです。	68
C01	外が暑いので、涼しくてありがたい。「寒い」と感じることはなかった。	69
C01	入った時は涼しくないなと思ったが展示を見るには快適。	72
C01	保存のためなら仕方ないですが、もう少し温度を上げてくれてもよいです。	105
C01	節電のせいか空調はちょうど良かった。	52
C02	暑さ対策、寒さ対策に案はありますか？	
C02	毛布の貸し出し	19
C02	「ひざかけ、あります」の看板	21
C02	風鈴を増やしたらもっといいです。	88
C02	昔の人がしていた対策をしていると面白い。打ち水、虫の声、うちわ等。冬なら火ばち。	62
C02	事前に知っていれば、上着持ってくるのに。パンフレットとかの注意書きにあってほしい。	64
C02	上着貸し出し	65
C02	ストールを貸す。	66
C02	寒さからすぐ逃げられて座れる所があったのでよかったです。	68
C02	寒い方がある場合には、貸し出し用のカーディガンがあっても良いと思う。	69
C02	上着を持ってくる。	71
C02	駐車場から玄関まで日射が強い。高木の植木（並木）の下を通りたい。	78
C02	冷房が強すぎる（省エネに反する）。	160
C03	小さな子が楽しめそうなところやサービスはありましたか？	
C03	今は昆虫があるので、良い。博物館なので小さい子をターゲットにする必要をあまり感じない。	62
C03	体験工房を楽しんでいました。	67
C03	靴がぬげる所があるのはいと思います。	68
C03	・絵本のスペース・企画展のクイズでバッジがもらえる・このアンケートを受けとる時にカードがもらえる・うちわづくり	69
C03	入口から昆虫の展示があり、楽しそう。	72
C03	未就学の子どもが楽しめるものがもう少し欲しいと思います。	74
C03	塗り絵を喜んでいた。	97
C03	虫は楽しめると思います。今度孫と来たいです。	149
C03	今のエントランスでの展示は触れることができるので、子供も楽しそうだと思います。	81
C03	展示の仕方が低く見やすい。	36

C03	昆虫博士クイズ	37
C03	楽しく遊んでいる姿がよく見られた。	40
C03	目線が子供にあっていたので十分楽しめると思いました。	50
C03	つみき、書籍	155
C04	視覚障害者向けサービスは充実していると思いますか？	
C04	あまり…。まず、博物館に来て、たのしめると思わないかも。	64
C04	どのようなサービスが行われているのか分かりにくい。	66
C04	「自然の森の中で」の光る縄の先から聞こえてくるのは？とパンフレットに書いてあったりするけれど、聴覚障害の方にはどうか？	67
C04	音が重なったり、順路や展示品の場所が分かりにくいと思う。	50
C04	視覚障害者には歩きにくいかなと思った。	157
C05	外国人に対応したサービスは充分だと思いますか？	
C05	タッチパネルの英語テロップがよいが、重要なところに日本語に準じて色をつけたらどうか。	66
C05	音声ガイドをくぼけているのは良いと思う。タッチパネルはなかったので、そこを直した方が良いと思う。	67
C05	展示されている物には、特に来館の多い英語圏の方には表示があってもいいのでは？	37
C05	解説カードに日本語以外は用意されていないものがあった。	46
C05	イヤホン式の音声解説を導入するとより充実すると思う。	50
C05	不十分	159
C06	館内に休憩できるスペースや椅子は充分ありますか？	
C06	見学の途中にも座れる様な場所が欲しい。一緒に来た人との見学の早さが違うので。	1
C06	もう少しあってもよいかも。	2
C06	そこそこいい感じ。	4
C06	足りない。	8
C06	利用者の人数次第でつらいだろう。	9
C06	本日の入館数からすれば、適度に空きもあったので座りたいときに座れました。	14
C06	もう少し展示エリアに椅子が欲しい。	91
C06	休憩できるスペースは充分あった。	148
C06	60点圏内です。	32
C07	館内に自動販売機があります。どこに置かれているか気づきましたか？	
C07	いいえ。外の看板に一応「自動販売機」と書いてあるのを見つけましたが、草ぼうぼうでほとんど見えてません。	68
C07	はい。レストランに行ったらわかった。	72
C08	館内のどこでなら、飲み物を飲んで良いか知っていますか？	
C08	係員に聞いてわかった。	8
C08	わからないが、冷水機があった。	72
C08	レストラン以外でも良いんですか？	78
C08	館内すべてが飲食できないと思っていました。	146
C08	わからない。禁止のアピールをもっとしたほうが展示物を守れると思う。	50
C08	× 研修室など特別な部屋以外で飲んでよいところがあるとは思わなかった。	157
D	さて、展示室です。(常設展示)	
D01	まず目に入るのは、巨大な山梨の衛星写真（「山梨の舞台」）。自分のまちが見つかりましたか？	
D01	いいえ。もう少し詳しく説明を。富士山を平面にしてしまっただけではもったいない。せっかく山の形になっている場所があるからそれを利用したほうがより地形がわかりやすい。すごく良いアイデアなのでもう少し説明があったほうがわかりやすい。	48
D01	いいえ。入口左手の富士山、展示の頂点と富士山がシンクロしていれば分かりやすい…かも。裏面の黒ボードあとひと工夫というか。	49
D01	展示の仕方に工夫があり楽しめました。迫力ある展示で良かったです。クイズラリーも子供が楽しく飽きずに見れて良かったです。	51
D01	はい。臨場感があり、圧倒されました。	160
D01	はい。所々に目印か、文字（甲府城）とかが欲しい。少しでいいから。	164
D01	はい。山の名前くらいは小さくあるとよい。入った正面が北とってしまうが、山梨県の地図の感覚とずれてしまうと思った。	165
D02	常設展はどのテーマから見ても良いように、展示室内には厳密な順路は設けられていません。それでも、やはり順路があったほうが見やすいという人のために、パンフレットには展示室内の地図があります。うまく順路をたどれましたか？	
D02	いいえ。途中から滅茶苦茶。	9

D02	特に順路もたどらず好きに見れた。	22
D02	分からなかった時は係の方がすかさず案内してくれました。	24
D02	案内がはじめあり、うまく見ることができた。	39
D02	途中で迷った。	40
D02	たどれない所もあった。行き止まりにならないようにしたほうが良いのでは。自由に動けるのはそれはそれでよい。	49
D02	各展示に年号を大きく表示して欲しい。細かな字よりもポイントのみ、大きく表したほうがインパクトがある。	160
D02	テーマ別になっていることが空間的に分かるので順路の案内はみないまま進んでいきました。必要とは思わない人もいますが、あってもいいかも。しかしながら少し邪魔かも。	164
D02	答えとして壁に山梨の地名入り地図があってもいいかも。縄文の縄の先の音声解説は非常に面白いが、表示が分かりづらく手に取る人のほうが少ないかなと思う。楽しい仕掛けでもったいない。暖簾のような感じで現代と古代の区切りのためだけのものだと思っていた。	165
D02	縄文の縄の説明：縄の近くにもう少し大きく揭示すると分かりやすい。順路の立て札があり、初めての人でも回りやすかった。「博物館ボランティア」のような人が所々にいて説明を求める人にわかりやすく、解説してくれるとよい。	166
D03	展示品のタイトルや解説類の文字の大きさはちょうどよかったですか？	
D03	ふりがなが小さいと思う。	66
D03	小さくてみにくいものがあった。	157
D03	子供向け解説（キッズ用）があるとよい。	158
D03	少し小さいのでは？	159
D03	大きいほうがいい。文字スペースが大きくなる事で（展示の）バランスが悪くなるからですか。（初めての女子によるストライキ製糸工場）とか。	160
D03	解説に関してはちょうどよい大きさだと思います。	161
D03	所蔵がお寺になっているときなどそのお寺がどの市町村なのか表記されているとうれしい。	162
D03	時代がもっと目立つと時代の移り変わりが分かってよい。	163
D03	少し小さかったり、館内が薄暗いので、読みづらかった。特に小林一三氏などの旅行かばんでの紹介は面白いのだが、せめて、もう少し上に挙げてみやすく文字も大きく読みやすくしてもらえるとよい。展示の工夫はすばらしいのだが、鞆の中の写真や絵なども暗くて見づらい。	165
D03	やや小さめのものもあったが、展示品の邪魔にならない大きさということでよいのではないかなと思う。	166
D04	室内にはジオラマの下の引き出し式展示やタッチパネルの映像をはじめ、ユニークな仕掛けがいろいろありますが、気づきましたか？	
D04	引き出しには非常に有用な情報はたくさんあった。それだけに、「引き出し」という形ではなく、誰でもわかるような展示方法に変えるべき。	24
D04	とても良いと思いました。楽しみながら知ることが出来ると思います。	146
D04	触りながら展示を見れるので楽しみながらでき良いです。ジオラマの下の引き出し知りませんでした。もったいないです。	81
D04	天津司舞などの映像工夫があってよかった。村中心の展示の仕方を説明してもらわないとわかりにくい。聞きたい事をすぐに聞けるほうが各コーナーごとに（ボランティアの方など）いるとよいと思う。読むところが多いと最後までたどり着くまでに疲れてしまうので出来るだけ視覚的にすぐに分かるような説明のしかたを工夫してもらえるとよいと思う。そういう面からタッチパネルはよいと思う。	156
D04	色々あるのは人が少ないときはゆっくりと時間をかけていいのですが、ある程度人間が入った場合は次の人にあけないと（ゆずらないと）という思いが働かもしれないのと、音が多数重なるとうるさく感じる事がある。	164
D04	引き出し展示に手をのばす工夫があるといいかも。わかりづらいかも。	165
D04	小さい子から、大人まで楽しめる工夫になっていると思う。	166
D	展示は楽しめましたか？（体験型展示について）	
D05	衛星写真「山梨の舞台」の奥にある賑やかな展示場は実際の資料に触ったり、いろいろなことをゲーム感覚で楽しめる体験コーナーです。体験の仕方はわかりましたか？	
D05	I enjoyed game. 結構楽しめた。	71
D05	大人の衣装もぜひ用意してほしい。	72
D05	ゲームがいろいろできて良い。子供たちが楽しそうにしている。	81
D05	部屋自体が明るくなって良かった。	52
D05	体験できる事が何より楽しいと思う。特に子供が歴史に興味を持つ一助となると感じる。	156
D05	様々な体験が出来て、とても楽しい。小学生でも楽しめるコーナーで充実していると思う。	166
D06	体験型展示のコーナーだけは実は「写真撮影可」ですが、そのことに気づきましたか？	
D06	はい。私は、「写真撮影について」のプリントを見たので分かったが、ほとんどの人は気づかないと思う。	69
D06	はい。写真とりましたよー。	71
D06	いいえ。もう少し分かりやすくしてほしい。	148
D07	展示理解の手助けとなる解説グッズ類は、充実していると思いますか？	
D07	非常に説明をサポートするグッズの存在が面白かったです。	24

D07	とっても、とっても。	71
D07	体験できるのは楽しい。教室の入口の段差が大きい。	72
D07	充実していると思う。	91
D07	展示室にあるノート？などはみるのがおもしろくていい。	81
D07	縄文の縄の使い方の説明パネルを入口近くの縄のところに掲示するとよい。	156
D07	静かに見学するのが通常の博物館で音がどこからでも聞こえてくるので、子供たちも気軽に意見を言い合う事ができる。	157
D07	電子パネルなどが多くのところにあり、充実していると思います。	161
D07	人に直接説明してもらおうほうが分かりやすい。知らなくて申し訳ないのですが、その場で突然案内をお願いしても対応してもらえるのでしょうか？意味を知っている人と一緒にみるほうが面白い展示が多数あると感じます。	164
D	展示は楽しめましたか？（常設展示について）	
D08	ところで、常設展示室内では、2ヶ月ごとに資料の展示替えを行っています。常設展のおすすめ資料を紹介したパネルに気づきましたか？そのできればは？	
D08	気づきませんでした。	19
D08	キャプションの近くにあったらわかりやすい。マークはいいと思う。	66
D08	入り口近くのお勧め資料がある場所は分かりました。お勧め資料を見逃してしまうところもありました。	67
D08	最初気づきませんでした。小さいと思います。入場口のところに小さく看板立ててもいいと思います。	68
D08	富士山のパネルでしょうか？かわいいと思います。	69
D08	展示入れ替えについては気がつきました。できは、分かりやすくて良い。	81
D08	気づいたような。これがそうなのか？	46
D08	期間で替えることは時計のしるしで気付いた。	50
D08	以前より展示内部が充実してきていると思う。	158
D08	展示替えしたものがどれなのか分かりにくかった。（期間限定のものも、もう少し表示が大きいものの方がいいと思います。）	161
D08	毎回来るたびに新たな出会いがあつてうれしい。展示目録があるとうれしい。	162
D09	特に興味や関心をもった展示はどれでしたか？その理由を教えてください。	
D09	ジオラマに目がいきます。コーナーとコーナーのつながり（？）がわからない…。突然感がある…。もう少し掘り下げたいテーマも。	3
D09	地方病。地元が昔地方病の流行した地域で、田んぼに唾をたらして広がれば地方病はないとやっていたのが懐かしかったの。	22
D09	やはり近代ということで、病気や戦争、災害の話に興味をもった。ただ、江戸時代の展示が説明、ジオラマ、資料と充実しており、印象に残った。	24
D09	甲州財閥	65
D09	・ジオラマ タッチパネルと連動していてわかりやすい。・人のパネルがしゃべるやつ 言葉づかいがきけてよい。・水害のコーナー インパクト大だが全体的に文字が小さい。映像がリアルでよい。急にゆれてびっくりした。ゆれることをサインした方がいかも。	66
D09	富士山関連の資料。関心があるし、近いから。	67
D09	泥面子が個人的に好きです。モノそのものが、かわいかったの。	69
D09	タッチパネルがおもしろかったが低くて見にくい。イスがあるところもあったが、なかった所は見にくかった。	72
D09	山梨の地域別の事も少し理解出来た。	91
D09	鎧や刀など、とても保存状態がよく見やすかった。	112
D09	昔の家を再現したもの。蔵の中や家の中で遊べるのが良い。	81
D09	里の一年。村の伝統行事がほしい。	39
D09	入口の縄文時代の展示やジオラマによる県の移りかわりは、小・中学生に分かり易い。映像が多く楽しく学ぶ事ができる。ライトの当て方はよいが、床の展示は見逃しがち。	157
D09	天津司舞の映像、地元の学校の近くの祭だから、伝説も興味深い。	158
D09	山梨の代表的な産業についての絞って企画して欲しい。人々の時代別の暮らしについて衣・食・住を中心に展示して欲しい。	160
D09	巨富を動かす・道がなくなつて出会い→山国である山梨でも、中国や朝鮮の陶磁器や銅銭が伝わってきた部分は、東アジアの交易と関っている事を知れるのがよかった。	161
D09	木喰・団十郎関連の展示	162
D09	富士川水運：船や船着場の様子など、当時のことがよく分かる展示だった。中学年の子供たちの社会の教材としても活用できると思った。	166

D	展示は楽しめましたか？何かを学ぶことができましたか？（企画展示について） 平成23年8月29日まで「歴史の中の昆虫たち」を開催中です。	
D10	今回の企画展は面白かったですか？具体的にどんなところが？感想を聞かせてください。	
D10	養老先生のコレクション初めて見ました。話には聞いていましたが、こんなに小さな虫を、こんなに熱心に集めるのか！！と改めて驚きました。大変面白かったです。	3
D10	もっと子供向けに企画して欲しい。見るだけになってしまう。	8
D10	クイズ。でも子どもにはもっと読みやすしたり、優しくしてくれると分かりやすい。小さな子どもはちらっとしか見なかった。	13
D10	本当に子供たちは大興奮でした。	21
D10	子どもは大興奮で楽しんでいました。珍しいタマムシには感動しました。クイズもとても楽しめました。女の子は塗り絵に夢中になっていました。館内は涼しいし。	22
D10	小学生の頃から虫好きなので、非常に面白かった。しいていうなら、もっと日本の虫にも詳しく説明してほしい。	24
D10	世界中の色々な昆虫を見ることができてよかった。説明も詳しく、子どもにも説明してあげられた。	30
D10	たくさんの虫が見られたのは圧巻。	62
D10	古文書の翻刻をしたものを、解説の横など、もっと目につく場所へ置いてもいいのかなと思いました。展示ケースは高さがあるので小さい子どもには少し見にくいと思います。展示でクイズを取り入れたり、シアターやぬり絵など、ただ見るだけでなく所々に遊び心もあって楽しかったです。	63
D10	珍虫・奇虫・きれいでところ・人気どころが網羅されていて、それなりにすごいねと思いました。一方身近な昆虫がなくて残念。珍虫…は絵本の世界の虫を実物で見たという程度。	77
D10	面白かった。標本の種名が小さすぎると、ガラスが光っているので読み難かった。壁(ボード)にピン(クギ)をさして、パネルを固定していたのでびっくりした。ボードはそのうち交替？	78
D10	標本・映像等、子供が喜んでた。クイズ・スタンプ・バッジ等良いアイデアと思う。	91
D10	子供たちの大好きな昆虫がたくさん見られて良かったです。	101
D10	展示の仕方がただ並べてあるのではなく、下を向いていたりして(ちょうちょ)工夫されていて良かったと思います。	101
D10	クイズに答える形式・館内をまわるのはよかったです。子供もたのしそうでした。もう少しクイズが多くても良かったです。	104
D10	カブトムシの育ち方の映像がありましたが、音が小さく聞き取りにくかったです。前にもスピーカーがあればと思いました。	104
D10	いろいろな説明が大人向けのような気がしました。ふりがなをふるなどの工夫があったのでしょうか？子ども用にひらがな付でかんたんな説明も併せてあればいいと思いました。	104
D10	昆虫の種類が多さと、きれいに保存されていて良かった。	111
D10	子供が楽しめたのでよかったです。	113
D10	子供がカブトムシが好きでどうしても見たいと言ったので一緒にきたのですが、とてもよかったです。昆虫のたくさんの事が学べて親も勉強になったと思います。	125
D10	とても良かった。同じカブトムシでも日本にいるのとは違い、外国にいるのは大きかったりで驚きました。めずらしい虫や色があざやかでうつくしい虫がいることを知りました。	140
D10	蝶：きれいでした。カブトムシ：おおきいもあり、ビックリしました。	149
D10	とても良かったです。こんなにたくさんの蝶や昆虫を見る機会はないので楽しめました。	81
D10	見たことのない昆虫等を興味深く見させていただき、昆虫の歴史も垣間見ることができ、有意義な一時でした。	82
D10	標本が多く、専門家のコーナーが興味深かった。拡大写真も芸術性あって良かった。明治以前にも詳細な昆虫の描画があり驚いた。カテゴリーや地域にこだわらない企画も混じって企画展を増やしてもらえると良いと思います。	151
D10	歴史の中で昆虫がどのように位置づけられていたかが分かり、面白いと感じた。	159
E	「資料閲覧室」や「地域インデックス」の充実度は？	
E01	◎もっと知識を深めたい方は、「資料閲覧室」へ。 資料閲覧室は誰でも自由に使えますが、使ってみた感想は？	
E01	閲覧室に入ったことがない。なんとなく、用がないと入れない感じがする。	69
E01	使いたいものは特になかったが、調べやすそう。	72
E01	良い。	112
E01	たのしい。わかりやすい。	121
E01	司書の方の対応が良かった。	52
E02	博物館で収蔵している実物の古文書を見たい方、閲覧手続きの方法はわかりやすいですか？	
E02	わかりやすいです。	81
E02	わからない。	50
E03	古文書の即日閲覧(申請すれば、その日のうちに博物館収蔵の古文書を見ることができるサービス)というサービスがあることは、わかりやすかったですか？	
E03	ポスターがわかりやすい。意外と簡単に見れることがわかった。	66
E03	分からなかった。	112
E03	しらない。	50

E04	毎月「古文書相談日」、あなたの町に出前する「出張古文書相談日」のいずれかが開かれています、その情報はわかりやすかったですか？	
E04	テーブルにサインがあって分かりやすい。	66
E04	分からなかった。	112
E04	知りませんでした。	81
E05	もしお宅に古文書があれば、相談してみたいですか？	
E05	はい(同回答 17名)	88
E05	いいえ(同回答 5名)	31
E06	「甲州文庫」等のデジタル画像を見ることのできる検索端末(パソコン)を知っていましたか？使い勝手はいかがですか？	
E06	はい。よかった。簡単でした。	88
E06	いいえ、どこか分かり辛い。	62
E06	どうやったら良いのか分かりにくい。ポスターを見ても分かりにくい。	66
E06	使っている人がいた。使いやすそう。	72
E06	分からない。	112
E07	◎山梨県をもっと幅広く楽しみたい方は、「地域インデックス」へ博物館周辺のおすすめスポットや、県内各所の観光案内など、情報は充実していますか？	
E07	お勧めスポットや観光案内の地図がほしい。	144
E07	チラシなどたくさんあっていいです。	81
E07	充実している。	52
E08	常設展や企画展の展示を見て、どこかの地域に実際に行ってみたくらいと思ったとき、このコーナーは役に立つと思いますか？	
E08	役に立つと思います。ただ、県内の人向けのイベント情報に偏りがある気がするので、観光ガイドブックなどがあると良い。	66
F	ショップやレストラン、お庭散策も楽しめましたか？	
F01	ショップは目玉商品をわかりやすく見せるなど、商品陳列の工夫などもありましたか？	
F01	虫の鮮やかな標本が目に入り、とてもいいと思う。小さいものを入れるカゴも。	66
F01	企画展に関する商品が表に出て興味をわきました。	67
F01	ぱっと見ガラスの向こうにある商品が少なく見える。Tシャツとかかけたらいいのと思う。	68
F01	いろいろあって楽しかった。	72
F01	もっと品数が欲しい。	77
F01	以前のショップと会計の場所がかわっていて、とても良くなったと思う。	81
F01	かなり利用しやすくなった。室内構成が変わったので良かった。見やすく、買いやすい。	52
F02	レジの対応はいかがでしょう？	
F02	指輪を買いたいお客さんに丁寧に対応していた。	66
F02	買わなかったのわからないが、見ていて感じはとても良かった。	72
F02	よい。	141
F03	買ったもの、買いたいものはありましたか？	
F03	オリジナルのクリアファイル かわいい。	66
F03	浮世絵のものももっとあるといい。	72
F03	買いました。	77
F03	布を頂いた。	78
F04	現在、県立博物館オリジナルグッズとして、博物館の絵葉書と、富嶽三十六景のコースター、マグネット、ボールペンなどがあります。他にどのようなオリジナルグッズや商品があると良いと思いますか？	
F04	甲斐現代トランプ 信玄の軍配	62
F04	博物館案内キャラクターの三毛猫のグッズがあったら良いなと思いました。	63
F04	ジオラマの人形や、パンフレットの熊の人形があるといい。	64
F04	スマートフォン用のカバー ジオラマの人形フィギュア	66
F04	オリジナルがどれだか分かりにくい。他館でも買えそう、売ってそうだなと思う。	68
F04	おしゃれなトートバック 巾着など浮世絵をつかったもの	72
F04	山梨の自然史を表現する物が欲しい。	77
F04	常設展の楽しみ方ガイドブック	52
F04	ふろしき	155

F04	ネクタイピン	159
F04	キーホルダー（山梨の物産）	160
F05	レストランの雰囲気やサービス、メニューやお味、お値段など、総合してよかったですか？	
F05	閉店時間が分からなかった。終わってた。	17
F05	オリジナリティのあるメニューでよい。	62
F05	信玄アイスおいしかったです。	64
F05	よかった。	65
F05	景色が良い。ホテルのラウンジみたい。信玄アイスおいしかった！	66
F05	居心地はよかった。値段が安いと助かります。	69
F05	レストランのメニューは値段は手ごろだが、量がちょっと少ない気がした。	72
F05	よかった。明るくて、気持ちよい。	77
F05	値段は高すぎると思います（メニューの割りに）。もう少し味に工夫してもらいたい。	140
F05	よく利用しています。どの料理もおいしいです。	81
F05	少し高いものもある。が、他の県立の施設と比べては失礼ですが、ここは美味しいと思います。	164
F06	レストランのメニューを山梨県立博物館のホームページで紹介していますが、ご存じですか？	
F06	いいえ。レストランに行ったらメニューがたくさんあって驚いた。	66
F06	いいえ。まったく知らなかった。HPは見たんですが。	68
F06	はい。	148
F07	オープンテラス（博物館レストランの外）で食事をとることができるのをご存じですか？ また、試してみた方はご感想を。	
F07	見れば分かるが、店とテラスが隔離されていて普通に座って店員が来る感じではないので、行き難い。	62
F07	知りませんでした。涼しくなったら試したいです。	66
F07	知っているけれど、天気が悪かったので中で食べました。	67
F07	外に机とイスがあるので、きっとそこで食べれたのだらうと思うが中々勇気が出てこない。	69
F07	出なかったが、季節の良い時にまた来たいと思った。	72
F07	食堂から見えました。今は夏で暑いので遠慮します。	77
F07	知りませんでした。涼しくなったら利用したい。	81
F07	雰囲気いいです。高さのわりにひさしの出が少ないでしょうか？ひさしが高すぎるのでしょうか？	155
F07	屋根があるといい。	164
F07	外の池を眺めながらの食事は開放感があり、とても美味しく感じました。	166
F08	建物のまわりの広いお庭と植栽は、博物館の自慢です。毎月「ボランティアによるお庭の見所ガイド」を開催しているのですが、ご存じでしたか？	
F08	次回、参加してみたい。	72
F08	良い。	112
F08	体験していません。	81
F08	たのしかった。	52
G	イベントや普及プログラムに興味がありますか？	
G01	館で行われているイベントプログラムは参加しやすいですか？	
G01	毎週行われているものは気軽に参加できた。	69
G01	あちらこちらあったが、入口に大きく出した方がわかりやすい。	72
G01	しやすい。	112
G01	はい。	131
G01	参加しやすかった。	148
G01	展示交流員の対応が良かった。	52
G02	こんなプログラムがあれば参加したい、というものがありますか？	
G02	流しそうめん	62
G02	虫取りツアー	66
G02	古文書	72
G02	自然史紹介	77
G02	もちつきよかったです。	81
G02	各市町村の特徴的な体験	50

G02	宿泊イベント 夜 ナイトミュージアム 収穫イベント 芋ほり 寄席	52
G02	歴史文化のイベント	56
G02	スタンプラリー	60
G03	博物館と県内市町村をつなぐための「歴史ウォーキング」に興味がありますか？(県博とNPOで制作した、まちミュージアムガイドブックをショップで販売中です)	
G03	はい。ただ、ご年配ばかりで行きづらい。	65
G03	とてもおもしろいと思う。地元で開かれたら行って見たい。	66
G03	はい。いずれ予定が合うときに参加してみたいと思う。	69
G03	はい。ショップが一番売れているそうですね。	52
G03	いいえ。それはなんですか。	60
H	館で働く人たちと交流できましたか？	
H01	館内スタッフの案内や誘導は上手ですか？	
H01	困っているタイミングで声をかけていただきました。	2
H01	はい。説明が必要な展示もちゃんと説明していただき、助かりました。	24
H01	説明を親切にしてくれた。	89
H01	ちょっとした疑問もすぐに聞くことが出来てよかった。	72
H01	丁寧でわかりやすかった。	71
H01	親切に説明等、対応頂いた。	91
H01	学びの引き出しを教えてくださいました。	107
H01	とても良いです。お話が丁寧でしたし、感じが良いです。	146
H01	まあまあ、上手。	60
H02	展示交流員（女性はグレーのチェックの制服を着ています）の説明はわかりやすかったですか？ 面白い話を聞けましたか？	
H02	ちょっとした展示の裏話が教えていただいて面白かったです（甲府城下町の子どもたちの喧嘩について）。	68
H02	わかりやすかったですけど…！！面白い話は聞けなかったです。	71
H02	いいえ。	91
H02	質問をしたらこたえてくれて、説明も分かりやすかった。	131
H02	ふつうでした。	39
H02	はい。つかずはなれずききたいときにきてくれた。	48
H02	上手だと思う。対応も良い。	49
H02	やさしくなった。親切。	52
H03	館内には、「協力員」と呼ばれる「ボランティア・スタッフ」がいて、赤色のスタジャンを着ています。あなたもなってみてみたいですか？	
H03	何をされている方なのでしょう？わかりません。	68
H03	はい。やってみみたいです。	69
H04	昨年度より、毎週土曜日午前11時から展示交流員が常設展示全体の見どころを紹介する「スルーガイド」、毎週日曜日午前11時から体験イベント「遊ぼう！学ぼう！寺子屋ひろば」を開催しています。ご存知でしたか？また、参加された方はご感想を。	
H04	以前、スルーガイドに参加させていただいたことがある。やはり文字を読むだけでなく、人に説明されて興味がわく。	69
H04	知りませんでした。	77
H04	全く知りませんでした。I don't knowです。	71
H04	いいえ。	141
H04	とても面白かったので、また参加したい。	148
I	博物館に行く前に、情報は入手できましたか？	
I01	県立博物館のホームページを見たことがありますか？ある方、満足度は？	
I01	デジタルアーカイブが充実している。	66
I01	あります。研究成果が分かるとよい。	77
I01	見たことがある。まあまあ。	112
I01	少し硬い印象があります。	81
I01	みます。学芸員の独り言みたいな内話も聞きたい。	52
I01	ある。分かりやすく見学に役立った。	157

I02	今日、博物館に来る前にどのような広報をご覧になりましたか？○をつけていただけますか？（複数回答可）	
I02	ホームページ（同回答 13名）	82
I02	かいじあむ通信「交い」（同回答 9名）	146
I02	ちらし（同回答 12名）	112
I02	新聞（同回答 9名）	1
I02	テレビ（同回答 5名）	14
I02	その他（同回答 14名 るるぶ、本、口コミ、旅館の紹介など）	9
I03	今年8月から山梨県内の博物館が連携した「ミュージアム甲斐・ネットワーク」のホームページを公開しました（ <a href="http://www.museum-kai.net/">http://www.museum-kai.net/</a> ）。見たことがありますか？ある方はご感想を。	
I03	ずっと、こういうのがあれば良いのと思ってました。短い期間にどこどこがやっていて、こんな企画があってというのを一気に情報として得られるのはとても便利だと思います。	68
I03	紹介があって来たが、資料として何かあるか知りたいので、HPをチェックしてみたい。	78
I03	見てみたいと思う。	97
J	最後に、これもぜひお聞きしたいところです。	
J01	館の愛称は、「かいじあむ」。名前の感想は？	
J01	よい。	4
J01	とてもよい。	5
J01	よいと思うが、しらなかった。	13
J01	多少、無理を感じます。	77
J01	面白いネーミング	78
J01	山梨県らしくて、いいと思う。	131
J01	かわいい愛称です。	81
J01	ご当地らしくよいのでは…。	39
J01	この夏にいたってはじめて愛称を知りました。	46
J01	なくてもよい。	49
J01	甲斐市とかぶる。	50
J01	なじめない。	153
J01	かいじ+ミュージアム でしょうが、耳で初めて聞いたときは何のことかわかりませんでした。	155
J02	入館料（常設展、企画展）は適当ですか？	
J02	もう少し安く。	5
J02	それだけの内容はあると思う。	66
J02	年パス、大学生、1年間2,500円は良い。もうすぐ更新日が来るのでまた更新したい。ただ、大人5,000円は少し抵抗がある。	69
J02	適当。	91
J02	常設展+企画を100円引きにしてみても。	50
J02	自分で勉強するつもりならば適当ですが、お客さんを大勢招待するときにはちょっと痛い。	155
J02	もう少し安く出来るとよい。	158
J03	1年間、何回でも博物館を利用することのできる年間パスポート（ミュージアム甲斐in券）の存在をご存知でしたか？	
J03	はい。	26
J03	いいえ。	87
J04	値段は安い、あるいは高いと思いますか？	
J04	ちょうどよい。	13
J04	子供だけでは中々来たがらない。	39
J04	割引の条件に県内に宿泊したかどうかというのがあった。証明もなしに割引にしてもらえてうれしかったが、県内の人にメリットがあったほうがいいのでは？	48
J04	ふつう。	54
J05	これまでの通信簿ツアーの結果を踏まえて、お盆期間中（8月13日～15日）は午後6時まで開館時間を延長しています。ほかにも平成20年4月から次のとおり開館日や開館時間を変更しました。ご存知でしたか？ また、開館時間や休館日などの変更希望がありましたら、お書きください。 ○開館時間 9時30分から→9時から（30分早く開館しました） ○休館日 原則として毎週月曜日 → 原則として毎週火曜日	
J05	はい。	13
J05	いいえ。いいと思う。特に火曜日休日は良い。図書館とかぶらなくて。	66

J05	火曜日休館の方がいいと思います。閉館時間を午後6時まで延長するなら、それに合わせてショップやレストランも延長して欲しいです。	68
J06	以前に来館したことがある方、以前よりよくなっていると思ったところがありますか？評価すると？	
J06	来る度が変わっている所がよい。	62
J06	サインが増えてわかりやすい（順路など）。	66
J06	前より順番が分かりやすくなっていた。	68
J06	パソコンなどの使い方がかいてあったりするところがよくなったと思う。	69
J06	面白いと思うことが出来た。人が親切。	71
J06	館内の雰囲気やわらかくなったように感じます。	146
J06	ショップがとても良くなっていた。	81
J06	なし。	43
J06	展示交流員がやさしくなった。笑顔が素敵です。ショップがきれいになった。充実してきた。	52
J06	あまり変わっていないと思う。	153
J06	館の展示内容が充実している事、タッチパネル等の情報、端末機器に不具合がなくなったこと。	158
J06	古文書の解説分と文意が展示され、一般の人にも分かりやすくなっている。	159
J07	県内の人・県外の人に関係なく、博物館にきたことでもっと山梨県を歩いてみたい、観光してみたいと思いましたか？	
J07	意外に細かい地域のことはわからなかった。	2
J07	昔と今の風景写真があると比較したくて歩きたくなる。今の地図に信玄が歩いていたであろう道に赤線を引くとか。	62
J07	博物館で情報を見て、他県の観光地だけでなく、県内にもたくさんの良い見どころがあるんだとわかったと思います。	63
J07	山梨のことに興味がわきました。（県内出身）地元のことをもっと知りたくなった。	66
J07	もっと実際に山梨の色々な所を歩いてみたいと思いました。	111
J07	山梨は魅力的な所ですが、全国的に見るとマイナーです。もっとこの魅力を県外の方にも知ってほしい（県外から嫁いで10年）。水はおいしいし、ゆったりとしている。	137
J07	休みの日はけっこうあちこちと県の施設に出かけています。	149
J07	自然のたくさんある庭をもっとアピールできたら良いと思う。	81
J07	出土場所の現在の場所がわかりにくくなった。	50
J07	県外の人山梨を知る、もっと知りたいと思うかは疑問。それぞれが他の考古博物館や美術館・科学館・文学館との連携やPRをしたほうが良いと思った。	157
J08	もう一度、この館に来たいですか？	
J08	特別展の内容ではまた来たいです。	22
J08	75%くらいかな。	71
J08	企画しだい。	78
J08	今回初めて来たが、展示等が変わった場合来館したいと思います！	91
J08	楽しい物が、たくさんあるので、また来たいと思いました。	131
J08	想像以上の素晴らしさでした。もっとゆっくりじっくりし、今度はひとりで来たい！！	137
J08	50%	141
J08	少し	142
J08	毎月	144
J08	月に一度は来ております。また続けて来ます。	146
J08	90%くらい	148
J08	今度孫を連れて昆虫展に来たいです。男の子なので喜びそう。	149
J08	また来たいです。	81
J08	また来たい。	84
J08	今まで知りませんでしたでしたがまた来るかな。	39
J08	いろいろなイベントがあればもっと来たくなる。	40
J08	うーん。	46
J08	たぶん来る。	50
J08	イベントや企画展示の内容によっては近いですし、ぜひまた来てみたいと思います。	59
J08	100%弟と来たい。	60

	その他	
	ベビーカーの貸し出しがよい。	4
	博物館なんて年に1～2回しか行きませんが、今まで行った中では展示物の説明・工夫のレベルが高かった様な気がします。	24
	展示の仕方等良かったです。博物館といえば…!!!!と言える様な核となるテーマが欲しいです。	26
	館内入場に小学生、65才以上は無料はありがたいですが、無料にすることは無いと思います。半額でも100円でも200円でも支払うほうがより真剣に観れると思います。	140
	アンケート(本冊子)ですが、設問がシンプルに答えにくく、数も多すぎます。〇〇でしたか?はい、いいえ 〇〇…? 良い、悪い 等の選択肢をもうけた方がアンケートから情報を得やすいのでは?	46
	すぐお金をかけて手間をかけて作られた博物館だと思った。楽しむことができた。細部にまでこだわっているのが素人にも少しわかるようにしたほうがより楽しめると思う。くわしい人(5～6回来館している大学の先生と一緒に)と一緒にだったから気づいた点も多くあった。アンケートについて、答えにくかった選択肢があって、丸をつけるほうが楽。どのぐらいとか表現しづらい。がんばって改善しようとする気持ちは伝わってくる。	48
	この通信簿自体かなり問題が…。設問数が多い。細かい。これを書きながら展示を見るのはほぼ不可能に近い。紙も上質。これにそんなにお金をかけなくても…。アンケートをしてもらいたいのなら展示の最後に大まかな記入のさせ方でよいのでは。博物館自体、かなりぜいたくに作られているが、意図が不明なものもある。入口の音声スピーカーの「ひも」も縄文のひねりの違いなのだろうが見る人は分からないと思う。タッチパネルの必要がないものもある。円形の動く鉄道ラインの展示は?? 文字の方向を北にしてほしかった。固定展示で十分か…。	49
	かいじあむかわら版4号みました。すばらしい活動です。寺子屋広場の活動もいいですね。	52
	解説してくれる人が個別でいてもよいと思った。紙芝居として貸し出ししているというのもいいと思った。	165

### ■山梨県立博物館の諸サービスの満足度一覧

設問番号	設 問 内 容	はい 回答数	いいえ 回答数	はい割合 (%)
G03	博物館と県内市町村をつなぐための「歴史ウォーキング」に興味がありますか? (県博とNPOで制作した、まちミュージアムガイドブックをショップで販売中です)	38	8	82.6
A03	カーナビをお使いの方、県立博物館がのっていましたか?	42	14	75.0
E05	もしお宅に古文書があれば、相談してみたいですか?	29	14	67.4
D01	まず目に入るのは、巨大な山梨の衛星写真(「山梨の舞台」)。自分のまちが見つかりましたか?	72	43	62.6
H03	館内には、「協力員」と呼ばれる「ボランティア・スタッフ」がいて、赤色のスタジャンを着ています。あなたもなってみてみたいですか?	21	27	43.8
E07	博物館周辺のおすすめスポットや、県内各所の観光案内など、情報は充実していますか?	42	68	38.2
F06	レストランのメニューを山梨県立博物館のホームページで紹介していますが、ご存じですか?	18	33	35.3
J03	1年間、何回でも博物館を利用することのできる年間パスポート(ミュージアム甲斐in券)の存在をご存知でしたか?	33	62	34.7
C07	館内に自動販売機があります。どこに置かれているか気づきましたか?	41	98	29.5
J05	これまでの通信簿ツアーの結果を踏まえて、お盆期間中(8月13日～15日)は午後6時まで開館時間を延長しています。ほかにも平成20年4月から次のとおり開館日や開館時間を変更しました。ご存知でしたか?(以下省略)	13	35	27.1

### ■評価結果の分析

通信簿ツアー(以下「ツアー」)も平成18年度に実施して以来、平成23年度(以下「本年度」)で6回目を迎えた。本事業の実施によって寄せられた利用者からの声に対しては、その都度、可能な限り対応をし、より親しみ易い博物館づくりを継続的に実施してきた。そのことは「以前に来館したことがある方、以前よりよくなっていると思ったところがありますか?評価すると?」(J06)に対し、「来る度が変わっている所がよい」、「館内の雰囲気やわらかくなったように感じます」、「面白いと思うことが出来た。人が親切」という回答が寄せられ、これまでの利用者の声を踏まえた当館の改善・対応に一定の評価が寄せられていることから明らかである。

さて、本年度の通信簿ツアーの特色として、回答方法に一部、変更を加えたことが挙げられる。具体的には、平成22年度(以下「昨年度」)におけるツアー参加者から「一般客に求めるアンケートとしては内容が多すぎ」という回答が寄せられ、本年度はこうした声を踏まえ、より簡単に回答できる設問形式を採用することとした。昨年度は10点満点式の採点方法を採用していたが、より簡便に「はい」・「いいえ」の何れかに丸を付ける形式とし、当該設問形式も10項目に抑えることとした。こうした工夫により、ツアー参加者の負担を幾分でも減らし、同時に、当館の様々なサービスに対する満足度をある程度、数量的に測定できるようにした。

満足度の高い項目と低い項目との弁別をし易くするために、「はい」という回答割合が高いもの順に並べ

たものが前掲「山梨県立博物館の諸サービスの満足度一覧」である。

同一覧表によると、「はい」回答率50%を基準とすると、1位から4位のサービスは利用者の半分以上が肯定的に捉え、一方で5位から10位については半分以上が不満感、ないしはサービスそのものが認知されていないことが浮き彫りとなった。

まず満足度の高いサービスに注目すると、1位「博物館と県内市町村をつなぐための『歴史ウォーキング』に興味がありますか？」(G03)と3位「もしお宅に古文書があれば、相談してみたいですか？」(E05)のように当館に来館することで知的刺激を受け、それを基により深く山梨に関心を持とうとする潜在的な要求が利用者間で高いことが判明した。博物館が山梨に対する好奇心の入り口としての機能を十分に果たすことが出来るのであれば、利用者は直接県内各地に赴き、より深く山梨に興味・関心をもっていただくことが期待されよう。

このことは、「県内の人・県外の人に関係なく、博物館にきたことでもっと山梨県を歩いてみたい、観光してみたいと思いましたか？」(J07)という設問に対し、「博物館で情報を見て、他県の観光地だけでなく、県内にもたくさんの良い見どころがあるんだとわかったと思います」、「山梨のことに興味がわきました。地元のことをもっと知りたくなった」という回答にも示されている。今後も利用者の知的好奇心を刺激する博物館づくりが重要であることが明らかとなった。

5位から10位までの設問については、「はい」回答率が50%未満であり、いまだ当館が提供するサービスが十分に認知されていないという問題があり、利用者への更なる周知が課題である。「館内には、『協力員』と呼ばれる『ボランティア・スタッフ』がいて、赤色のスタジャンを着ています。あなたもなってみたいですか？」(H03)という設問に対し、「何をされている方なのでしょうか？わかりません」という回答が寄せられている。協会の会員増は「交流のセンターを目指す」当館の大きな課題であり(第Ⅱ編第8章)、このことは本年度のツアー結果からも裏付けがなされたと考えられる。

今後も本ツアーの結果を受け、改善を繰り返しながら魅力ある博物館づくりに努める必要がある。

## 第Ⅱ編 事業・諸活動

### 第1章 運営・ミュージアムサービス

#### (1) 運営・ミュージアムサービスの方針

県立博物館は、

- ・「調査・研究」(第Ⅱ編第2章参照 以下、章のみ)
- ・「資料の収集・保管・活用」(第3章)
- ・「展示」(第4章)
- ・「企画・交流事業、県民参画」(第5章・第8章)

を柱とした事業・活動をとおして、県立博物館の使命の実現を目指している。19頁に掲げる「県立博物館事業体系図」のとおり、それぞれの事業・活動は密接に関連しあいながら、館の活動総体を高めていく。

県立博物館が提供するこれら諸サービスは、子どもから高齢者まで、誰もが気軽に学べ、何度来ても楽しめる博物館となることを基本方針とする。

そのためには常に、利用者が満足できる魅力あふれる事業・活動を企画・実行すること、快適に利用できる施設として整備すること(第6章)、あわせて、情報化社会に対応した情報システムの充実・強化を図ること(第7章)が必要である。

また、博物館の各種事業は、専門的かつ高度な知識や技術が必要となることから、これらの知識を着実に蓄積することのできる創造性の高い組織作りを行う。同時にネットワークを生かし、外部支援も導入しながら開かれた博物館運営を行い、県民や利用者のニーズの変化に応えられるよう努めていく(第9章・第10章)。

#### (2) 平成23年度利用者状況一覧

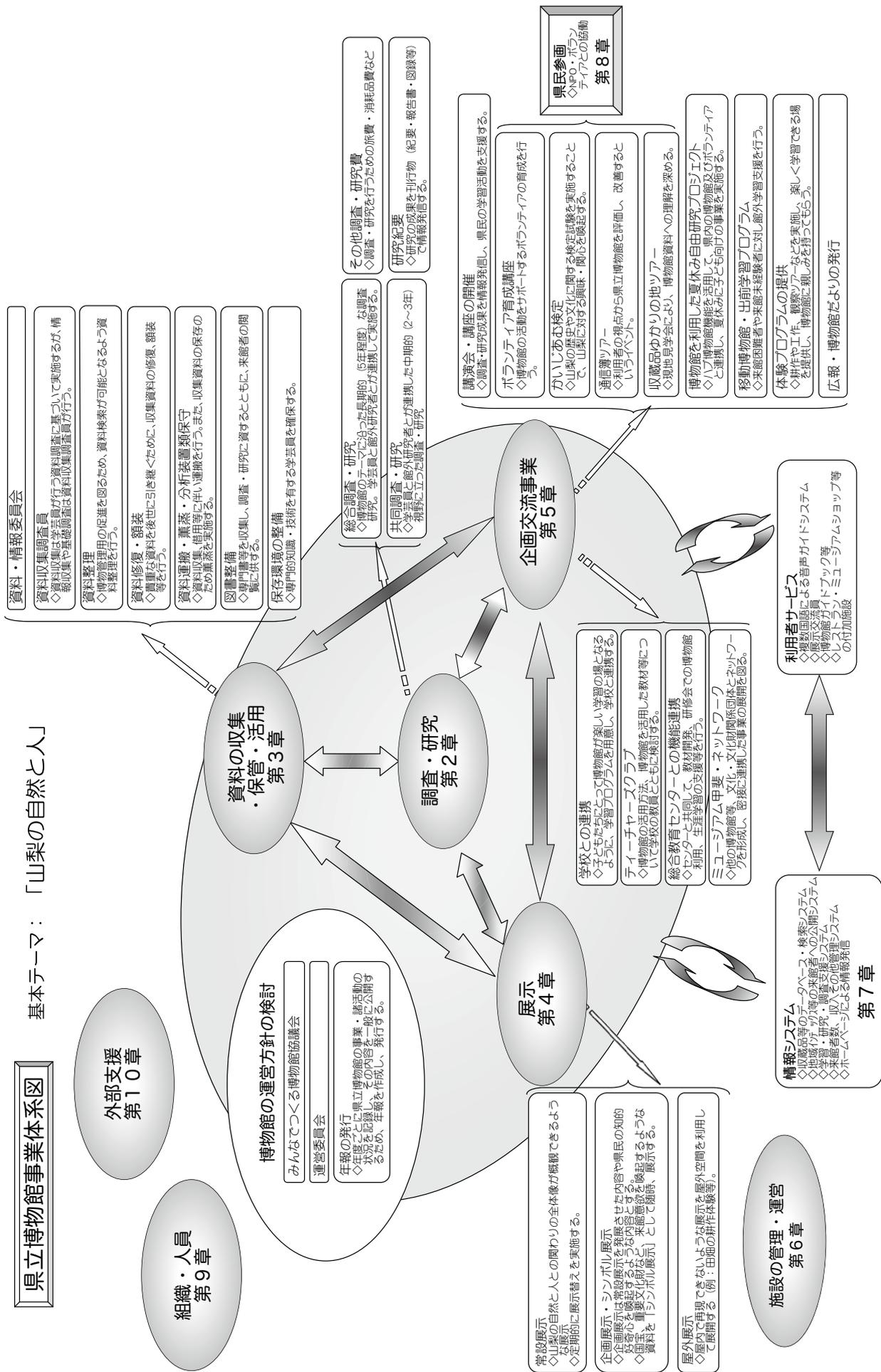
県立博物館の事業・活動は、調査・研究、資料の収集・保管・活用、展示、企画交流事業、施設の整備・管理、情報の発信と公開、県民参画など多岐にわたり、その成果をミュージアムサービスとして県民に還元しているところである。

これらのミュージアムサービスについて、数値実績として表現できるものについて一覧化したものが20頁の「平成23年度 県立博物館利用者状況」である。県立博物館では、提供する諸サービスの総計を「総利用者数」として捉え、今後、総利用者数の増加を目指し、多くの人々に満足してもらえるミュージアムサービスを提供していく。

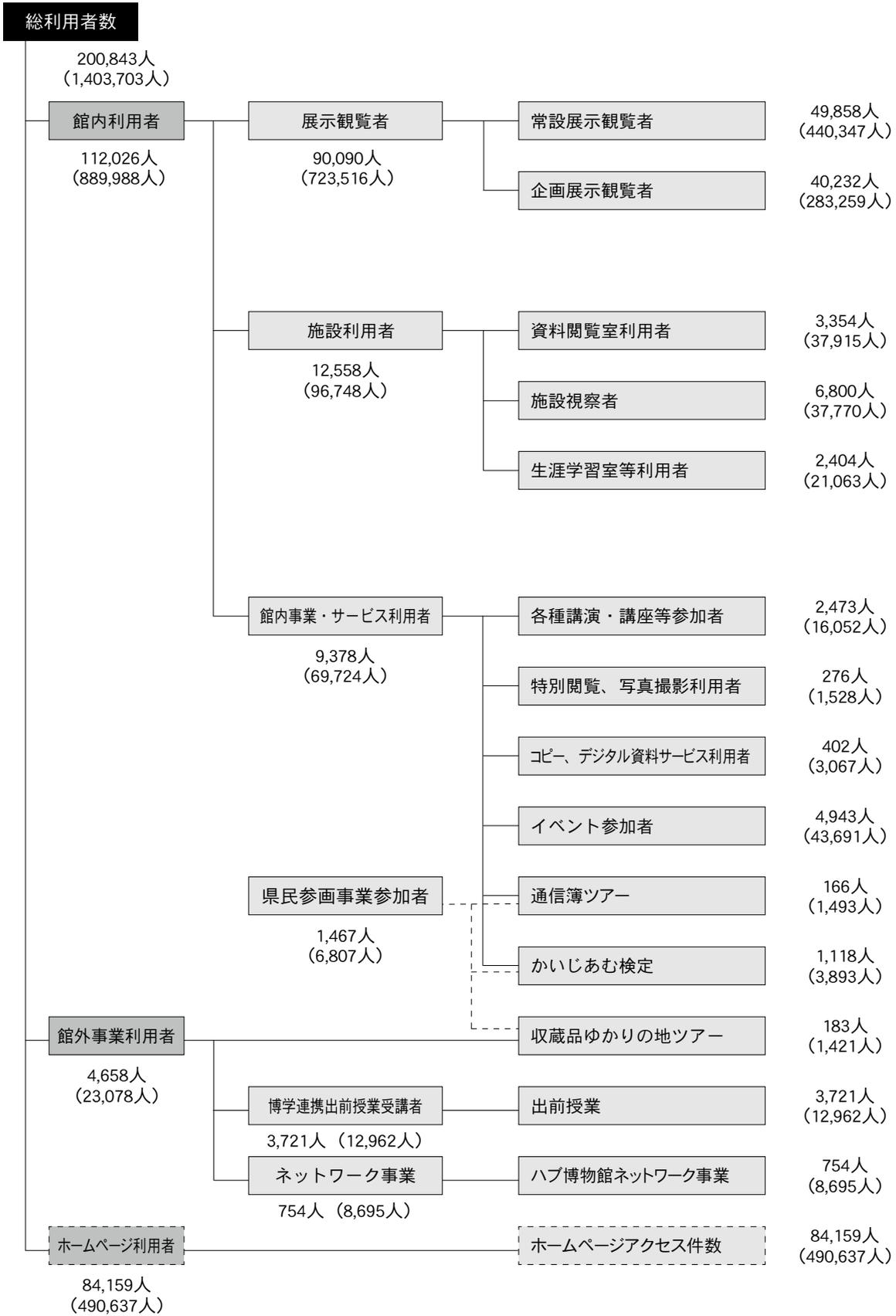
- ※1 博物館の利用者とは、博物館の施設や提供する諸サービスを利用した者および博物館の事業・活動に参加したすべての対象者をさす。なお、一部の項目については、重複して統計に表れる性質がある。
- ※2 一覧に示す利用者数は平成23年度分(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)の実績である。なお( )内の数値は平成17年度分から平成23年度分の実績数値を加えたものである。
- ※3 県民参画事業のうち、「交流拠点形成事業」及び「わいわいミュージアム」は平成18年度で終了した。代わりに平成19年度からは「かいじあむ検定」、「通信簿ツアー」が新規に実施された(第8章)。このため、平成17～23年度までの実績を示すにあたり、「かいじあむ検定」の場合は平成18年度までの「交流拠点形成事業」の実績を、「通信簿ツアー」の場合は平成18年度までの「わいわいミュージアム」の実績をそれぞれ集計した。

基本テーマ：「山梨の自然と人」

県立博物館事業体系図



■平成23年度 県立博物館利用者状況



※ ( ) 内の数値は平成17年度分から平成23年度分までの実績数値の総計である。

■開館年度（平成17年度）から平成23年度までの年度別統計

総利用者	館内利用者 (a + b + c)														館外利用者							
	展示利用者 (a)				施設利用者 (b)				館内事業・サービス利用者 (c)						県立参画事業 取藏品ゆかり の地ツアー	博学連携 出前授業 受講者	ハブ博物館 ネットワーク 事業	ホームページ 利 用 者				
	常設展示 (発券数)		企画展示 (発券数)		資料閲覧室 利用者		施設 視察者		生涯学習室 等利用者		講堂・講義会 利用者		特別閲覧・ 写真撮影等						コピー・ デジタル資料 サービス利用		イベント 参加者	
	常設展示 (発券数)	企画展示 (発券数)	資料閲覧室 利用者	施設 視察者	生涯学習室 等利用者	講堂・講義会 利用者	特別閲覧・ 写真撮影等	コピー・ デジタル資料 サービス利用	イベント 参加者	通信簿 ツアー	かいじあむ 検 定	常設展示 (発券数)	企画展示 (発券数)	資料閲覧室 利用者	施設 視察者	生涯学習室 等利用者	講堂・講義会 利用者	特別閲覧・ 写真撮影等	コピー・ デジタル資料 サービス利用	イベント 参加者	通信簿 ツアー	かいじあむ 検 定
17年度	143,415	114,412	98,578	66,274	32,304	10,889	6,085	1,190	3,614	4,945	1,321	92	209	2,911	180	232	433	282	151	0	28,570	
18年度	221,107	149,254	124,182	92,277	31,905	16,043	7,957	3,674	4,412	9,029	2,604	263	479	5,213	345	125	1,451	195	156	1,100	70,402	
19年度	203,261	126,055	105,596	66,291	39,305	13,908	7,306	3,486	3,116	6,551	1,515	219	496	3,861	240	220	4,833	166	1,317	3,350	72,373	
20年度	169,893	97,551	73,419	49,634	23,875	12,461	4,754	4,262	3,445	11,671	1,649	265	549	8,613	143	452	2,781	180	1,076	1,525	69,561	
21年度	233,815	145,172	119,288	59,508	59,780	13,034	4,399	6,640	1,995	12,850	3,553	330	488	7,029	231	1,219	5,194	274	3,871	1,049	83,449	
22年度	231,369	145,518	112,363	56,505	55,858	17,855	4,060	11,718	2,077	15,300	2,937	83	444	11,121	188	527	3,728	141	2,670	917	82,123	
23年度	200,843	112,026	90,090	49,858	40,232	12,558	3,354	6,800	2,404	9,378	2,473	276	402	4,943	166	1,118	4,658	183	3,721	754	84,159	
計	1,403,703	889,988	723,516	440,347	283,259	96,748	37,915	37,770	21,063	69,724	16,052	1,528	3,067	43,691	1,493	3,893	23,078	1,421	12,962	8,695	490,637	

■23年度 県立博物館利用者状況（月別集計）

総利用者	館内利用者 (a + b + c)														館外利用者								
	展示利用者 (a)				施設利用者 (b)				館内事業・サービス利用者 (c)						県立参画事業 取藏品ゆかり の地ツアー	博学連携 出前授業 受講者	ハブ博物館 ネットワーク 事業	ホームページ 利 用 者					
	常設展示 (発券数)		企画展示 (発券数)		資料閲覧室 利用者		施設 視察者		生涯学習室 等利用者		講堂・講義会 利用者		特別閲覧・ 写真撮影等						コピー・ デジタル資料 サービス利用		イベント 参加者		通信簿 ツアー
	常設展示 (発券数)	企画展示 (発券数)	資料閲覧室 利用者	施設 視察者	生涯学習室 等利用者	講堂・講義会 利用者	特別閲覧・ 写真撮影等	コピー・ デジタル資料 サービス利用	イベント 参加者	通信簿 ツアー	かいじあむ 検 定	常設展示 (発券数)	企画展示 (発券数)	資料閲覧室 利用者	施設 視察者	生涯学習室 等利用者	講堂・講義会 利用者	特別閲覧・ 写真撮影等	コピー・ デジタル資料 サービス利用	イベント 参加者	通信簿 ツアー	かいじあむ 検 定	
4月	17,603	10,194	8,950	4,475	4,475	993	309	400	284	251	158	27	28	38	0	0	0	0	0	0	0	0	7,409
5月	19,596	11,719	9,750	6,296	3,454	776	425	237	114	1,193	137	17	39	1,000	0	0	245	0	245	0	0	0	7,632
6月	11,688	4,697	3,098	3,098	0	1,307	248	805	254	292	73	26	26	167	0	0	441	0	441	0	0	0	6,550
7月	21,831	12,524	9,895	4,785	5,110	2,088	366	1,391	331	541	129	25	38	119	0	230	1,045	0	427	618	0	0	8,262
8月	31,307	21,500	17,739	7,316	10,423	1,620	473	947	200	2,141	369	28	47	1,258	166	273	180	0	152	28	0	0	9,627
9月	11,133	4,025	2,985	2,985	0	513	193	212	108	527	450	27	22	28	0	0	151	0	151	0	0	0	6,957
10月	19,216	11,745	9,810	5,680	4,130	1,015	270	567	178	920	445	19	42	98	0	316	520	40	480	0	0	0	6,951
11月	21,188	14,126	11,704	5,567	6,137	1,315	276	833	206	1,107	340	20	28	719	0	0	457	33	424	0	0	0	6,605
12月	6,173	1,547	1,100	1,100	0	376	114	184	78	71	0	11	20	40	0	0	97	0	97	0	0	0	4,529
1月	11,257	4,272	2,772	2,289	483	414	203	112	99	1,086	132	19	36	600	0	299	452	0	344	108	0	0	6,533
2月	14,641	7,412	5,628	2,814	2,814	1,302	219	726	357	482	111	30	44	297	0	0	612	110	502	0	0	0	6,617
3月	15,210	8,265	6,659	3,453	3,206	839	258	386	195	767	129	27	32	579	0	0	458	0	458	0	0	0	6,487
計	200,843	112,026	90,090	49,858	40,232	12,558	3,354	6,800	2,404	9,378	2,473	276	402	4,943	166	1,118	4,658	183	3,721	754	0	0	84,159

## 第2章 調査・研究

平成23年度における県立博物館の調査・研究では、外部資金による調査・研究として、日本学術振興会 科学研究費補助金（科研費）による調査・研究は、前年度より「日韓内陸地域における雑穀農耕の起源に関する科学的研究（基盤研究B）」、「前近代の治水・利水技術と環境変化に関する研究（若手研究B）」の2件が継続している（いずれも平成25年度まで継続）。また、同学術研究基金助成基金助成金によるものとして、「遺跡出土馬遺体の系統分類のための基礎的研究（若手研究B）」、「日本古代・中世期における中部内陸地域の交通・交易体系に関する基礎的研究（若手研究B）」（いずれも平成25年度まで継続）の2件が新たに採択された。

そのほか、「博物館資料を活用した小学生向け古文書読解授業プログラムの開発と実践」（笹川科学研究助成）、「綿臙脂の再現に向けての基礎研究」（ポーラ美術振興財団助成金・平成24年度まで継続）、「中世日本における金製錬技術の解明—出土遺物に対する科学分析を中心として—」（福武学術文化振興財団研究助成）の3件の調査研究が、それぞれ実施された。

また、県費による調査・研究としては、総合調査・研究「日韓内陸地域における生業の歴史に関する研究」（平成25年度まで継続）のほか、共同調査・研究「万福寺と山梨の浄土真宗」（平成25年度まで継続）、「博徒の活動と近世甲斐国における社会経済の特質」（平成24年度まで継続）、「大木家の民俗資料に関する基礎研究」（平成23年度終了）の4件を実施した。このうち平成23年度終了の「大木家の民俗資料に関する基礎研究」の成果は、企画展「おふどうと名乗った家—豪商大木家の350年—」（平成24年1月27日～3月5日開催）として提示された。

また、各博物館職員がそれぞれの専門分野に応じ個別調査・研究を行っている。それらの結果については、『山梨県立博物館研究紀要』第6集にまとめられている。

### (1) 外部資金による調査・研究

#### ① 科学研究費補助金 基盤研究B 「日韓内陸地域における雑穀農耕の起源に関する科学的研究」

##### ■ 調査・研究の目的

近年、大型植物遺存体、微化石、植物圧痕などの自然科学的研究法が発達し、縄文時代の利用植物の中に、栽培植物と考えられる存在も注目されるようになってきた。本研究では、日本の内陸地域における縄文～弥生時代の植物化石の調査を行い、雑穀類の出現と展開を明らかにするとともに、石器などの道具類の分析を通じて、その収穫形態や農耕様式を明らかにする。また、日本国外からの渡来した雑穀農耕を明らかにするため、韓国内の先史～青銅器時代の植物化石、石器等の分析研究を行う。

以上の調査を踏まえて、改めて両地域の内陸地域における雑穀農耕の起源とその農耕形態を解明することを目的とする。

##### ■ 研究体制

研究代表者 中山誠二（学芸課長）

研究分担者 外山秀一（皇學館大学）、庄田慎矢（独立行政法人奈良文化財研究所）

研究協力者 秋山圭子（釈迦堂遺跡博物館）、網倉邦生（日本考古学協会）、石神孝子（山梨県立考古博物館）、植月 学（山梨県立博物館）、関間俊明（韮崎市教育委員会）、佐野 隆（北杜市教育委員会）、長沢宏昌（日本考古学協会）、中沢道彦（日本考古学協会）、原田 幹（愛知県教育委員会）、保阪太一（南アルプス市教育委員会）、金炳燮（慶南発展研究院）、俞炳璩（ウリ文化財研究院）

##### ■ 活動記録

##### 【国内調査】

- ・平成23年7月～平成24年3月

山梨県、長野県内を中心とした植物圧痕土器の選定、圧痕土器の写真撮影、実体顕微鏡による圧痕写真撮影、圧痕土器の拓本図面作成、レプリカ作成、レプリカのSEM観察

- ・平成23年5月29日（日）

日本考古学協会において、「最近の古民族植物学研究の成果からみた縄文農耕論再々考」をテーマとしたセッションを行う。

- ・平成23年9月10日（土） 山梨県立博物館の畑で、石器によるアワ・キビ収穫実験

## 【韓国内調査】

・平成23年8月15日（日）～20日（土）

韓国内の新石器時代遺跡の植物圧痕、プラント・オパール、石器使用痕分析調査

調査機関：韓国環境考古学研究院、忠清南道歴史文化院、大東文化財研究院、中部考古学研究院

・平成23年12月

燕岐大坪里遺跡B地点、燕岐大坪里遺跡C地点、金泉智佐里遺跡、華城石橋里遺跡のレプリカの電子顕微鏡による観察、調査

## ■活動内容と成果

植物圧痕調査では、国内で山梨県石之坪遺跡、一の沢遺跡、屋敷平遺跡、中道遺跡、大木戸遺跡、上暮地新屋敷遺跡、上中丸遺跡、鋳物師屋遺跡、韓国で燕岐大坪里遺跡B地点、燕岐大坪里遺跡C地点、金泉智佐里遺跡、華城石橋里遺跡の調査を進めた。プラント・オパール分析調査では、韓国大坪里遺跡の調査、石器使用痕分析では韓国大坪里遺跡C地点、金泉智佐里遺跡、華城石橋里遺跡の調査および石器による雑穀収獲実験に伴う使用痕分析をそれぞれ実施した。

この内、山梨県内の圧痕分析の結果については、第7回九州古代種子研究会で報告を行った。また、『山梨県立博物館研究紀要』第6集に山梨県中道遺跡の縄文晩期終末期のアワ・キビ圧痕の事例の報告を行った。

また、第77回日本考古学協会総会において、「最近の古民族植物学研究の成果からみた縄文農耕論再々考」をテーマとしたセッションを行い、植物考古学から見た縄文農耕論の見直しを議論した。

## ②科学研究費補助金 若手研究B「前近代の治水・利水技術と環境変化に関する研究」

## ■調査・研究の目的

中世から近世にかけての甲府盆地周辺地域を対象にして、人々が自らの生活基盤を守るために育んだ治水・利水技術の変遷・伝播や、それらを駆使して行われた開発行為によって引き起こされた自然環境の変化の状況などを考察し、前近代社会における自然と人間との関係を探る。

## ■研究体制

研究代表者 西川広平（学芸員）

研究協力者 閻間俊明（韮崎市教育委員会）、数野雅彦（山梨郷土研究会）、斎藤秀樹（南アルプス市教育委員会）、田中大輔（南アルプス市教育委員会）、畑 大介（帝京大学山梨文化財研究所）、平山 優（山梨県立博物館）、保阪太一（南アルプス市教育委員会）、村石眞澄（山梨県世界遺産推進課）、山下孝司（韮崎市教育委員会）

## ■活動記録

- ・平成23年6月5日（日） 研究会・打ち合わせ（於 山梨県立博物館）
- ・平成23年5月18日（水）、7月6日（水）～8月10日（水） 資料調査（於 南アルプス市）
- ・平成24年1月18日（水）～19日（木） 資料調査（於 静岡市・浜松市）
- ・平成24年3月3日（土） 研究会（於 山梨県立博物館）
- ・平成24年3月22日（木） 資料調査（於 大分県 竹田市立歴史資料館）

## ■活動内容と成果

本研究は、平成19年度から21年度まで行った当館共同調査・研究「甲斐の治水・利水と景観の変化」の成果をふまえて、平成22年度から開始した研究である。平成23年度は、資料データを整理するとともに、山梨県内外において資料調査を進めた。

資料データの整理については、山梨県立博物館が収蔵する甲斐国検地帳から地名や土地の種目をデータ化するとともに、(財)郡山城史跡・柳沢文庫保存会が収蔵する甲府藩主柳沢家の公用日記『楽只堂年録』、『福寿堂年録』に記載された水害関係記事を整理した。

また、資料調査については、釜無川から取水して御勅使川扇状地を灌漑する徳島堰に関係する矢崎家文書の調査を行ったほか、近世甲斐国で用いられた技術が見られる天竜川の治水に関する資料の調査及び現地確認、さらに近世甲斐国で治水事業を行った豊後国（大分県）岡藩の関係資料の調査を行った。

今後は、引き続き調査対象地域の検地帳のデータを整理するとともに、治水・利水関係資料を調査する予定である。

③科学研究費助成金 若手研究B「遺跡出土馬遺体の系統分類のための基礎的研究」

■調査・研究の目的

馬は人・物・情報の伝達手段として、または軍事力の面で、日本史に大きな影響を及ぼしてきた。わが国在来馬の系統については、遺伝学的研究の進展により、モンゴル在来馬と近縁で、単一由来であるとの説が有力である。しかし、在来馬が具体的にどのような歴史をたどってきたのかについて、現生の馬から知り得ることは限られる。各時代にどのような系統の馬が飼育され、それが生産管理や流通形態とどう関連していたのかについては、遺跡から出土する馬遺体をもっとも直接的な証拠となり得る。本研究では上記課題について、出土馬歯の形状解析を軸に解明することを目的とする。

■研究体制

研究代表者 植月 学（学芸員）

■活動内容と成果

- ・平成23年6月11日（土）～12日（日）  
予備的成果発表「輪郭形状解析による出土馬歯の形態分類に関する基礎的研究」（同志社大学文化情報学部・津村宏臣准教授との共同発表）、日本文化財科学会第28回大会（於 筑波大学）
- ・平成23年10月2日（日）～6日（木）  
現生馬集団における馬歯輪郭形状の変異幅の調査  
宮崎県岬牧組合および都井岬ビジターセンター馬の館：現生馬標本（御崎馬）調査、宮崎県埋蔵文化財センター：古墳出土馬遺体調査、鹿児島大学農学部および鹿児島大学総合研究博物館：現生馬標本（御崎馬、トカラ馬、与那国馬、野間馬）調査（鹿児島大学・西中川駿名誉教授、鹿児島大学農学部・松元光春教授、東京大学大学院・覚張隆史氏との共同研究）
- ・平成23年10月24日（月）  
東京都立産業技術研究センター：X線CTを利用した馬歯の断面画像の撮影。加齢に伴う磨耗による形状変化の評価のための基礎的データを得た。
- ・平成23年10月27日（木）  
秋田県埋蔵文化財センターおよび秋田市教育委員会秋田城跡調査事務所：古代遺跡出土馬歯の調査
- ・平成23年11月25日（金）～27日（日）  
成果発表「臼歯の輪郭形状解析による馬の系統分類の試み」（同志社大学文化情報学部・津村宏臣准教授との共同発表）、第15回動物考古学研究集会（於 奈良文化財研究所）
- ・平成24年3月17日（土）  
成果発表「動物考古学における形態測定学—遺跡出土馬歯の楕円フーリエ解析—」（同志社大学文化情報学部・津村宏臣准教授との共同発表）、日本生態学会第59回自由集会「道具としての『形態測定学』：量的Phenotypingの活用法」（於 龍谷大学瀬田キャンパス）

【平成23年度 調査遺跡名】

●新規調査（計測、撮影、トレース、解析）

古墳時代：宮崎県山崎下ノ原第1遺跡・祇園原地区遺跡

古代：秋田県秋田城跡・小谷地遺跡・平右衛門田尻遺跡

現生：御崎馬（鹿児島大学博物館・農学部、御崎牧組合、都井岬馬の館）、与那国馬（鹿児島大学博物館・農学部）、トカラ馬（鹿児島大学博物館・農学部）、野間馬（鹿児島大学博物館・農学部）

●過去に撮影した画像のトレース、解析

古墳時代：山梨県お舟石古墳・塩部遺跡

古代：山梨県朝気遺跡・坂ノ上姥神遺跡・百々遺跡・野牛島西ノ窪遺跡

中世：山梨県金地蔵遺跡・三ヶ所遺跡・大師東丹保遺跡・二本柳遺跡、茨城県村松白根遺跡、青森県根城跡

近世：千葉県うならす遺跡、岩手県野田I遺跡、北海道勝山館跡

④科学研究費助成金 若手研究B「日本古代・中世期における中部内陸地域の交通・交易体系に関する基礎的研究」

### ■調査・研究の目的

多様な自然環境に規定された甲斐・信濃などの中部内陸地域における交通・交易の状況とその特徴について、文献史学・考古学など多角的な考察をとおして、交通・交易を通じて形成された他地域との文化交流のあり方や、日本列島の交通体系における当該地域の位置づけを明らかにすることを目的とする。

### ■研究体制

研究代表者 海老沼真治（学芸員）

研究協力者 平川 南（山梨県立博物館）、大隅清陽（山梨大学）、杉本悠樹（富士河口湖町教育委員会）、田尾誠敏（東海大学）、鷹野義朗（韮崎市教育委員会）、原 京子（法政大学）、原田和彦（長野市立博物館）、平野 修（帝京大学山梨文化財研究所）、室伏 徹（釈迦堂遺跡博物館）

### ■活動記録

- ・平成23年6月26日（日） 古代交通研究会シンポジウム「山国の古代交通」参加（於 明治大学）
- ・平成23年10月8日（土） 研究会・打ち合わせ（於 山梨県立博物館）
- ・平成24年1月14日（土） 長野県飯田市・阿智村の古代史跡等の踏査
- ・平成24年3月3日（土） 文献調査（於 国立国会図書館）
- ・平成24年3月11日（日） 研究会・打ち合わせ（於 山梨県立博物館）

### ■活動内容と成果

本研究は、平成17年度から19年度まで行った当館共同調査・研究「古代の交易と道」の成果をふまえて、平成23年度新たに開始した研究である。平成23年度は、改めて調査・研究の具体的方針を検討し、参加者による打ち合わせで、その内容を協議した。

また、本研究に関する研究会に参加し、情報収集を行うとともに、信濃神坂峠付近の古道関連史跡等の踏査を実施した。次年度以降も、特に甲斐型土器の流通という視点から、関連する地域の調査を実施する予定である。

このほかに通年で、古代・中世の中部内陸地域交通に関わる文献史料の収集を継続している。現在は信濃を中心としているが、次年度以降はさらに地域を広げる予定である。

## ⑤財団法人日本科学協会 平成23年度笹川科学研究助成

「博物館資料を活用した小学生向け古文書読解授業プログラムの開発と実践」

### ■調査・研究の目的

従来、大人向けとされた古文書読解講座について、小学生向けの学習プログラムを開発し、博学連携のための新たなモデル授業の構築を図った。子どもの頃から古文書という歴史資料に親しむ機会を設けることで、博物館や地域に対し、深い関心を涵養することを目標として設定した。

### ■研究体制

助成対象者 高橋 修（学芸員）

### ■活動記録

- ・平成24年1月20日（金） 昭和町立押原中学校 1年生215名を対象に開発した古文書学習プログラムを実践
- ・平成24年1月30日（月） 笛吹市立石和東小学校 5年生37名を対象として上記授業を実践
- ・上記の他、ティーチャーズクラブ研究会等の場とおし、現場教職員と意見交換を行いながら学習プログラムの内容改善を行った。

### ■活動内容と成果

活動内容と成果は次に挙げる5点である。①古文書授業セット（以下「授業セット」）の開発・作成、②授業セットを用いた出前授業の実施、③授業セットの内容について現場教員との研究会の実施、④一般用古文書講座への適用と大人向け教材の作成、⑤教員研修会・博物館関係学会における授業セットについての報告・発表。

本研究で開発した授業プログラムを実践したところ、当日の授業反応やアンケートから、小・中学生でも楽しみながら古文書読解を行った様子が看取され、一定の成果を挙げることが出来たものと判断し得る。今後は授業実践事例を増やし、博学連携の内容的深化を図ることを目標としたい。

⑥ポーラ美術振興財団 平成23年度美術館職員の調査研究助成

「綿臙脂の再現に向けての基礎研究」

■調査・研究の目的

本研究は、現在では失われた東洋絵画材料である「綿臙脂」の再現を、最終的な目的とする。

今回の調査研究では、現在入手可能な綿臙脂を日本国内外より入手し、その中に含まれる天然染料や無機材料について様々な科学分析を行い、使用材料の特定を目的の一つとする。

また、綿臙脂はインドや中国で製作された材料であり、中でも中国では盛んに作られていた。そこで、中国古典籍の中に見られる綿臙脂の原料や製作方法について文献調査を行い、文献に示される情報を明確にすることがもう一つの目的である。

そして、得られた分析結果と文献調査による情報の比較を行い、その原材料を解明することを今回の目的とする。

■研究体制

研究代表者 沓名貴彦（学芸員）

共同研究者 佐々木良子（京都工芸繊維大学）、沓名弘美

■活動記録

- ・平成23年5月～11月 日本国内に現存する綿臙脂の現状調査
- ・平成23年6月13日（月）研究会
- ・平成23年7月～平成24年1月 綿臙脂の無機成分調査

■活動内容と成果

日本国内に現存する綿臙脂の所在調査を行った結果、これまでに知られている以上の種類・形式の綿臙脂を確認した。その状態を写真に記録し、資料提供が可能な場合には提供を受け、染料分析、無機成分分析を行った。その結果、初期合成染料と見られる資料が確認され、無機成分分析からもその可能性が示唆された。

文献調査においても同様の記録が確認され、分析結果を裏付けられた。綿臙脂は、歴史の中でその材料や製造方法も変化していることが推定され、その情報に基づき各時代における原材料の推定が必要なことが示唆された。

今後は、今回の分析結果に基づきその再現に向けた検討を行う予定である。

⑦福武学術文化振興財団 平成22年度歴史学助成

「中世日本における金精錬技術の解明－出土遺物に対する科学分析を中心として－」

■調査・研究の目的

中世から近世にかけて日本は、金を大量に産出する世界における資源大国であった。その生産技術に関しては、開発が盛んとなる中世末の記録はほとんど残っておらず、解明されていない。

そこで本研究では中世末から近世初頭の遺跡に着目し、その時代の金山や城館、城下町遺跡出土の生産関連遺物に対して様々な科学分析を組み合わせ、遺物の用途やその技術内容を明らかにする。そして、中世末の日本各地における金の入手方法や生産技術の違いについて解明することを、目的とする。

■研究体制

研究代表者 沓名貴彦（学芸員）

■活動記録

- ・平成23年7月～平成24年1月 国内中世遺跡出土資料現地調査
- ・平成23年11月～平成24年3月 出土資料詳細調査

■活動内容と成果

本研究は、平成20年度～平成22年度に実施した当館共同調査・研究「甲斐金山における金生産に関する自然科学的研究」の成果をふまえて実施した。

今回の調査対象遺跡は、日本国内の中世に存在した城館跡、生産遺跡、城下町遺跡である。各遺跡出土遺物に対し現地調査を実施し、該当資料の確認調査を行った。その結果、多数関連資料を確認し、一部資料については当館機器による詳細調査を実施するため、借用を行った。

当館設置のエクス線透過装置、蛍光エクス線分析装置、エクス線マイクロアナライザー付走査型電

子顕微鏡を用いて、借用資料の詳細調査を実施した。

今後その調査結果を充分精査し、資料の使用目的や使用技術について検討を行う予定である。

## (2) 県費による調査・研究

### ①総合調査・研究「日韓内陸地域における生業の歴史に関する研究」

#### ■調査・研究の目的

日韓内陸地域における植物栽培と家畜利用の歴史を比較検討することによって、内陸地域の生業の特質とその成立過程を比較文化的観点から明らかにする。科研調査に加え、動物の使用に関する視点を付加することによって、生業全体の復元をはかる。

#### ■県立博物館担当職員

中山誠二(学芸課長)、植月 学(学芸員)

#### ■共同調査・研究員

秋山圭子(釈迦堂遺跡博物館)、石神孝子(山梨県立考古博物館)、間間俊明(韮崎市教育委員会)、佐野 隆(北杜市教育委員会)、庄田慎矢(独立行政法人奈良文化財研究所)、外山秀一(皇學館大学)、長沢宏昌(日本考古学協会)、中沢道彦(日本考古学協会)、原田 幹(愛知県教育委員会)、保阪太一(南アルプス市教育委員会)、網倉邦生(日本考古学協会)

#### ■活動記録

- ・平成23年4月16日(土)～17日(日) 研究会の開催
- ・山梨県内の動物遺存体、植物遺存体の基礎的研究

#### ■活動内容と成果

前年調査を行った山梨県中道遺跡の縄文時代晩期終末期におけるアワ・キビ圧痕などの事例、韓国内のサルレ遺跡、新安遺跡の圧痕分析の成果、山梨県内および韓国内の新石器時代の石器使用痕分析の成果を報告した。

また、新石器時代の生業関連の現状と課題について議論し、科研費の研究の基礎とした。

### ②共同調査・研究「万福寺と山梨の浄土真宗」

#### ■県立博物館担当職員

井澤英理子(学芸員)、近藤暁子(学芸員)、海老沼真治(学芸員)

#### ■共同調査・研究員

布施光敏(富士吉田市歴史民俗博物館)、篠原 武(富士吉田市歴史民俗博物館)  
高橋晶子(富士吉田市歴史民俗博物館)

#### ■活動記録

- ・平成23年4月29日(金)  
仏教美術研究上野記念財団助成研究会 研究発表と座談会「浄土宗の文化と美術」において、万福寺旧蔵法然上人絵伝について発表
- ・平成23年8月8日(月)  
満性寺・妙源寺(愛知県岡崎市)において真宗懸幅絵伝調査を実施
- ・平成24年1月11日(水)  
富士吉田市内浄土真宗寺院、福源寺調査を実施

#### ■活動内容と成果

本年度は法然八百回忌、親鸞七百五十回忌に当たったことから、全国で浄土宗、浄土真宗に関する大規模な展覧会が開催され、当館所蔵の万福寺旧蔵「法然上人絵伝」の出品、関連研究会における研究発表など、本作品に関する基礎研究成果を発信する機会に恵まれた。また、万福寺同様、中世期の掛幅絵伝を複数所蔵することで知られる岡崎の妙源寺等を調査し、万福寺の掛幅との比較をすることができた。さらに、福源寺において真宗が甲斐に入ってきた最初期に関わる資料を確認した。

③共同調査・研究「博徒の活動と近世甲斐国における社会経済の特質」

■県立博物館担当職員

高橋 修（学芸員）

■共同調査・研究員

高橋 敏（国立歴史民俗博物館名誉教授）、樋泉 明（山梨県立博物館資料収集調査員）

■活動記録

- ・平成23年6月15日（水）  
資料調査（於 静岡市 梅蔭寺次郎長資料室・梅蔭寺）清水次郎長に関する資料・石碑調査
- ・平成23年6月19日（日）  
資料調査（於 東京都 府中市郷土の森博物館）刑罰道具関係資料の調査
- ・平成23年6月23日（木）  
資料調査（於 称願寺）黒駒勝蔵肖像画及び碑文調査
- ・平成23年7月1日（金）  
資料調査（於 東京都公文書館）津向文吉ほか流人関係資料の調査
- ・平成23年8月3日（水）  
資料調査（於 国立国会図書館）甲州博徒に関する近代の新聞記事の調査
- ・平成23年8月15日（月）  
資料調査（於 国立国会図書館）甲州博徒に関する近代の新聞記事の調査
- ・平成23年8月22日（月）  
博徒に関する調査報告・研究会開催（於 立正大学）
- ・平成23年11月14日（月）  
博徒に関する調査報告・研究会開催（於 立正大学）
- ・平成24年2月4日（土）  
博徒に関する調査報告・研究会開催（於 東北大学）
- ・平成24年2月10日（金）  
博徒に関する調査報告・研究会開催（於 立正大学）

■活動内容と成果

近世後期の甲斐国では幕藩制の制度的弛緩に伴って博徒集団の動きが活性化し、黒駒勝蔵や竹居吃安等のように全国的にも著名な親分を輩出した地域として知られる。

こうした甲斐国の地域的特性を踏まえて本研究では、甲州博徒を代表する人物である黒駒勝蔵に焦点をあて、彼の勢力拡大の基盤となった博徒間のネットワークの特性について、彼と対決した清水次郎長の動向と対比させながら解明する。あわせて、その基盤づくりの前提となった知識・教養・情報をどのように蓄え、活用したのか、という観点から実証研究を行い、従来、触れられることの少なかった博徒の活動と地域文化との相互影響関係について明らかにすることを目的として設定された研究である。

平成23年度は上記の観点から山梨県外に残されている甲州博徒関係の資料調査を重点的に実施した。あわせて近世期の博徒の活動について調査・研究を行っている研究者と連携を図り、調査報告・研究会を開催した。調査結果については今後、調査・研究報告書としてとりまとめる予定である。

④共同調査・研究「大木家の民俗資料に関する基礎研究」

■県立博物館担当職員

丸尾依子（学芸員）

■共同調査・研究員

小島孝夫（成城大学）、玄蕃充子（成城大学大学院文学研究科日本常民文化専攻）

■活動記録

- ・第一期資料整理：平成23年8月22日（月）～26日（金）
- ・第二期資料整理：平成23年12月15日（木）～26日（月）

## ■活動内容と成果

大木家の民俗資料は点数が膨大なため（当初の概算は約1,000点）、県立博物館に収蔵されるまでは複数箇所に分散して収蔵された。そのうち埋蔵文化財センター愛宕山収蔵庫に保管された大型資料の350点については平成11年（1999）に資料整理が行なわれたが、資料群全体の正確な点数や内容の一覧表は作成されてこなかった。

このため、大木家資料（民俗）の基礎研究として、総点数の確認とその特徴を明らかにするための資料整理を実施した。

整理点数	第一期	780件
	第二期	600件
	計	1,380件

整理の結果、明治時代以降の資料が大部分を占め、江戸時代の資料は主として食器類が少数遺されている程度であることが判明した。また、寄贈される直前の生活の様子まで留めた資料群というわけではなく、どちらかといえば、元々蔵に収められていた物品に加え、さらに呉服店の廃業前後を起点として不要品や生活に直結しない品々が蔵に納められていき、それが資料群として遺されたという印象である。

さらに、民俗資料の目録作成を行ったことにより、先行して整理作業が行われていた歴史・美術工芸資料と民俗資料との照合が可能となった。大木家資料は、美術・歴史・民俗の三分野に分類されているが、本来は分野を超えてこそ資料の一括性を示す資料群も存在する。よって各分野の個別研究に加え、分野を超えて資料の照合を進めていくことにより、それぞれの資料的意味と価値がより明らかにすることができる。今後の大木家資料群の研究においては、この点が最も重点的な課題となるだろう。

### (3) 個別調査・研究

#### ①職員の調査・研究成果

番号	調査・研究テーマ	概要	担当職員
1	初期真宗の法然上人絵伝に関する研究	中世期における法然絵伝の絵巻形式から懸幅形式への展開を、初期真宗の教線拡大との関わりから考察する。	井澤英理子
2	中部・関東地方における馬産史に関する学際的研究	馬の系統、飼育法、用途、流通、死後の処理と加工など、馬生産・利用の諸側面とその変遷・地域性について考古学的手法により解明する。	植月 学
3	武田氏家臣関係資料に関する基礎的研究	未だ明らかにされていない部分が多い武田氏の家臣について、関連資料の調査を通じて武田家中における位置づけや武田氏滅亡後の展開を明らかにする。	海老沼真治
4	富士信仰の造形に関する研究 －彫像を中心として－	富士信仰にまつわる造形（特に彫像を中心として）とその変遷から、富士信仰そのものの有り様と、それを取り巻く社会的状況について考察する。	近藤暁子
5	近世後期における甲州博徒集団の活動基盤と地域社会・文化との関係についての実証研究	甲州博徒の活動基盤と地域文化との相互影響関係について考察する。	高橋 修
6	日韓内陸地域における雑穀農耕の起源に関する科学的な研究	日韓の雑穀の出現過程を科学的に追究する一方、石器などの道具類にみられる変化を捉え当時の栽培や農耕の実態を探る。	中山誠二
7	武田氏系図に関する研究	中世、近世につくられた甲斐源氏や武田氏に関する系図資料の成立状況を探るとともに、彼らの由緒がどのように形成され、受け継がれてきたのかを考察する。	西川広平

#### ②調査・研究活動

年 月 日	内 容	担当職員
平成23年4月3日(日)	笛吹市八代町 永井天神社神楽調査	丸尾依子
4月6日(水)	甲府市個人蔵 古文書2点の調査・解説	高橋 修
4月10日(日)	甲府市 天津司舞調査	丸尾依子
4月14日(木)	奈良県大和郡山市 同市教育委員会所蔵豊田家史料の調査	高橋 修・西川広平
4月14日(木)	甲府市個人宅 写真資料調査	小畑茂雄・丸尾依子
4月15日(金)	奈良県大和郡山市 柳沢文庫所蔵資料の調査	高橋 修・西川広平
4月17日(日)	富士川町 氷室神社神楽調査	丸尾依子
4月22日(金)	中央市個人蔵 虚無僧関係資料1点の調査・解説	高橋 修
4月23日(土)	北杜市個人蔵 民俗資料調査	丸尾依子
5月3日(火)	甲州市塩山 一之瀬高橋春駒（春駒愛好会実施）調査	丸尾依子

年 月 日	内 容	担当職員
5月11日(水)	京都大学工学研究科所蔵「甲府城並近辺之絵図」の調査	高橋 修・西川広平
5月12日(木)	奈良県大和郡山市 永慶寺所蔵資料の調査	高橋 修・西川広平
5月12日(木)～13日(金)	奈良県大和郡山市 同市教育委員会所蔵豊田家史料の調査	高橋 修・西川広平
5月16日(月)	甲府市蔵 古文書10点の調査	高橋 修
5月18日(水)	南アルプス市 矢崎家文書の調査	西川広平
5月18日(水)	山梨市 慶徳寺の仏像調査	近藤暁子・海老沼真治
6月1日(水)	山梨市墓所調査	沓名貴彦
6月8日(水)	忍野村教育委員会から依頼された古文書2点の調査・解説	高橋 修
6月8日(水)	奈良県大和郡山市 永慶寺所蔵資料及び柳沢文庫所蔵資料の調査	中山誠二・西川広平
6月9日(木)	蕪崎市個人蔵 古文書2点の調査・解説	高橋 修
6月9日(木)	奈良県大和郡山市 同市教育委員会所蔵豊田家史料の調査	中山誠二・西川広平
6月11日(土)	甲府市個人蔵 埴原正直関係資料1点の調査・解説	高橋 修
6月11日(土)	南アルプス市個人宅 民俗資料調査	丸尾依子
6月15日(水)	静岡市 梅蔭寺次郎長資料室及び梅蔭寺 清水次郎長関係資料及び碑文調査	高橋 修
6月15日(水)	南アルプス市個人宅 民俗資料調査	丸尾依子
6月17日(金)	甲州市 大井俣窪八幡神社の環境調査	沓名貴彦
6月19日(日)	府中市郷土の森博物館 刑罰道具関係資料の調査	高橋 修
6月22日(水)	北杜市個人宅 墓石資料の調査・解説	高橋 修
6月23日(木)	笛吹市 称願寺 黒駒勝蔵肖像画及び碑文調査	高橋 修
6月25日(土)	甲府市個人蔵 襖貼り資料6点の調査・解説	高橋 修
6月26日(日)	神奈川県立金沢文庫仏像調査(東北大学調査)	近藤暁子
6月29日(水)	埼玉県大里郡寄居町 高蔵寺所蔵資料の調査	西川広平
6月30日(木)	甲府市個人蔵 埴原正直関係資料4点の調査・解説	高橋 修
7月1日(金)	東京都公文書館 津向文吉及び流人関係資料調査	高橋 修
7月4日(月)	大阪市 柳沢淇園関係資料調査・古美術青雅堂	井澤英理子
7月6日(水)	南アルプス市 矢崎家文書の調査	西川広平
7月10日(日)	宮城県柴田郡 大光院仏像調査(東北大学調査)	近藤暁子
7月14日(木)～15日(金)	奈良県大和郡山市 永慶寺所蔵資料の調査	井澤英理子・西川広平 近藤暁子
7月17日(日)	国立科学博物館 鉢山関係資料調査	沓名貴彦・海老沼真治
7月20日(水)	甲州市 信玄公宝物館収蔵資料の調査	井澤英理子・西川広平
8月3日(水)	国立国会図書館 甲州博徒に関する近代の新聞記事の調査	高橋 修
8月8日(月)	愛知県岡崎市 真宗懸幅絵伝調査・満性寺・妙源寺	井澤英理子
8月8日(月)～9日(火)	甲府市 善光寺仏像調査(日本橋学館大学調査)	近藤暁子
8月10日(水)	南アルプス市 矢崎家文書の調査	西川広平
8月15日(月)	国立国会図書館 甲州博徒に関する近代の新聞記事の調査	高橋 修
8月15日(月)～20日(土)	韓国内の新石器時代遺跡の植物圧痕、プラント・オパール、石器使用痕分析調査、 韓国環境考古学研究院、忠清南道歴史文化院、大東文化財研究院、中部考古学研究院	中山誠二
9月7日(水)	奈良県大和郡山市 柳沢文庫所蔵資料の調査	西川広平
9月11日(日)	埼玉県所沢市個人蔵 「久保川家資料」26点を調査、目録作成	高橋 修
9月16日(金)	甲府市 善光寺仏像調査(日本橋学館大学調査)	近藤暁子
10月13日(木)	笛吹市出土遺物調査	沓名貴彦
11月5日(土)	東京都江戸川区個人蔵 「河内家資料」13点の調査	高橋 修
11月6日(日)	神奈川県鎌倉市 常楽寺仏像調査(東北大学調査)	近藤暁子
11月9日(水)	身延町寺院所蔵彫刻調査	沓名貴彦
11月16日(水)	北杜市金生遺跡出土遺物調査	沓名貴彦
11月17日(木)	南部町 個人所蔵の古文書調査	海老沼真治
11月27日(日)～28日(月)	北海道室蘭市 個人所蔵の古文書調査	海老沼真治
12月5日(月)	仙台市博物館仏像調査(東北大学調査)	近藤暁子
12月7日(水)	蕪崎市個人蔵 連歌関係資料1点の調査	高橋 修
12月10日(土)～14日(水)	韓国閔慶地域 民俗事象調査(国立歴史民俗博物館国際交流事業)	丸尾依子
平成24年1月11日(水)	富士吉田市 県内真宗寺院調査・福源寺	井澤英理子
1月14日(土)	山梨市牧丘町 道祖神祭り調査	丸尾依子

年 月 日	内 容	担当職員
1月15日(日)	甲州市塩山 一之瀬高橋春駒(春駒保存会実施)調査	丸尾依子
1月18日(水)	静岡県立中央図書館歴史文化情報センター収蔵資料の調査	西川広平
1月19日(木)	浜松市浜北区 天寶堤跡・彦助堤跡現地巡見	西川広平
1月～3月	南部町 個人所蔵の古文書調査と整理	海老沼真治・宮澤富美恵
2月1日(水)	甲府市個人蔵「長田家資料」112点を調査、目録作成	高橋 修
2月1日(水)	京都市 藪田家関係資料の調査	西川広平
3月3日(土)	神奈川県厚木市 中世史と考古学シンポジウム研究会	西川広平
3月14日(水)	笛吹市 南照院蔵 民俗資料調査	丸尾依子
3月18日(日)	中央市豊富郷土資料館蔵 皿1点に書かれたくずし字の調査・解説	高橋 修
3月22日(木)	竹田市立歴史資料館収蔵資料の調査	西川広平

#### (4) 調査・研究成果の公表

##### ① 博物館主催シンポジウム・講演会における職員の発表

第Ⅱ編第5章(1)を参照

##### ② 博物館職員の調査・研究実績

###### ■ 論文・調査報告など

氏 名	名 称	掲 載 誌 名	学会(発行者)	発行年月日
井澤英理子 宮澤富美恵	北齋が描いた甲斐国	『山梨県立博物館研究紀要』第6集	山梨県立博物館	平成24年3月24日
井澤英理子	万福寺旧蔵「法然上人絵伝」について	『仏教美術研究上野記念財団 助成研究会報告書第三十八冊』	仏教美術研究上野記念財団	平成24年3月31日
植月 学	出土馬歯計測値比較のための基礎的研究	『動物考古学』第28号	動物考古学研究会	平成23年5月1日
植月 学	甲府城下町丸の内二丁目109地点より出土したウマ遺体	『甲府城下町遺跡(丸の内二丁目109地点)』	山梨文化財研究所	平成23年9月30日
植月 学	動物考古学からみた牛の利用	『牧と考古学—牛をめぐる諸問題—』	山梨県考古学協会	平成23年11月18日
植月 学	動物考古学からさぐる古代の牛	『帝京大学山梨文化財研究所報』第54号	山梨文化財研究所	平成23年11月18日
植月 学	御殿前遺跡より出土した動物遺体	『御殿前遺跡』	北区教育委員会	平成24年3月23日
植月 学	後田遺跡から出土した脊椎動物遺体	『松戸市立博物館紀要』第19号	松戸市立博物館	平成24年3月31日
海老沼真治	南部氏から穴山氏へ—身延町の中世—	『山梨考古』21	山梨県考古学協会	平成23年6月
海老沼真治	山梨県立博物館収蔵の中世文書	『古文書研究』72	日本古文書学会	平成23年10月
海老沼真治	武田氏における黄金の使用について	『戦国大名武田氏の役と家臣』	岩田書院	平成23年11月
杵名貴彦	宮ノ上遺跡出土の金付着陶器の科学調査について	『山梨県山岳信仰遺跡詳細分布調査報告書』	山梨県教育委員会	平成24年3月23日
杵名貴彦	甲府城から出土したワインボルのガラス成分に関する調査について	『甲府城跡 一楽屋曲輪地点—』	山梨県教育委員会 山梨県総務部	平成24年3月26日
杵名貴彦	笛吹市北原遺跡出土の赤色物質の科学分析について	『北原遺跡(2次)』	笛吹市教育委員会	平成24年3月30日
近藤暁子	中世の造像(「富士山にかかわる神像と仏像」のうち)	『富士山 山梨県富士山総合学術調査研究報告書』	山梨県教育委員会	平成24年3月15日
高橋 修	山梨県地方史研究の動向	『信濃』63-6号	信濃史学会	平成23年6月20日
高橋 修	絵地図からみた「甲斐の富士山」像	『富士山 山梨県富士山総合学術調査研究報告書』	山梨県教育委員会	平成24年3月15日
高橋 修	資料紹介 大和郡山市教育委員会蔵『豊田家資料』における柳沢吉保書状他について	『山梨県立博物館研究紀要』第6集	山梨県立博物館	平成24年3月24日
高橋 修	山梨県立博物館のジオラマの楽しみ方 56～67(連載)	『まちミュウ友の会会報』76～87	特定非営利活動法人つなぐ	平成23年4月～ 平成24年3月
中山誠二	植物考古学の可能性	『インド考古研究』第32号	インド考古学研究会	平成23年7月1日
中山誠二	縄文土器に刻まれた2種類の豆	『スローフードの考古学』展示図録	埼玉県立さきたま史跡の博物館	平成23年10月8日
中山誠二	縄文時代晩期終末期のアワ・キビ-中道遺跡の事例	『山梨県立博物館研究紀要』第6集	山梨県立博物館	平成24年3月24日
西川広平	山梨県地方史研究の動向	『信濃』63-6号	信濃史学会	平成23年6月20日
西川広平	市河家文書と山本勘助	『激動を生きぬく』展示図録	長野県立歴史館	平成23年7月23日
西川広平	『柳沢吉保と甲府城』展示図録		山梨県立博物館	平成23年10月8日
西川広平	戦国期における川除普請と地域社会	『歴史学研究』889号	歴史学研究会	平成24年2月15日
西川広平	柳沢吉保菩提寺 永慶寺の創建と郡山移転について	『山梨県立博物館研究紀要』第6集	山梨県立博物館	平成24年3月24日
西川広平	中世 修験の発達と登拝の拡大	『富士山 山梨県富士山総合学術調査研究報告書』	山梨県教育委員会	平成24年3月15日
丸尾依子	道祖神祭りの神木の奉納物について	『神・人・自然』創刊号	「神・人・自然」研究会	平成23年10月1日
丸尾依子	山梨県民俗芸能緊急調査「鳥谷原の獅子舞」、「永井天神社の神楽」、「水室神社の神楽」	『山梨県民俗芸能緊急調査報告書』	山梨県教育委員会	平成24年3月16日

■講演・シンポジウムなど

氏名	名称	シンポジウム名・学会名	場所	開催年月日
井澤英理子	万福寺旧蔵「法然上人絵伝」について	仏教美術研究上野記念財団助成研究会 研究発表と座談会「浄土宗の文化と美術」	京都テルサ	平成23年4月29日(金)
井澤英理子	「絵画に託された富士のイメージ」	やまなし学研究2011『富士山考/甲斐の国人物伝』山梨学院 生涯学習センター	山梨学院生涯学習センター	平成23年7月20日(水)
井澤英理子	「北斎と富士」	アート・カルチャー・フォーラム 「なぜアーティストは富士山に魅せられるのか」 NPO法人 芸術文化振興センター	ぶどうの丘美術館	平成23年7月29日(金)
井澤英理子	勝沼万福寺と法然上人絵伝	山梨県生涯学習推進センター 山梨学講座「山梨の人と文化 10」山梨の仏教文化-甲斐の人々と信仰-	山梨県立男女共同参画推進セン ター	平成24年2月9日(木)
井澤英理子・ 西川広平	シンポジウム「山梨の仏教文化」	山梨県生涯学習推進センター 山梨学講座「山梨の人と文化 10」山梨の仏教文化-甲斐の人々と信仰-	山梨県立男女共同参画推進セン ター	平成24年3月14日(水)
植月 学・ 津村宏臣	輪郭形状解析による出土馬歯の形態分類に関する基礎的研究	日本文化財科学会第28回大会	筑波大学	平成23年6月11日(土)
植月 学・ 樋原岳二・ 津村宏臣	オマーン・ラス・ジブス貝塚における漁労活動と古海況	日本文化財科学会第28回大会	筑波大学	平成23年6月11日(土)
植月 学	動物考古学からみた牛の利用	シンポジウム「牧と考古学-牛をめぐる諸問題-」	帝京大学山梨文化財研究所	平成23年11月20日(日)
植月 学・ 津村宏臣	白歯の輪郭形状解析による馬の系統分類の試み	第15回動物考古学研究集会	奈良文化財研究所	平成23年11月26日(土)
植月 学・ 津村宏臣	動物考古学における形態測定学	日本生態学会第59回大会自由集会	能谷大学瀬田キャンパス	平成24年3月17日(土)
海老沼真治	南部氏から穴山氏へ-身延町の中世-	山梨県考古学協会地域大会	身延町総合文化会館	平成23年6月4日(土)
海老沼真治	新発見の古文書にみる 武田氏時代の山本菅助	豊川の人物誌展講演会	愛知県 豊川市桜ヶ丘ミュージ アム	平成23年10月22日(土)
海老沼真治	山本菅助と川中島の戦い	川中島合戦in図書館 ミニ講演会	山梨県立図書館	平成23年11月20日(日)
海老沼真治	平家と甲斐源氏	甲府城下町を語る会	遊亀公民館	平成24年1月15日(日)
海老沼真治	天正8年前後の武田氏による城郭整備-新出の武田勝頼書状 を素材として-	山梨郷土研究会・武田氏研究会 研究例会	甲府市中央公民館	平成24年3月24日(土)
菅名貴彦・ 村上隆・甲府市 教育委員会	中世の金精錬技術に関する科学調査 -武田氏館跡とその城下町遺跡出土遺物を中心に-	日本文化財科学会第28回大会	筑波大学	平成23年6月12日(日)
Y Sasaki, R Fukae, T Kutsuna, H Kutsuna, K Sasaki	Determination of Red Dyes used for Rouge Cotton (Enji-wata)	Meetings of Dyes in History and Archaeology 30	University of Derby	平成23年10月13日(木)
菅名貴彦	中世の金・銀生産技術に関する科学調査について-中世遺跡 からの出土遺物に対する科学調査を中心に-	佐渡金銀山絵巻研究会	相川地区公民館	平成23年10月22日(土)
近藤暁子	木喰上人の足跡を訪ねて	やまなし学研究2011『富士山考/甲斐の国人物伝』山梨学院 生涯学習センター	山梨学院生涯学習センター	平成23年11月16日(水)
高橋 修	柳沢吉保の甲斐国統治	山梨郷土研究会	談露館	平成23年6月4日(土)
高橋 修	甲州博徒の資料論構築に向けて	博徒研究会	立正大学	平成23年8月22日(月)
高橋 修	柳沢吉保の手紙を読む	甲府城下町を語る会	甲府市北公民館	平成23年12月11日(日)
高橋 修	柳沢吉保の手紙から見た柳沢氏の甲斐国統治	幕藩制研究会	学習院大学	平成23年12月20日(火)
高橋 修	甲州博徒論の構想	平川新先生記念論集研究会	東北大学	平成24年2月4日(土)
高橋 修	西保岡太郎論	博徒研究会	立正大学	平成24年2月10日(金)
高橋 修	山梨県立博物館の取り組み-小学生だから読める古文書講座 の実践-	日本ミュージアム・マネジメント学会 平成23年度 第3回基礎部門研究部会	山梨県立博物館	平成24年3月3日(土)
中山誠二	縄文時代のマメ利用と栽培	日本考古学協会	國學院大學	平成23年5月29日(日)
中山誠二	山梨県における縄文時代終末から弥生時代初期の穀物種子圧 痕	九州古代種子研究会	都城市中央公民館	平成24年3月3日(土)
西川広平	柳沢吉保と永慶寺	かふふ歴史倶楽部	甲府市立図書館	平成23年10月24日(月)
西川広平	柳沢吉保と甲斐国	水曜会	岡島ロイヤル会館	平成23年11月2日(水)
西川広平	柳沢吉保と甲斐国	甲州市郷土研究会	生涯学習室	平成23年11月16日(水)
西川広平	戦国期の治水・利水と村落	中央史学会中世史部会	中央大学文学部	平成23年12月6日(火)
西川広平	他阿真教と甲斐の時宗寺院	山梨県生涯学習推進センター 山梨学講座「山梨の人と文化 10」山梨の仏教文化-甲斐の人々と信仰-	山梨県立男女共同参画推進セン ター	平成24年3月6日(火)

■県立博物館館内研究会

日時	報告者	内容
平成23年7月7日(木)	中山誠二・高橋 修	東日本大震災 被災文化財救援事業への活動報告(宮城県石巻市・亙理町)
平成23年8月12日(金)	小畑茂雄	東日本大震災 被災文化財救援事業への活動報告(岩手県陸前高田市)

③刊行物

名称	発刊日	体裁
『山梨県立博物館研究紀要』第6集	平成24年3月24日	A4版、98頁

## (5) 富士山世界文化遺産学術調査・研究への協力

### ■調査・研究の目的

富士山の世界文化遺産登録に向けて、平成20年度から山梨県が行っている富士山総合学術調査・研究に、23年度も継続して当館職員が調査員として参加した。平成23年度は、山梨県富士山総合学術調査研究報告書の刊行が事業の中心となり、担当職員の多くが本報告書に執筆した。

### ■県立博物館担当職員

海老沼真治（学芸員、文献班）

高橋 修（学芸員、文献班）

西川 広平（学芸員、文献班）

平山 優（副主幹、文献班）

宮澤富美恵（職員、文献班）

井澤英理子（学芸員、有形文化財班）

近藤 暁子（学芸員、有形文化財班）

### ■主な活動記録

- ・平成23年11月11日（金） 富士山総合学術調査・研究委員会
- ・平成24年 3月15日（木） 『富士山－山梨県富士山総合学術調査研究報告書－』刊行

### 第3章 資料の収集・保管・活用

#### (1) 資料収集の方針

##### ①資料収集の方針

山梨県立博物館における資料収集は、博物館の基本テーマである「山梨の自然と人」に関わるものを中心とする（山梨県立博物館の資料収集及び資料・情報の活用に関する要綱）。具体的には、以下の性格を有する資料を収集の対象とする。

- ① 絵画、彫刻、工芸品、書籍、典籍、古文書その他の有形の文化的所産で山梨県にとって歴史上または芸術上価値の高いもの並びに考古資料及びその他の学術上価値の高い歴史資料。
- ② 衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能及びこれらに用いられる衣服、器具、その他の物件で県民の生活推移の理解のために欠くことのできないもの。
- ③ 言葉、音楽、民間伝承、工芸技術等の無形のもので山梨県の文化の理解に欠くことのできないもの。
- ④ 動物、植物及び地質鉱物で山梨県にとって前の項目と深い関わりのあるもの。

収集の対象とする資料のうち、その収集が困難なものについては、当該資料に係る模型、模造、模写、複製若しくは当該資料に関する図書、文献、調査資料その他必要な資料を収集することとしている。

収集にあたっては、上記要綱のほか「山梨県立博物館の資料収集に関する要領」に従って収集を進めている。

##### ②資料・情報委員会

資料の収集の適否等について審議し、収集した資料・情報の活用について協議する「資料・情報委員会」を設置、開催している。

委員会は、7名の委員により構成されており、歴史、考古、民俗、美術工芸、情報工学等に関する高度な専門的知見を有する者の中から、山梨県立博物館長が選任している。

#### ■資料・情報委員会委員名簿（五十音順、敬称略）

氏名	職名	専門分野
安達 文夫	国立歴史民俗博物館教授	情報工学
飯田 文彌	山梨郷土研究会常任理事	近世史・郷土史
大塚 初重	山梨県立考古博物館元館長	考古学
清雲 俊元	山梨郷土研究会理事長	郷土史・宗教史
笹本 正治	信州大学副学長	中世史
鈴木麻里子	甲府市文化財審議委員	美術史
谷口 一夫	山梨県考古学協会会長	考古学
濱田 隆	山梨県立美術館元館長	美術史
堀内 眞	富士吉田市歴史民俗博物館学芸員	民俗学

\*平成24年1月28日（土）に鈴木麻里子氏、谷口一夫氏が、大塚初重氏、清雲俊元氏の後任として委員に委嘱された。

#### ■平成23年度の資料・情報委員会開催状況

- ・平成23年7月28日（木）第13回委員会を開催  
6件の収集候補資料を審議した。
- ・平成24年2月16日（木）第14回委員会を開催  
17件の収集候補資料を審議した。

#### (2) 資料の収集

平成23年度に収集した資料は、次表の通りである。

#### ■購入

	資料名	特徴	制作期	員数
1	武田信玄書状・上杉謙信書状	永禄12年（1569）と推定される5月5日付で、武田信玄が常陸国（茨城県）の戦国大名佐竹義重に属していた武将梶原政景に送ったと考えられる書状。並びに元亀3年（1572）と推定される6月7日付で、上杉謙信が梶原政景に送ったと考えられる書状。	戦国時代 （16世紀）	2幅
2	富嶽三十六景 甲州石班澤	葛飾北斎の代表作、「富嶽三十六景」46枚のうちの1枚。当時流行した輸入顔料「ペロ藍（ブルシアンプルー）」を活かして、藍色の濃淡だけで表現した「藍刷り」の代表作。シリーズの中で初期作品。	江戸末期 天保2年～3年 （1831～32）頃	1枚

	資料名	特徴	制作期	員数
3	甲州金（基石金、蛭藻金）、埋蔵銭	甲州市勝沼町の勝沼氏館跡の対岸に位置する観光ぶどう園の畑地下から出土した甲州金と埋蔵銭。	戦国時代（16世紀）	2,953点
4	歌川広重筆 甲斐国身延山 七面山之図	広重の浮世絵版画で、身延山全体の聖域と久遠寺境内が描かれている。広重は天保12年（1841）に甲府道祖神祭りの幕絵制作のために来甲して旅日記とスケッチを残しており、富士川沿いに身延道も歩いている。	安政4年（1857）	3枚
5	二代歌川広重筆 江戸名所四十八景 目黒不動	初代広重が描いた甲府道祖神祭幕絵「東都名所 目黒不動之瀧」と共通するモチーフの浮世絵版画。二代広重は広重の娘婿で、初代のスケッチ類を受け継いで自作に活用した。また、二代は初代の幕絵を補うために元治元年（1864）頃に甲府を訪れている。	江戸時代末期 万延元年～文久元年 （1860～61）	1枚
6	木喰上人作木彫佛 甲種 （柳 宗悦 著）	大正14年（1925）に限定で出版された木喰仏の大判写真集。掲載写真には既に甲府教安寺像のように焼失してしまったものが含まれる。装幀に、甲州産印伝、市川大門和紙など、山梨にかかわる素材を用い、出版費用は小宮山清三によった。	大正14年（1925）	1冊
7	木喰上人作木彫佛 乙種 （柳 宗悦 著）	甲種と同様に、大正14年（1925）に限定で出版された木喰仏の大判写真集。甲種と形態を異にする未製本の軼入りで、特に重要な写真が1枚ずつになっている。	大正14年（1925）	1帙
8	佐渡金銀山絵巻	佐渡金銀山における坑道内の採掘や、製錬作業の様子を描いた絵図。	江戸時代末期 （19世紀）頃	1巻

### ■寄贈

	資料名	特徴	制作期	員数
1	千野家文書	下条南割村（韮崎市）で代々名主を務めた千野家に伝えられた古文書。昭和58年（1983）に県立図書館に寄贈され、平成17年（2005）に県立博物館に移管された文書群と一体をなすもの。	江戸時代	4点

### ■寄託

	資料名	特徴	制作期	員数
1	星野家資料	武藤嘉左衛門尉に対してその所領を安堵するために出された徳川家康朱印状及び藤木村（甲州市塩山）にまつわる村政文書・絵図からなる資料群。	戦国時代～近代	11点
2	武藤家資料 （甲府八日町升屋資料）	甲府八日町の和菓子店升屋（升屋太郎右衛門・牡丹亭満寿太）に伝来する歌川国芳、三代歌川豊国の浮世絵と、市川団十郎の書簡。甲府町人と江戸の浮世絵師、歌舞伎役者との交流がわかる。	江戸時代末期	17点

## (3) 資料の整理・目録（データ）化

平成23年度は、新規収集した資料に加え、平成17年度に県立図書館より移管した資料（約85,000点）の内5,500点のデータ修正を行った。収集資料を目録（データ）化する作業を進め、登録データの公開作業も随時進めている。

### ■資料の整理

新規に収集した未整理の資料について、保管容器への収納、ナンバリングを行う作業である。平成23年度は、引き続き職員による作業を進めているほか、7～8月、12～1月、3月の3回整理作業員を雇用し、新規収集資料の整理を実施した。

### ■収蔵資料のマイクロ化・デジタル化

県立図書館から移管した資料のうち、利用頻度が高い「甲州文庫」については、利便性を高めるため、平成16～17年度事業としてマイクロフィルムによる撮影、デジタル画像の作成を行い、全体の約9割が完了した。残りの資料については、さらに18～19年度の2ヶ年でマイクロ化・デジタル化を実施した。

本事業によって、甲州文庫資料のうち、古文書・図書・新聞雑誌類については、ほぼすべての資料のデジタル画像を公開した。

撮影点数：23,019点（510,518コマ）

### ■図書資料のデータ登録

収集した図書・雑誌類のデータ登録を、職員により随時行っている。平成24年3月10日現在の登録件数は37,989点となっている。

#### (4) 資料の修復・管理

##### ①資料の修復

###### ■修復資料

- ・狩野洞雲筆「中国故事人物図屏風」六曲一双 紙本金地著色 縦130.4×横357.4cm

###### ■資料の重要性

- ・大和国郡山藩主柳沢家に伝来した屏風。訓戒を説く内容を持つ中国故事の画題で、武士階級に用いられた種類の絵画であり、幕府の表絵師である駿河台狩野の絵師による作品であり、柳沢家にふさわしい内容の屏風である。

###### ■修復者

(株)墨仁堂 静岡県静岡市葵区大岩1-4-4 (修復作業所:同左)

###### ■修復の内容

- ・修復前の状況は、蝶番の破損、奥尾背の糊離れと皺、多数の虫穴、大きな破れや亀裂、不適切な補修紙・補彩が見られ、展示に支障をきたしていた。
- ・このため、解体して肌裏紙、下地まで取り替える根本修理を行った。本紙の汚損をクリーニング、絵具の剥落留めを行い、旧補修紙の除去、新たな補紙を施し、裏打ち、補強を行った。襲木(漆塗りの縁)、縁裂、唐紙、金具などの表具はクリーニングし元使いとした。
- ・修復完了後、「柳沢吉保と甲府城」展に新出資料として展示した。

##### ②資料の保存環境管理

博物館では、資料を後世に伝えるために高いレベルで環境管理を行っている。これは、資料の物理的、化学的、生物的な劣化を防ぐためである。以下に、管理項目とその内容について示す。

###### ■温湿度管理

山梨県立博物館では文化財の収蔵・展示のため、精度の高い温度・湿度管理を行っている。収蔵庫は24時間空調を行い、展示室については深夜電力による蓄熱時間を除く間(8時～22時)、空調を行っている。これらの管理は中央監視室にて監視し、毛髪式自記記録計及びデータロガーによる温度・湿度の計測を行っている。

展示ケースについても、エアタイトケースと呼ばれるケースについては調湿剤を使用して湿度のコントロールを行うとともに、毛髪式自記記録計、データロガーによる温度・湿度の計測を行っている。

###### ■空気質管理

空気質については、化学吸着フィルターと呼ばれるフィルターを収蔵庫、展示室の空調設備に設置し、外気及び循環気に含まれる有害ガスの除去を行っている。

###### ■照明

館内の照明のうち収蔵庫及び展示室内の照明には紫外線が極力発生しないものを用いている。特に紫外線が多く発生する蛍光灯は、美術・博物館用と呼ばれる紫外線吸収膜付の高演色形の蛍光灯を使用している。また、他の照明では各種ハロゲンランプを用いている。

また、照度は資料の材質や状態に合わせて管理を行っており、浮世絵や染織品のような非常に脆弱なものは80ルクス以下、土器や金属器等あまり注意しなくてよいものは150ルクス程度の照明を行っている。

###### ■生物被害管理

一時収蔵庫での燻蒸は、資料収集の関係上実施しなかった。資料個別に対する燻蒸については適宜燻蒸庫で行った。

#### (5) 資料の活用

山梨県立博物館では、収集した貴重な資料を後世に残し、将来を見通した利用を保障することを資料取り扱いの基本と考えている。保存に十分配慮した上で、資料を公開し、県民、博物館利用者の学習や調査研究

等に活用するために、資料、情報の提供を行っている。

利用者の利便性を図るため、平成20年6月1日より開始した即日閲覧は、利用者に好評であり、97件526点を提供した。また、従来からの事前申請による原資料閲覧が、古文書等を中心として2件2点あった。

撮影は展示図録への掲載、調査研究などの目的で31件243点あり、書籍等への掲載、テレビ番組での使用などの資料写真の貸出は、143件432点となっている。

また、県内外の博物館等での展示利用のために、9件76点の館外貸出を行った。

#### ■平成23年度歴史資料等利用状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
歴史資料等 即日閲覧	件数	3件	7件	11件	11件	11件	7件	6件	10件	4件	5件	10件	12件	97件
	点数	12点	18点	41点	31点	107点	44点	56点	72点	37点	10点	50点	48点	526点
歴史資料等閲覧	件数	1件	0件	0件	0件	1件	0件	2件						
	点数	1点	0点	0点	0点	1点	0点	2点						
歴史資料等撮影	件数	6件	0件	3件	1件	2件	4件	2件	2件	2件	3件	2件	4件	31件
	点数	7点	0点	29点	4点	34点	21点	56点	2点	4点	5点	27点	54点	243点
歴史資料等使用 (フィルム使用等)	件数	18件	10件	12件	13件	15件	16件	11件	8件	5件	11件	13件	11件	143件
	点数	58点	13点	21点	31点	24点	32点	30点	58点	23点	79点	46点	17点	432点
歴史資料等貸出	件数	0件	0件	1件	1件	0件	0件	2件	1件	0件	2件	1件	1件	9件
	点数	0点	0点	5点	9点	0点	0点	28点	12点	0点	16点	1点	5点	76点

## 第4章 展 示

### (1) 常設展示

平成23年度の常設展示は、年間6回の展示替えを行い、資料の保存に対応するとともに、各回ごとに展示テーマを設定して、来館者に親しみやすい展示内容とすることを図った。また、春期（「北斎の富嶽三十六景」展）・秋期（「柳沢吉保と甲府城」展）各企画展に連動したテーマを設定することにより、展示全体に一体感をもたせ、来館者の循環を促すよう図った。

#### ■展示資料一覧

##### ・展示期間

- ①平成23年2月23日（水）から平成23年4月18日（月）まで  
展示テーマ「山梨の春は、桜と桃と信玄公」
- ②平成23年4月20日（水）から平成23年6月20日（月）まで  
展示テーマ「叙情の浮世絵師 歌川広重」
- ③平成23年6月22日（水）から平成23年8月15日（月）まで  
展示テーマ「富士は日本一の山」
- ④平成23年8月17日（水）から平成23年10月17日（月）まで  
展示テーマ「資料で巡る山梨の旅」
- ⑤平成23年10月19日（水）から平成23年12月19日（月）まで  
展示テーマ「柳沢文化と甲府」
- ⑥平成23年12月21日（水）から平成24年2月20日（月）まで  
展示テーマ「お正月は、博物館で初詣」
- ⑦平成24年2月22日（水）から平成23年4月16日（月）まで  
展示テーマ「山梨の春は、桜と桃と信玄公」

- ・時代については、複製品は原資料の製作年代を記した。
- ・所蔵者については、複製品は（ ）内に原資料所蔵者を記した。
- ・指定については、●は国宝、◎は国指定重要文化財、○は県指定文化財、◇は市町村指定文化財とした。
- ・絵画・古文書等、脆弱な資料の展示期間が複数にわたる場合は、その都度頁替え、巻替などを行なっている。

#### 【出品資料一覧】

資 料 名	時 代	所 蔵 者	指定	展示期間
自然の森の中で				
柱野遺跡渦巻文土器	縄文中期	笛吹市教育委員会		
甲州市重原遺跡出土縄文土器（藤内式土器）	縄文中期	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
縄文土器片、石器	縄文中期	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲斐の誕生				
甲斐国分寺瓦（鬼瓦）	奈良	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
甲斐国分寺瓦（平瓦・丸瓦）	奈良	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
甲斐国分寺墨書土器	奈良	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
郷名墨書土器「石禾東」	平安	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
郷名墨書土器「玉井郷長」	平安	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
刻書土器「甲斐国山梨郡大野郷」（複製）	奈良	山梨県立博物館（佐久市教育委員会）		①②③④⑤⑥⑦
刻書土器「甲斐国山梨郡表門」	奈良	甲府市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
寺本廃寺 瓦	白鳳	笛吹市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
天狗沢瓦窯跡 瓦	白鳳	甲斐市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡①（複製）	奈良	山梨県立博物館（奈良文化財研究所）		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡②（複製）	奈良	山梨県立博物館（奈良文化財研究所）		①②③④⑤⑥⑦

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡③(複製)	奈良	山梨県立博物館(奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 習書・戯画木簡(複製)	奈良	山梨県立博物館(奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 山梨郡貢進物付札木簡①(複製)	奈良	山梨県立博物館(奈良文化財研究所)	◎	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 山梨郡貢進物付札木簡②(複製)	奈良	山梨県立博物館(奈良文化財研究所)	◎	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 山梨郡養物銭荷札木簡(複製)	奈良	山梨県立博物館(奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
甲斐国印(推定復元)	奈良	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
正倉院文書「甲斐国司解」(複製)	奈良	山梨県立博物館(正倉院宝物)		①②③④⑤⑥⑦
東畑遺跡金銅仏	奈良	甲府市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
<b>甲斐の黒駒</b>				
大塚古墳出土横刎板鋌留短甲(複製)	古墳	山梨県立博物館(市川三郷町教育委員会)	○	①②③④⑤⑥⑦
狐原遺跡 焼印	平安	上野原市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
古柳塚古墳 馬具	古墳	笛吹市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
塩部遺跡 馬下顎骨	古墳	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
伝豊富村 衝角付冑(複製)	古墳	山梨県立博物館(東京国立博物館)		①②③④⑤⑥⑦
伝豊富村 眉庇付冑(複製)	古墳	山梨県立博物館(東京国立博物館)		①②③④⑤⑥⑦
平林2号墳 馬具	古墳	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
平林2号墳太刀、鉄鍬一括	古墳	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 通行証明木簡(過所木簡)(複製)	奈良	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
正倉院文書「駿河国正税帳」(複製)	天平10年(738)	山梨県立博物館(正倉院宝物)		①②③④⑤⑥⑦
<b>水に取り組む</b>				
雨乞いの仏像		清水寺		①②③④⑤⑥⑦
祓いの人形(上野晴朗氏収集資料)	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
流し雛(上野晴朗氏収集資料)	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
石尊祭の藁束	平成14年(2002)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
測量器(複製)	江戸	山梨県立博物館(個人)		①②③④⑤⑥⑦
宮沢中村遺跡網代護岸	鎌倉	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
御幸祭川除の石	平成15年(2003)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
武田家朱印状(桑原家資料)(複製)	天正3年(1575)	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
釜無川氾濫の図(複製)		長遠寺		①②③④⑤⑥⑦
日用算法歌(甲州文庫)	文化2年(1805)	山梨県立博物館		①②③④
大早魃に付牛雨乞の四ヶ村議定書(甲州文庫)	天保10年(1839)	山梨県立博物館		①②③④⑤
四方津村四ヶ村組合牛雨乞に付諸人用控(甲州文庫)	天保14年(1843)	山梨県立博物館		①②③④⑤
藤木村鹿絵図(星野家資料)	寛政4年(1792)	甲府市		⑤⑥⑦
入野野村絵図(内藤家資料)	江戸	山梨県立博物館		⑥⑦
新版出水くどき(甲州文庫)	江戸	山梨県立博物館		⑥⑦
徳川家康朱印状(星野家資料)	天正10年(1582)	甲府市		⑦
<b>戦国からのメッセージ</b>				
武田勝頼書状(櫻林家資料)	天正2年(1574)	個人		①②③④⑤
成瀬正成判物(櫻林家資料)	慶長20年(1615)	個人		①②③④⑤
上杉景勝判物(市河家文書)	室町(16世紀)	山梨県立博物館	○	⑥
直江兼続書状(市河家文書)	室町(16世紀)	山梨県立博物館	○	⑥
徳川家康禁制(南松院資料)	天正10年(1582)	南松院	○	⑦
妙法寺記	江戸	山梨県立博物館		①②③④⑤
勝山記写本	江戸	個人		⑥⑦
筒粥神事の道具	平成17年(2005)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
平成23年度筒粥占標(小室浅間神社)	平成23年(2011)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
平成24年度筒粥占標(小室浅間神社)	平成24年(2012)	山梨県立博物館		⑦

第Ⅱ編 事業・諸活動

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
<b>山に生きる</b>				
林業の道具を象った小正月のツクリモノ	現代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
武田家朱印状（田辺家資料）	永禄3年（1560）	山梨県立博物館	○	①⑦
徳川家康朱印状（田辺家資料）	文禄2年（1593）	山梨県立博物館	○	②③④⑤⑥
甲州金（一分金 甲州文庫）	江戸	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
穴山信友判物（佐野家資料）	弘治3年（1557）	個人		①②⑦
江戸城西之丸御用絵板（佐野家資料）	天保9年（1838）	個人		①②⑦
材木伐出図巻	江戸（19世紀）	山梨県立博物館		③④⑤⑥
富士山裾野入会場伐木一札（甲州文庫）	慶応2年（1866）	山梨県立博物館		③④⑤⑥
大鋸	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
市川御用紙入札につき覚（甲州文庫）	江戸	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲斐叢記	江戸（19世紀）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
慶長七寅年御実検御水帳	慶長7年（1602）	山梨県立博物館		①②③
経嶋村蒔立畠定請之事（斎藤家資料）	慶長7年（1602）	山梨県立博物館		①②③
枅・焼き鋸	明治以降	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
焼畑衣装（再現品）	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
<b>里にくらす</b>				
煙草包装紙	明治22年（1889）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
煙草庖丁	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
煙草箱	明治	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
千野村絵図（複製）	江戸（19世紀）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
軍馬帽	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
馬ブラシ		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
馬ブラシ		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
草鞋		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
草鞋		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
馬草鞋		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
諸法秘密之伝（櫻井家資料）	文政13年（1830）	個人		①②③④⑤⑥⑦
四季法令（上條氏収集資料）	文政7年（1824）	個人		①②③
御年玉袋（上條氏収集資料）	江戸	個人		①②③④⑤⑥
奉拝借肥代金之事（上條氏収集資料）	明治2年（1869）	山梨県立博物館		①②
初学古状揃（上條氏収集資料）	安政4年（1857）	個人		①②③④⑤⑥
水車渡世願（上條氏収集資料）	寛政7年（1795）	個人		①②③
名主入札帳（上條氏収集資料）	万延2年（1861）	個人		③④⑤⑥⑦
甲陽御嶽新道之図（頼生文庫）	江戸	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
仙嶽關路図	安政元年（1854）	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
猪狩村新道切開御寄付御連名帳	天保12年（1841）	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
敵討甲斐名所記（甲州文庫）	文政4年（1821）	山梨県立博物館		⑦
博徒盜賊取締仰付につき請印帳（甲州文庫）	慶応2年（1866）	山梨県立博物館		⑦
<b>城下町の賑わい</b>				
甲府城跡出土鯉瓦（復元品）	江戸	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
浅野忠吉黒印状（今沢家資料）	文禄3年（1594）	山梨県立博物館		⑤⑥
高札	明治	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲府上水木簡		甲府市水道資料館		①②③④⑤⑥⑦
数寄屋曲輪出土大型円形瓦	室町（16世紀）	山梨県立考古博物館	○	①②③⑦
松井氏写真（松井家資料）	明治	個人		①
陸軍教導團編入ノ件ニ付通知（松井家資料）	明治13年（1880）	個人		①
本丸出土花菱紋瓦	江戸	山梨県立考古博物館	○	①②③⑦

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
軍刀（松井家資料）	応永33年（1426）	個人		①
親族書上（松井家資料）	明治6年（1873）	個人		①
加藤清安墓誌文（加藤家資料）	明和8年（1771）	個人		①②③④
若松屋商品袋（加藤家資料）		個人		①②③④⑤⑥
時の鐘撞料前金受取（甲州文庫）	安永3年（1774）	山梨県立博物館		①②③④
甲州道祖神話（甲州文庫）	江戸	山梨県立博物館		①②③④
乍恐以書付奉御届申上候（上条氏収集資料）	文久2年（1862）	個人		①②③④⑤
印伝屋ちらし（上野晴朗氏収集資料）	慶応3年（1867）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
道祖神祭礼御条目請印帳（甲州文庫）	江戸	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
輪宝	江戸（17世紀）	山梨県立考古博物館	○	①②③⑦
校正 折たく柴の記（櫻井家資料）	明治27年（1894）	山梨県立博物館		②③④⑤
柳営年表秘録（馬淵家資料）	江戸	山梨県立博物館		②③④⑤⑥⑦
浅野幸長書状	文禄5年（1596）	山梨県立博物館		③④⑤
甲斐国御領知御代官控（甲州文庫）		山梨県立博物館		⑤
八日町牡丹亭金升菓子店包紙（大木家資料）		山梨県立博物館		⑤⑥⑦
時の鐘撞料前金受取（甲州文庫）	明和2年（1765）	山梨県立博物館		⑤⑥⑦
甲府廓内堅近習町柳町屋敷割図（頼生文庫）		山梨県立博物館		⑤⑥⑦
人質曲輪出土桐文様瓦	室町（16世紀）	山梨県立考古博物館	○	①②③⑦
写真アルバム（大木家資料）		山梨県立博物館		⑥⑦
新年賀状（大木家資料）		山梨県立博物館		⑥⑦
敵討瓦版（甲州文庫）	安政4年（1857）	山梨県立博物館		⑦
<b>変貌する景観</b>				
絹糸（繭糸検査事務所資料）	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
山繭の糸（繭糸検査事務所資料）	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲府勸業試験場出土ワイン瓶	明治	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
堀田本七十一番職人歌合	江戸	山梨県立博物館		①②③
七十一番職人歌合	江戸	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
職人尽歌合	文政9年（1826）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
差出申一札之事（篠原家資料）	江戸	山梨県立博物館		①
入置申一札之事写（篠原家資料）	明治3年（1870）	山梨県立博物館		①
懐胎妻女離縁につき妻方返り一札（甲州文庫）	安政3年（1856）	山梨県立博物館		②③④⑤
入置申一札之事（太田家資料）	明治6年（1873）	山梨県立博物館		⑥⑦
みとものかず（櫻井家資料）	明治15年（1882）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
増設工場見積書（上條氏収集資料）	大正8年（1919）	個人		①②③④⑤⑥
小沼燃糸株式会社新築工場図（上條氏収集資料）	大正	個人		⑦
請負書（上條氏収集資料）	大正7年（1918）	個人		①②③④⑤⑥
工場調査二関スル件二付回答（上條氏収集資料）	大正13年（1924）	個人		⑦
<b>信仰の足跡</b>				
役行者像（複製）	平安（12世紀）	山梨県立博物館（円楽寺）	○	①②③④⑤⑥⑦
甲斐勝沼柏尾経塚出土経筒（複製）	康和5年（1103）	山梨県立博物館（東京国立博物館）	◎	①②③④⑤⑥⑦
金峰山出土品（釘、古銭、鏡、薙鎌）	平安～明治	甲府市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
地藏菩薩立像	乾元2年（1303）	個人		①②③④⑤⑥⑦
富士山五合五勺経ヶ岳出土経巻（複製）	平安	山梨県立博物館（個人）		①②③④⑤⑥⑦
愛染明王坐像（複製）	平安（12世紀）	山梨県立博物館（放光寺）	◎	①②③④⑤⑥⑦
韋駄天像	南北朝	個人		①⑦
甲斐国金櫻神社御嶽山晩春之図（手彩色・甲州文庫）	江戸	山梨県立博物館		①⑦
甲斐国金櫻神社御嶽山晩春之図（別本・甲州文庫）	江戸	山梨県立博物館		②
聖観音菩薩立像	鎌倉	山梨県立博物館		②③④⑤

第Ⅱ編 事業・諸活動

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
富士山牛玉	江戸	山梨県立博物館		③
蔵王権現立像	平安	山梨県立博物館	○	③④⑤⑥
渡唐天神像 策彦周良賛	室町(16世紀)	南松院	○	⑥
<b>甲斐を駆ける武士たち</b>				
関東下知状(複製)	応長元年(1311)	山梨県立博物館(大善寺)	○	①②③④⑤⑥⑦
長寛勘文写本(複製)	江戸	山梨県立博物館(熊野神社)	◇	①②③④⑤⑥⑦
銅製経筒および付属品(複製)	建久8年(1197)	山梨県立博物館(個人)	○	①②③④⑤⑥⑦
『小笠原流故実伝書』(水島ト也)	江戸	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
『犬追物図説』(伊勢貞丈)	江戸	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
諏訪神号旗(複製)	室町	山梨県立博物館(恵林寺)	○	①②③④⑤⑥⑦
孫子の旗(複製)	室町	山梨県立博物館(恵林寺)	○	①②③④⑤⑥⑦
小桜韋威鎧 兜・大袖付(桶無鎧)復元品	平安・鎌倉	山梨県立博物館(菅田天神社)	●	①②③⑤⑥⑦
武田晴信像(複製)	室町	山梨県立博物館(持明院)		①(2/23~3/28) ②③⑤⑥
武田晴信書状	室町(16世紀)	山梨県立博物館		①(2/23~3/28)
土佐光起筆 武田信玄・上杉謙信像	元禄元年(1688)	山梨県立博物館		①(3/30~4/18)
武田勝頼書状	天正8年(1580)	山梨県立博物館		②③
源平合戦図屏風	江戸	山梨県立博物館		④
武田信玄像	江戸	山梨県立博物館		⑤
武田二十四将図	江戸	南松院		⑥
武田信玄書状	室町(16世紀)	山梨県立博物館		⑦
上杉謙信書状	室町(16世紀)	山梨県立博物館		⑦
武田家朱印状	天正4年(1576)	山梨県立博物館		①⑤
武田晴信条目(今沢家資料)	弘治3年(1557)	山梨県立博物館		①
恵林寺殿百年忌香語(南松院資料)	寛文12年(1672)	南松院	○	②③
武田家朱印状	元亀2年(1571)	山梨県立博物館		②③
武門便幼	宝暦7年(1757)	山梨県立博物館		⑤
大般若波羅蜜多經(南松院資料)	室町(14世紀)	南松院	○	⑥
南松院殿十七年忌香語(南松院資料)	天正10年(1582)	南松院	○	⑦
信玄公御屋形図	江戸	山梨県立博物館		①②③
大般若波羅蜜多經 卷四五八	貞治4年(1365)	山梨県立博物館		④
絵本信玄一代記(甲州文庫)	寛政2年(1790)	山梨県立博物館		⑤
甲陽軍鑑(甲州文庫)	江戸(17世紀)	山梨県立博物館		⑥⑦
<b>川を彩る高瀬舟</b>				
鯉沢河岸跡 ガラス瓶	明治~大正	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
足半草鞋		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
鯉沢河岸跡出土遺物	江戸~明治	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
鯉沢河岸跡出土動物遺体	江戸~明治	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
鯉沢河岸跡出土泥面子	明治	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
富士川舟運関係会社印鑑類	明治	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
納経帳(高野家資料)	江戸	個人		①②③④⑤⑥⑦
<b>道がつなく出合い</b>				
歌川広重筆 甲陽猿橋之図	天保13年(1842)頃	山梨県立博物館		①
猿橋模型	昭和59年(1984)	山梨県立博物館		④⑤⑥
武田信玄出陣之図(甲州文庫)	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		①⑦
信州和田塩尻峠合戦図(甲州文庫)	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		①⑦
武田信玄陣立書	室町(16世紀)	山梨県立博物館		①⑦
英一蝶筆 富士図	江戸(18世紀)	山梨県立博物館		②

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
武田家朱印状（田辺家資料）	永禄3年（1560）	山梨県立博物館	○	②
八日市場 市場之図	寛政5年（1793）	山梨県立博物館		②
木馬	江戸	長禅寺		②
武田家朱印状	天正2年（1574）	山梨県立博物館		②
中居墨峰筆 富士山絶頂之図	安政6年（1859）	山梨県立博物館		③
藤原治俊筆 富士山神宮并麓八海略絵図	江戸	山梨県立博物館		③
歌川貞秀筆 大日本富士山絶頂之図	安政4年（1857）	山梨県立博物館		③
隔搔録（「富岳記聞」）	江戸	山梨県立博物館		③
右左口人形	江戸	宿区	○	③
徳川家康朱印状（右左口区有文書及び関連資料一括）	天正10年（1582）	宿区	○	③
石櫃（右左口区有文書及び関連資料一括）	江戸	宿区	○	③
鑑札（右左口区有文書及び関連資料一括）	江戸	宿区	○	③
焼小手（右左口区有文書及び関連資料一括）	江戸	宿区	○	③
甲州道中分間延絵図（写本）	江戸	山梨県立博物館		⑤
府中伝馬に付柳町定	寛永13年（1636）	山梨県立博物館		⑤
旅籠屋宿取届綴	江戸	山梨県立博物館		⑤
木喰作 弘法大師坐像	寛政13年 （享和元年・1801）	山梨県立博物館		①②③④
木喰作 千手観音菩薩坐像	寛政13年 （享和元年・1801）	個人		④
木喰作 不動明王像	寛政元年 （天明9年・1789）	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
木喰作 六字名号	寛政12年（1800）	個人		⑥
木喰作 六字名号	文化元年（1804）	山梨県立博物館		⑥
木食白道作 七福神図	江戸（18世紀）	山梨県立博物館		⑥
木食白道作 恵比寿大黒天像	江戸	個人		⑥
萩原木食繁昌写本（若尾資料）	大正5年（1916）	山梨県立博物館		⑥
ニホンオオカミ頭骨	江戸～明治	個人		⑦
市川村暴瀉病流行日記	安政5年（1858）	山梨県立博物館		⑦
明治19年山梨県虎列刺病流行記事	明治19年（1886）	山梨県立博物館		⑦
神犬御札	現代	個人		⑦
疫病退散に付差紙	安政5年（1858）	山梨県立博物館		⑦
暴瀉病薬方書	安政5年（1858）	山梨県立博物館		⑦
安政五年午八月朔日より同下旬まで 流行病にて死失の者並煩居候者取調帳	安政5年（1858）	山梨県立博物館		⑦
暴瀉病療治方町触写	安政5年（1858）	山梨県立博物館		⑦
渥美短頸壺	平安（12世紀）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
新巻常滑大甕	室町	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
駒橋出土埋蔵銭	室町	個人		①②③④⑤⑥⑦
青磁碗	室町	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
瀬戸焼	鎌倉	山梨県立博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
染付皿	室町	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
染付碗	室町	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
躑躅ヶ崎館跡出土陶磁器	室町	甲府市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
灰釉皿	室町	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
東原 常滑甕	鎌倉	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
無紋碗	室町	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
江戸文化の往来				
猿橋村絵図（森嶋家資料）	文化3年（1806）	都留市	◇	①

第Ⅱ編 事業・諸活動

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
大明見村絵図(森嶋家資料)	文化3年(1806)	都留市	◇	②
大嵐村絵図(森嶋家資料)	文化3年(1806)	都留市	◇	③
法能村絵図(森嶋家資料)	文化3年(1806)	都留市	◇	④
鹿留村絵図(森嶋家資料)	文化3年(1806)	都留市	◇	⑤
浅川村絵図(森嶋家資料)	文化3年(1806)	都留市	◇	⑥
平栗村絵図(森嶋家資料)	文化3年(1806)	都留市	◇	⑦
甲斐国志写本	江戸	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
歌川国芳筆 武田上杉川中嶋大合戦図	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		①
三代歌川豊国筆 謙信武田ノ旗本へ乱入之図	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		①
歌川貞秀筆 川中島合戦図	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		①
歌川国芳筆 武田上杉川中嶋大合戦の図	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		①
歌川広重筆 甲府道祖神祭幕絵 東都名所 目黒不動之瀧(複製)	天保12年(1841)頃	山梨県立博物館		①②③④⑤⑦
歌川広重筆 甲府道祖神祭幕絵 東都名所 目黒不動之瀧	天保12年(1842)頃	山梨県立博物館		⑥
歌川広重筆 不二三十六景 甲斐夢山裏不二	嘉永5年(1852)	山梨県立博物館		②
歌川広重筆 不二三十六景 大江戸市中七夕祭	嘉永5年(1852)	山梨県立博物館		②
歌川広重筆 不二三十六景 東都両国橋下	嘉永5年(1852)	山梨県立博物館		②
歌川広重筆 不二三十六景 相模川	嘉永5年(1852)	山梨県立博物館		②
歌川広重筆 不二三十六景 駿河富士沼	嘉永5年(1852)	山梨県立博物館		②
歌川広重筆 富士三十六景 駿河三保之松原	安政6年(1859)	山梨県立博物館		②
歌川広重筆 富士三十六景 甲斐御坂越	安政6年(1859)	山梨県立博物館		②
歌川広重筆 富士三十六景 東都両ごく	安政6年(1859)	山梨県立博物館		②
歌川広重筆 富士三十六景 相模七里か濱	安政6年(1859)	山梨県立博物館		②
歌川広重筆 富士三十六景 武蔵多満川	安政6年(1859)	山梨県立博物館		②
歌川広重筆 富士見百図	安政6年(1859)	山梨県立博物館		②
曾我物語図屏風のうち「富士巻狩図」(右隻)	江戸	山梨県立博物館		③
三枝雲俗筆 御嶽道絵巻	弘化4年(1847)	山梨県立博物館		③
竹邨三陽筆 甲斐御嶽新道・御坂図	嘉永5年(1852)	山梨県立博物館		③
亀屋座芝居番付	文政7年(1824)	山梨県立博物館		④
七代目市川団十郎の暫(しばらく)	文政7年(1824)	山梨県立博物館		④
三代歌川豊国筆 八代目市川団十郎死絵	嘉永7年(1854)	個人		④
阿ふむせき(鸚鵡石)	江戸末期	山梨県立博物館		④
升太宛七世団十郎書簡	江戸末期	個人		④
新製親玉おこしちらし 七代目団十郎の暫	江戸末期	個人		④
菓子題箋「升てみら」	江戸末期	個人		④
菓子題箋「志の々め(東雲)」	江戸末期	個人		④
竹邨三陽筆 群鹿図屏風(右隻)(大木コレクション)	天保13年(1842)	山梨県立博物館		④
狩野派 耕作図屏風(大木コレクション)	江戸前期	山梨県立博物館		⑤
狩野派 老松叭哥鳥図(大木コレクション)	江戸前期	山梨県立博物館		⑤
高泉性激筆 草書偈語(大木コレクション)	江戸前期	山梨県立博物館		⑤
悦峯道章筆 一行書(大木コレクション)	江戸前期	山梨県立博物館		⑤
荻生徂徠筆 書(大木コレクション)	江戸前期	山梨県立博物館		⑤
徂徠学派七大人の図	江戸	山梨県立博物館		⑤
三代歌川豊国筆 謙信武田ノ旗本へ乱入之図	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		⑦
歌川芳員筆 永禄四年九月川中嶋大合戦	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		⑦
歌川芳虎筆 天文二十三年武田上杉川中島大合戦図	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		⑦
歌川貞秀筆 川中嶋大合戦之図	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		⑦
歌川芳綱筆 西条山(妻女山)引返之図	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		⑦

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
歌川国芳筆 武田上杉川中嶋大合戦図	江戸 (19世紀)	山梨県立博物館		⑦
歌川貞秀筆 川中嶋大合戦・川中島・真田昌幸筑摩川一番乗	江戸 (19世紀)	山梨県立博物館		⑦
転換期に向き合う				
東京日々新聞 (甲州文庫)	明治5年 (1872)	個人		①②③④⑤⑥⑦
天保騒動の瓦版 (甲州文庫)	江戸	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
天保騒動の一揆進行の絵図(複製)		個人		①②③④⑤⑥⑦
大小切騒立一件綴 (甲州文庫)	明治2年 (1869)	山梨県立博物館		①②③④⑤
大小切強願之儀聞届済之達 (甲州文庫)	明治5年 (1872)	山梨県立博物館		①②③④⑤
一ツとせいぶし甲斐の評ばん大小切 (甲州文庫)	明治	山梨県立博物館		①②③④⑤
西八代郡鴨狩津向村略図 (頼生文庫)	明治15年 (1882)	山梨県立博物館		⑥⑦
去申御廻米清水湊日掛仕揚帳 (甲州文庫)	嘉永2年 (1849)	山梨県立博物館		⑥⑦
禪宗門人別改帳 (甲州文庫)	天保2年 (1831)	山梨県立博物館		⑥⑦
巨富を動かす				
鉄道敷設創立趣意書 (甲州文庫)	明治17年 (1884)	山梨県立博物館		①②③④
甲信鉄道起業目論見書 (大木家文書) ①	明治20年 (1887)	山梨県立博物館		①②③④
鉄道運輸開業広告 (甲州文庫)	明治22年 (1889)	山梨県立博物館		①②③④
風俗画報増刊 第337号 小金井名所図会 甲武鉄道 (甲州文庫)	明治23年 (1890)	山梨県立博物館		①②③④
中央鉄道敷設に付意見書 (甲州文庫)	明治31年 (1898)	山梨県立博物館		①②③④
中央鉄道甲府ステーション (大木家文書)	明治36年 (1903)	山梨県立博物館		①②③④
富士身延鉄道創立に関する小野金六書簡 (甲州文庫)	明治45年 (1912)	山梨県立博物館		①②③④
富士身延鉄道沿線名所図絵 (甲州文庫)	昭和3年 (1928)	山梨県立博物館		①②③④
富士山麓電気鉄道株式会社開通記念郵便はがき (長谷川家文書)	昭和4年 (1929)	山梨県立博物館		①②③④
中央線電化記念写真帖 (甲州文庫)	昭和6年 (1931)	山梨県立博物館		①②③④
甲府駅発車時間表 (三井家文書)	昭和4年 (1929)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
銅像建設予定地見分に付通知状 (甲州文庫)	昭和2年 (1927)	山梨県立博物館		⑤
日本人はじめて汽車に乗る図 (甲州文庫)	万延元年 (1860)	山梨県立博物館		⑤⑥
横浜で開業した直後の日本最初の鉄道について記した篠原忠右衛門の書簡 (篠原家文書)	明治5年 (1872)	山梨県立博物館		⑤⑥
甲信鉄道起業目論見書 (大木家文書) ②	明治20年 (1887)	山梨県立博物館		⑤⑥
山梨鉄道起業意見書 (甲州文庫)	明治22年 (1889)	山梨県立博物館		⑤⑥
新年会の招待状 (甲州文庫)	大正5年 (1916)	山梨県立博物館		⑥
お年賀の御礼状 (甲州文庫)	大正8年 (1919)	山梨県立博物館		⑥
横浜御開港に付外国人江甲州産物交易方願書控 (篠原家文書)	安政6年 (1859)	山梨県立博物館		⑦
神名川横浜新開港図	万延元年 (1860)	山梨県立博物館		⑦
甲州産物書上帳 (篠原家文書)	安政6年 (1859)	山梨県立博物館		⑦
横浜篠原忠右衛門より伊兵衛・安右衛門・松次郎宛書簡 (篠原家文書)	文久2年 (1862)	山梨県立博物館		⑦
横浜忠右衛門より東油川村武左衛門・息正次郎宛書簡 (篠原家文書)	元治2年 (1865)	山梨県立博物館		⑦
若尾逸平扇面	明治	山梨県立博物館		⑦
若尾逸平銅像模型	明治	山梨県立博物館		⑦
おもちゃ籠	大正4年 (1915)	山梨県立博物館		⑦
おもちゃ籠 補遺	大正5年 (1916)	山梨県立博物館		⑦
小説練糸痕 公私月報第47号付録 (甲州文庫)	昭和9年 (1934)	山梨県立博物館		⑦
練糸痕につき宮武外骨宛小林一三書簡 (古文書雑輯 (2))	昭和	山梨県立博物館		⑦
宮武外骨宛 小林一三書簡 (古文書雑輯 (2))	昭和3年 (1928)	山梨県立博物館		⑦
昭和時代のベンチ	昭和	個人		⑦

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
<b>共生する社会</b>				
スチブナール	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
地方病克服（こくふく）に向けて使用された実物道具類	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
地方病予防溝渠（こうきょ）プレート	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
宮入貝生息地表示ステッカー	昭和戦後	山梨県立博物館		①
杉浦健造先生頌徳誌	昭和9年（1934）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
俺は地方病博士だ	大正6年（1917）	山梨県立博物館		②③④⑤⑥⑦
水害時に使用した舟	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
明治四十年八月山梨県下水害地巡視日記（古文書雑輯（2））	明治40年（1907）	個人		①
恩賜林絵はがき	大正	山梨県立博物館		①
謝恩碑絵はがき	大正	山梨県立博物館		①
恩賜林の沿革	昭和4年（1929）	山梨県立博物館		①
山梨県山林救済意見（甲州文庫）	明治35年（1902）	山梨県立博物館		①
御料局静岡支庁管内略図	明治	山梨県立博物館		①
謝恩碑模型	大正	山梨県立博物館		①
北海道移住者調（若尾資料）	明治41年（1908）	山梨県立博物館		②
『観光』北海道移住特集号	昭和18年（1943）	山梨県立博物館		②
北海道移住民資料（若尾資料）	大正8年（1919）	山梨県立博物館		②
E 4 6 集束焼夷弾（模型）		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
米機の撒いた宣伝ビラ	昭和20年（1945）	山梨県立博物館		①②
戦時中の教科書（修身）（樋口家資料）	昭和	山梨県立博物館		①②
<b>共生する社会【特別企画・山梨と震災】</b>				
東京大震災の様子を伝える書簡（関本家文書）	大正12年（1923）	山梨県立博物館		③④⑤⑥⑦
東京市全図 最新大正大震災被害明細（頼生文庫）	大正	山梨県立博物館		③④⑤⑥⑦
大正12年の日記（樋口家資料）	大正12年（1923）	山梨県立博物館		③④⑤⑥⑦
甲府大地震之記（甲州文庫）	嘉永7年（1854）	山梨県立博物館		③④⑤⑥⑦
地震潰家取調帳（甲州文庫）	嘉永7年（1854）	山梨県立博物館		③④⑤⑥⑦
関東大震災記（樋口家資料）	大正12年（1923）	山梨県立博物館		③④⑤⑥⑦

## (2) 企画展・シンボル展

### ■開催企画展・シンボル展一覧

	展覧会名	会期
① 企画展	i 北斎の富嶽三十六景	平成23年 3月19日（土）から同年 5月 9日（月）まで
	ii 歴史の中の昆虫たち ー大昆虫博覧会ー	平成23年 7月 9日（土）から同年 8月29日（月）まで
	iii 柳沢吉保と甲府城	平成23年10月 8日（土）から同年11月28日（月）まで
	iv おふどうと名乗った家 ー豪商大木家の350年ー	平成24年 1月27日（金）から同年 3月 5日（月）まで
	v ウクライナの至宝 スキタイ黄金美術の煌き	平成24年 3月17日（土）から同年 5月 7日（月）まで
② シンボル展	i やまなしの森と人 ー百年のあゆみー	平成23年 5月21日（土）から同年 6月27日（月）まで
	ii 川中島の戦い ー戦後450年ー	平成23年 9月10日（土）から同年 9月26日（月）まで
	iii 特別公開 戦国時代の甲州金	平成24年 1月 2日（月）から同年 1月16日（月）まで
	iv 縄文王国山梨	平成24年 1月 2日（月）から同年 1月16日（月）まで

※平成24年3月17日（土）から同年5月7日（月）まで開催した「ウクライナの至宝 スキタイ黄金美術の煌き」展については、平成24年度年報にて詳述する。

## ①企画展

## i 開館5周年記念・葛飾北斎生誕250年記念特別展 北斎の富嶽三十六景

【会 期】平成23年3月19日(土)から同年5月9日(月)まで  
会期日数52日、展示日数46日

【主 催】山梨県立博物館、山梨日日新聞社・山梨放送

【後 援】朝日新聞甲府総局、NHK甲府放送局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、テレビ山梨、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、読売新聞甲府支局、株式会社 山梨中央銀行、社団法人やまなし観光推進機構、認定NPO法人富士山を世界遺産にする国民会議、「富士山世界文化遺産登録」山梨県推進協議会、富士山世界文化遺産登録推進両県合同会議

【会 場】企画展示室

【入場者数】10,297人

【担 当】学芸員 井澤英理子、沓名貴彦

## 【概 要】

世界で最も親しまれている富士の絵画、葛飾北斎の「富嶽三十六景」全46点の一举公開に加え、北斎が富士の絵画制作にかけた想いや、富士の連作構想がわかる作品を通じて、北斎の人となりや浮世絵版画における富士の風景画の展開を紹介した。また北斎が甲斐を描いた作品を通じて、幕末の甲斐の景観や風俗、北斎と甲斐の関わりについて紹介した。

第Ⅰ章 北斎の富嶽三十六景 全46点一举公開

第Ⅱ章 北斎の富士 富士図の連作構想と富嶽三十六景以後の富士

第Ⅲ章 北斎と甲斐の国 北斎が記録した江戸時代の甲斐の国

## 【同時開催】

## ■写真展「平成の富嶽三十六景」あなたが写す平成の富嶽三十六景、富嶽三十六景の今の景観

・応募者数76人、応募総数195点の中から、観覧者の人気投票により、富嶽賞1点、北斎賞3点、県博賞10点が選ばれた。

・表彰式 平成23年4月23日(土)

## 【関連イベント】

## ■「浮世絵版画の摺りの実演」

・日 時 平成23年5月7日(土) ①午前11時～12時30分、②午後2時～午後3時30分

・場 所 生涯学習室

・実 演 中山 周 氏(アダチ伝統木版画技術保存財団)、京増与志夫 氏(同)

## ■講演会「デジタルで読み解く富嶽三十六景」

・日 時 平成23年4月24日(日) 午後1時30分～午後3時

・場 所 生涯学習室

・講 師 田代 博 氏(日本国際地図学会評議員)

## ■かいじあむ子ども工房「立体浮世絵を作ろう」

・日 時 平成23年3月27日(日)、4月24日(日)

午前10時30分～午後3時

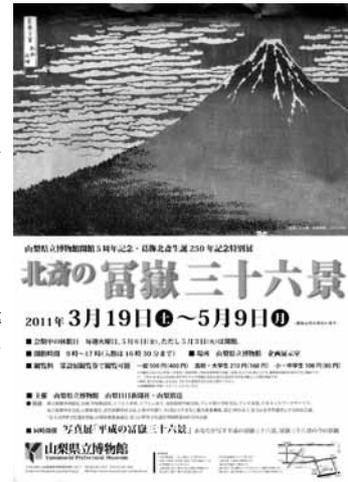
・場 所 エントランスロビー

## ■学芸員によるギャラリー・トーク

・日 時 平成23年3月27日(日)、4月3日(日)、17日(日)、

5月8日(日) 午後3時から1時間程度

※その他の開館日にも展示交流員によるガイドツアーを実施 午後3時から30分間程度



展覧会ちらし



展示風景

【出品資料一覧】

	資料名	所蔵者	技法・判型	時代（世紀・制作年）	展示期間
<b>1. 北斎の「富嶽三十六景」</b>					
1	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
2	富嶽三十六景 凱風快晴	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
3	富嶽三十六景 山下白雨	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
4	富嶽三十六景 深川万年橋下	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
5	富嶽三十六景 尾州不二見原	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
6	富嶽三十六景 遠江山中	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
7	富嶽三十六景 東都浅草本願寺	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
8	富嶽三十六景 武州玉川	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
9	富嶽三十六景 江戸日本橋	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
10	富嶽三十六景 江都駿河町三井見世略圖	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
11	富嶽三十六景 隅田川開屋の里	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
12	富嶽三十六景 駿州江尻	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
13	富嶽三十六景 東海道程ヶ谷	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
14	富嶽三十六景 御殿川岸より両国橋夕陽見	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
15	富嶽三十六景 武陽佃島	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
16	富嶽三十六景 相州七里濱	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
17	富嶽三十六景 信州諏訪湖	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
18	富嶽三十六景 常州牛堀	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
19	富嶽三十六景 相州梅澤左	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
番外	富嶽三十六景 甲州石班澤（藍摺）	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.4.13～5.9
20	富嶽三十六景 東都駿臺	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
21	富嶽三十六景 五百らかん寺さざみどう	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
22	富嶽三十六景 東海道品川御殿山ノ不二	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
23	富嶽三十六景 礪川雪ノ旦	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
24	富嶽三十六景 青山園座姿	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
25	富嶽三十六景 下目黒	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
26	富嶽三十六景 隠田の水車	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
27	富嶽三十六景 武州千住	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
28	富嶽三十六景 從千住花街眺望ノ不二	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
29	富嶽三十六景 本所立川	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
30	富嶽三十六景 駿州大野新田	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
31	富嶽三十六景 相州仲原	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
32	富嶽三十六景 駿州片倉茶園ノ不二	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
33	富嶽三十六景 東海道金谷ノ不二	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
34	富嶽三十六景 東海道吉田	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
35	富嶽三十六景 上総ノ海路	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
36	富嶽三十六景 東海道江尻田子の浦略圖	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
37	富嶽三十六景 登戸浦	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
38	富嶽三十六景 相州箱根湖水	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
39	富嶽三十六景 相州江の島	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
40	富嶽三十六景 諸人登山	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
<b>2. 北斎の富士</b>					
41	画本東都遊	北斎館	木版多色摺・狂歌絵本	享和2年(1802)	H23.3.19～4.8
42	絵本隅田川 兩岸一覽	北斎館	木版多色摺・狂歌絵本	不明	H23.3.19～4.8
43	春興五十三駄之内 日本橋 品川へ二里	川崎・砂子の里資料館	木版多色摺・横長判	享和4年(1804)	H23.4.9～4.25
44	春興五十三駄之内 品川 川崎へ二里	川崎・砂子の里資料館	木版多色摺・小判	享和4年(1804)	H23.4.9～4.25
45	春興五十三駄之内 原 吉原へ三里六丁	川崎・砂子の里資料館	木版多色摺・横長判	享和4年(1804)	H23.4.27～4.25
46	春興五十三駄之内 吉原 浦原へ二里卅丁	川崎・砂子の里資料館	木版多色摺・小判	享和4年(1804)	H23.4.27～4.25
47	春興五十三駄之内 沼津 原へ壹里半	川崎・砂子の里資料館	木版多色摺・小判	享和4年(1804)	H23.3.19～4.11
48	田子の浦図	東京国立博物館	木版多色摺・摺物・横長判	享和2年(1802)か	H23.4.13～5.9
49	江ノ島祭礼	神奈川県立歴史博物館	木版多色摺・摺物・二丁掛	文化年間(1804-18)初期	H23.4.13～5.9
50	汐千狩	東京国立博物館	木版多色摺・摺物・横長判	寛政年間(1789-1801)後期	H23.3.19～4.11
51	阿蘭陀画鏡 江戸八景 日本橋	東京都江戸東京博物館	木版多色摺・豆判	文化年間(1804-18)初期	H23.3.19～4.11
52	阿蘭陀画鏡 江戸八景 駿河町	東京都江戸東京博物館	木版多色摺・豆判	文化年間(1804-18)初期	H23.3.19～4.11
53	東海道名所一覽	東京都江戸東京博物館	木版多色摺・大々判	文政元年(1818)	H23.4.13～5.9
54	仮名手本忠臣蔵 初段	東京都江戸東京博物館	木版多色摺・大判	文化3年(1806)	H23.3.19～4.11
55	仮名手本忠臣蔵 八段目	東京都江戸東京博物館	木版多色摺・大判	文化3年(1806)	H23.4.13～5.9
56	東海道 彩色摺 五拾三次 日本橋 ふり出し	神奈川県立歴史博物館	木版多色摺・小判	文化年間(1804-18)前中期	H23.3.19～4.11
57	東海道 彩色摺 五拾三次 ぼら	神奈川県立歴史博物館	木版多色摺・小判	文化年間(1804-18)前中期	H23.4.13～5.9
58	東海道五十三次 戸塚	神奈川県立歴史博物館	木版多色摺・小判	文化年間(1804-18)前中期	H23.3.19～4.11
59	東海道五十三次 日本橋	慶應義塾	木版多色摺・小判	文化年間(1804-18)前中期	H23.4.9～4.25
60	東海道五十三次 吉原	慶應義塾	木版多色摺・小判	文化年間(1804-18)前中期	H23.4.9～4.25
61	東海道五十三次 程ヶ谷	慶應義塾	木版多色摺・小判	文化年間(1804-18)前中期	H23.4.27～5.9
62	東海道五十三次 原	慶應義塾	木版多色摺・小判	文化年間(1804-18)前中期	H23.4.27～5.9
63	おしをくりはとつうせんづ	東京国立博物館	木版多色摺・中判	文化年間(1804-18)初期	H23.3.19～4.11
64	たかはしのふじ	東京国立博物館	木版多色摺・中判	文化年間(1804-18)初期	H23.4.13～5.9
65	不二八景図	神奈川県立歴史博物館	木版多色摺・大判	文化年間(1804-18)初期	H23.4.13～5.9
66	北斎漫画 七編 甲州三島峠	浦上満氏	木版二色摺・絵手本	文化14年(1817)	H23.3.19～4.11
67	北斎漫画 七編 甲州三島峠	浦上満氏	木版二色摺・絵手本	文化14年(1817)	H23.4.13～5.9
68	北斎漫画 五編（富士図）	浦上満氏	木版二色摺・絵手本	文化13年(1816)	H23.3.19～4.11
69	今様柳箏雛形 中巻	北斎館	木版墨摺・絵手本	文政6年(1823)	H3.19～4.8
70	今様柳箏雛形 下巻	北斎館	木版墨摺・絵手本	文政6年(1823)	H3.19～4.8
71	今様柳箏雛形 下巻	東京都江戸東京博物館	木版墨摺・絵手本	文政6年(1823)	H23.4.9～5.9
72	柳亭種彦著・歌川国貞画『正本製』十二編下	早稲田大学図書館	木版墨摺・合巻	天保2年(1831)	H23.3.19～4.11
73	柳亭種彦著・歌川国貞画『正本製』十二編下	早稲田大学図書館	木版墨摺・合巻	天保2年(1831)	H23.4.13～5.9
74	河村蝦雪著『百富士』	山梨県立博物館	木版墨摺・絵本	明和4年(1767)	H23.3.19～5.9
75	富嶽百景 初編 霧中の不二	浦上満氏	木版墨摺・絵本	天保5年(1834)	H23.3.19～4.11
76	富嶽百景 初編 花間の不二	浦上満氏	木版墨摺・絵本	天保5年(1834)	H23.3.19～4.11

	資料名	所蔵者	技法・判型	時代（世紀・制作年）	展示期間
77	富嶽百景 初編 木枯の不二	浦上満氏	木版墨摺・絵本	天保5年(1834)	H23.4.13～5.9
78	富嶽百景 二編 容斎の不二	浦上満氏	木版墨摺・絵本	天保6年(1835)	H23.4.13～5.9
79	富嶽百景 初編 快晴の不二	山梨県立博物館	木版墨摺・絵本	天保5年(1834)	H23.3.19～5.9
80	富嶽百景 二編 海上の不二	山梨県立博物館	木版墨摺・絵本	天保6年(1835)	H23.3.19～5.9
81	富嶽百景 三編 深雪の不二	山梨県立博物館	木版墨摺・絵本	天保6年(1835)～	H23.3.19～5.9
82	富嶽百景 初編 奥書（復刻版）	山梨県立博物館	木版墨摺・絵本	天保5年(1834)	H23.3.19～5.9
83	百人一首 宇波か糸とき 山辺赤人	慶應義塾	木版多色摺・大判	天保6年(1835)頃	H23.4.27～5.9
84	百人一首 宇波か糸とき 山辺赤人	川崎・砂子の里資料館	木版多色摺・大判	天保6年(1835)頃	H23.4.9～4.25
85	琉球八景 長虹秋霽	神奈川県立歴史博物館	木版多色摺・大判	天保3年(1832)頃	H23.4.13～5.9
86	琉球八景 長虹秋霽	川崎・砂子の里資料館	木版多色摺・大判	天保3年(1832)頃	H23.3.19～4.11
87	富士越龍図	北斎館	絹本墨画淡彩	嘉永2年(1849)	H23.3.19～4.8
3. 北斎と甲斐の国					
88	千繪の海 甲州火振	東京国立博物館	木版多色摺・中判	天保初期(1832-34頃)	H23.4.13～5.9
89	勝景奇覽 甲州湯村	東京国立博物館	木版多色摺・团扇絵	天保年間(1830-44)初期	H23.3.19～4.11
90	勝景奇覽 甲州身延川	東京国立博物館	木版多色摺・团扇絵	天保年間(1830-44)初期	H23.3.19～4.11
91	富嶽三十六景 甲州石班澤	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～4.11
92	富嶽三十六景 甲州三坂水面	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
93	富嶽三十六景 甲州犬目峠	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
94	富嶽三十六景 甲州三島越	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
95	富嶽三十六景 甲州伊沢峯	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
96	富嶽三十六景 身延川裏不二	山梨県立博物館	木版多色摺・大判	天保年間初期(1832-34頃)	H23.3.19～5.9
97	富嶽百景 三編 阿須見村の不二	浦上満氏	木版墨摺・絵本	天保6年(1835)～	H23.3.19～4.11
98	北斎漫画 七編 甲斐の鯉澤	浦上満氏	木版二色摺・絵手本	文化14年(1817)	H23.3.19～4.11
99	北斎漫画 七編 甲斐の巴山	浦上満氏	木版二色摺・絵手本	文化14年(1817)	H23.3.19～4.11
100	北斎漫画 十三編 甲州大畑山	浦上満氏	木版二色摺・絵手本	嘉永2年(1849)	H23.3.19～4.11
101	北斎漫画 十三編 甲州に干瓢を製	浦上満氏	木版二色摺・絵手本	嘉永2年(1849)	H23.3.19～4.11
102	富嶽百景 初編 裏不二	浦上満氏	木版墨摺・絵本	天保5年(1834)	H23.4.13～5.9
103	富嶽百景 三編 甲斐の不二 濃男	浦上満氏	木版墨摺・絵本	天保6年(1835)	H23.4.13～5.9
104	北斎漫画 七編 甲斐の猿橋	浦上満氏	木版二色摺・絵手本	文化14年(1817)	H23.4.13～5.9
105	北斎漫画 十三編（甲州三坂峠）	浦上満氏	木版二色摺・絵手本	嘉永2年(1849)	H23.4.13～5.9
106	北斎漫画 十三編 甲州牛石・甲州猪ノ鼻	浦上満氏	木版二色摺・絵手本	嘉永2年(1849)	H23.4.13～5.9
107	北斎漫画 七編 矢失の杉	山梨県立博物館	木版二色摺・絵手本	文化14年(1817)	H23.4.13～5.9
108	北斎漫画 八編 七面作	浦上満氏	木版二色摺・絵手本	文政元年(1818)	H23.3.19～4.11
109	八潮祭屋台後幕「竹に虎図」	都留市 下町自治会	緋羅紗、刺繍	寛政後期～文化初期（1789-1818）	H23.3.19～5.9

【展示平面図】



ii 歴史の中の昆虫たち—大昆虫博覧会—

【会 期】平成23年7月9日（土）から同年8月29日（月）まで  
会期日数52日間、展示日数45日間

【主 催】山梨県立博物館

【後 援】朝日新聞甲府総局、NHK甲府放送局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テ

レビ朝日甲府支局、テレビ山梨、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、株式会社 山梨中央銀行、山梨日日新聞・山梨放送、読売新聞甲府支局

【企画協力】東映

【会 場】企画展示室

【入場者数】16,406 人

【担 当】学芸員 植月 学、近藤暁子

【概 要】

南北に長く、温暖多湿で多様な虫が生息する日本列島で、日本人は虫の鳴き声に季節を感じ、虫の鑑賞を楽しむというように、虫と濃密に関わる世界でも特異な文化を育んできた。しかし、生活環境の変化とともに、身近な虫たちとの接点が減り、「虫」を愛でる文化も徐々に忘れ去られつつある。本展では、日本人と虫との関係史を改めて見つめなおし、現代の環境問題と虫にまつわる文化の衰退の関わりを考え、虫と日本人の未来についても探る。



展示会ちらし

【関連イベント】

■池田清彦 先生によるギャラリー・トーク

- ・日 時 平成23年8月12日（金）①午前11時～、②午後2時～ 各回30分間程度
- ・場 所 企画展示室

■かいじあむにサクライザーがやってくる！

- ・日 時 平成23年7月23日（土）、8月20日（土）午後1時30分から40分間程度
- ・場 所 エントランスロビー

■かいじあむ子ども工房「ペーパークラフトで昆虫を作ろう」

- ・日 時 平成23年7月24日（日）、8月28日（日）午前10時30分～午後3時
- ・場 所 エントランスロビー

■佐藤正和重孝 氏によるワークショップ「石でムシを作ってみよう」

- ・日 時 平成23年7月31日（日）午後1時～午後3時
- ・場 所 体験学習室

■かいじあむの夏祭り・夕涼み

- ・日 時 平成23年8月13日（土）、14日（日）  
午後1時30分～午後5時30分
- ・場 所 エントランスロビーほか

■学芸員によるギャラリー・トーク

- ・日 時 平成23年7月30日（土）、8月21日（日）、28日（日）  
午後3時から1時間程度



展示風景

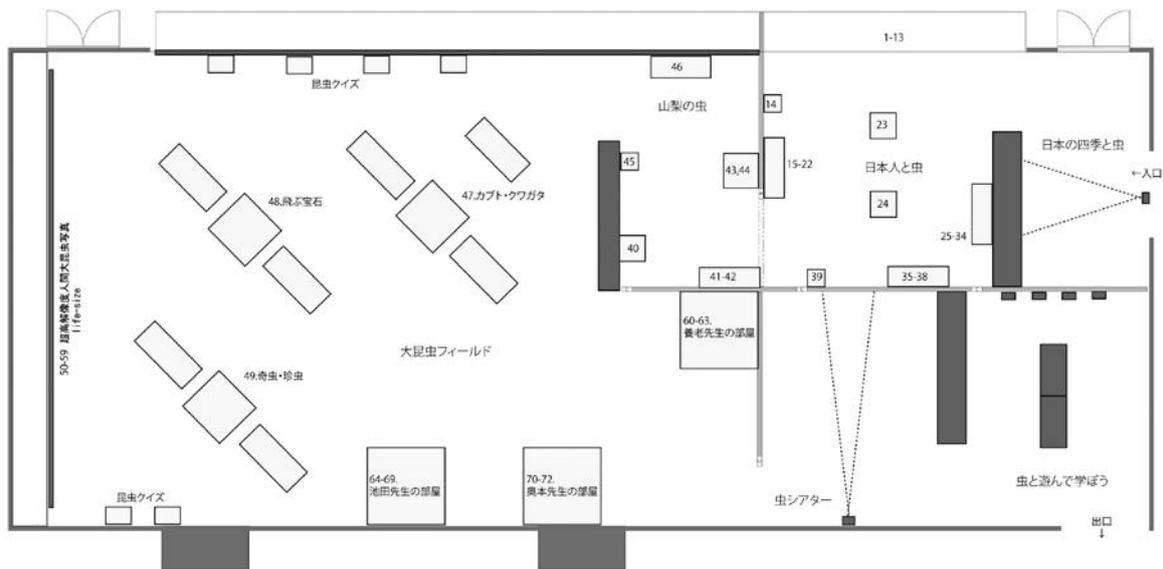
※その他の開館日にも展示交流員によるガイドツアーを実施 午後3時から30分間程度

【出品資料一覧】

番号	資 料 名	作者など	員数	所 蔵 者	材質技法	時代（世紀・制作年）
日本人と虫						
1	蛭狩	喜多川歌麿	1	東京国立博物館		江戸時代
2	夜商内六夏撰<虫売り>	三代歌川豊国	1	国立歴史民俗博物館	木版多色摺	弘化4～嘉永5年（1847-52）
3	俳優見立夏商人<虫売り>	三代歌川豊国	1	国立歴史民俗博物館	木版多色摺	天保年間（1830-43）頃
4	虫籠		1	個人	木製	明治時代以降
5	夏の夜虫合戦		1	国立歴史民俗博物館	木版多色摺	明治元年（1868）
6	新板虫つくし	三代歌川広重	1	国立歴史民俗博物館	木版多色摺	慶応2年（1866）
7	平戸焼皿		1	個人		江戸時代以降
8	伊万里焼皿		1	個人		江戸時代以降
9	食籠		2	個人	木製漆塗	江戸～明治時代
10	蜻蛉時絵鞍・鏡		1	国立歴史民俗博物館	木製漆塗	正保3年（1646）
信玄と虫						
11	むかでの指物		1	個人	絹・漆	
12	むかで前立		1	個人	紙・金箔・墨	
13	永禄四年九月信州川中島大合戦のとき朝霧ふかく立ちむかうの図	歌川芳虎	1	山梨県立博物館	木版多色摺	江戸時代後期

番号	資料名	作者など	員数	所蔵者	材質技法	時代(世紀・制作年)
14	秋之七草時絵病癘除護函		1	信玄公宝物館	木製漆塗	
武士と虫						
15	蝶紋時絵采配		1	個人	紙・木製漆塗	江戸時代
16	鈴虫図罽、小柄、縁、頭		4	個人		江戸時代
17	小柄(蜻蛉)		1	個人		江戸時代
18	蜂蜻蛉蜘蛛図罽		1	国立歴史民俗博物館		江戸時代
19	虫文様罽(虫尽、牡丹に蝶ほか)		7	個人		江戸時代
20	目貫(蜂)		1	個人	素銅製	江戸時代
21	釘隠(揚羽蝶)		1	個人	銅製	江戸時代
22	水滴(揚羽蝶)		1	個人	銀製	江戸時代
23	黒漆塗六十二間筋兜	明珍	1	個人		江戸時代
24	鉄六枚張桃形前付臥蝶兜	光永	1	国立歴史民俗博物館		江戸時代
暮らしの中の虫						
25	癩甲秋草虫時絵櫛	羊遊斎	1	国立歴史民俗博物館		江戸時代
26	金地笹葉蛸蝶銅時絵櫛		1	国立歴史民俗博物館		江戸時代
27	灰押さえ・火箸(天道虫)		1	個人	金属製	江戸時代以降
28	帯留め(蝶)		2	個人	絹製/木製漆塗	明治以降
29	簪(蝶、揚羽蝶)		3	個人	銀製	明治以降
30	お籠道具(蝶)		1	個人	布・木製	江戸時代以降
31	煙草入れ(蝶)		1	個人	布製	明治時代以降
32	煙草入れ(蜂)		1	個人	皮製	江戸時代
33	煙草入れ(牡丹に蝶)		1	個人	木製漆塗	明治時代以降
34	マッチ入れ(蝶、蜘蛛、蜻蛉)		1	個人	金属・皮製	明治時代以降
害虫と益虫						
35	絵本宝能嚙	勝川春章・北尾重政	1	山梨県立博物館(甲州文庫)	木版多色摺	天明6年(1786)
36	田畑虫除祈禱執行書		1	山梨県立博物館(甲州文庫)	紙本墨書	文政7年(1824)
37	台ヶ原荒尾明神昆虫祝祭の記録		1	山梨県立博物館(甲州文庫)	紙本墨書	天保14年~慶応3年(1843-1867)
38	除蝗録	大蔵永常	2	山梨県立博物館(長谷川家文書)	木版墨摺	文政9年(1826)
出土した虫						
39	海老錠	甲府市久保田・道々芽木遺跡	1	山梨県立考古博物館	銅造鍍金	平安時代
虫へのまなざし						
40	草花群蟲図	狩野伊川院栄信	2	東京国立博物館	絹本著色	江戸時代(19世紀)
41	虫彙帖	増山雪斎	2	東京国立博物館	紙本著色	江戸時代(19世紀)
42	虫譜図説	飯室庄左衛門(楽圃)	2	国立歴史民俗博物館	紙本著色	原本は安政3年(1856)
43	画本虫糸らみ(複製品)	喜多川歌麿	1	国立歴史民俗博物館	木版多色摺	原本は江戸時代(19世紀)
44	写生帖(丁帖)	円山応挙	1	東京国立博物館	紙本著色	江戸時代(19世紀)
45	日曜の昆虫採集	池田米太郎	1	山梨県立博物館(大木家文書)		明治37年(1904)
山梨の虫						
46	昆虫相資料パネル、標本		1式			
大昆虫フィールド						
47	標本箱「珍虫・奇虫」世界の変わりものたち		43	名和昆虫博物館		
48	標本箱「カブトムシ・クワガタムシ」森の戦士たち		53	名和昆虫博物館		
49	標本箱「飛ぶ宝石たち」美を競う虫		43	名和昆虫博物館		
超解像度昆虫写真 Life size						
50	アカスジカメムシ(背)		1	橋本典久		
51	チョウトンボ		1	橋本典久		
52	ギフチョウ		1	橋本典久		
53	カナブン		1	橋本典久		
54	キイトンボ		1	橋本典久		
55	オオゾウムシ		1	橋本典久		
56	サクラコガネ		1	橋本典久		
57	トノサマバッタ		1	橋本典久		
58	ウスバカゲロウ		1	橋本典久		
59	タマムシ		1	橋本典久		
虫好きオヤジ						
60	標本箱		15	養老孟司		
61	新種の論文		1	養老孟司		
62	虫捕り道具		3	養老孟司		
63	顕微鏡用標本		10	養老孟司		
64	標本箱		7	池田清彦		
65	Tシャツ		3	池田清彦		
66	虫捕り道具		5	池田清彦		
67	標本作り道具		1式	池田清彦		
68	池田正子氏画		6	池田清彦		
69	池田正子作ステンドグラス		4	池田清彦		
70	ファープルの小机・いす(レプリカ)		1式	奥本大三郎		
71	標本箱		4	奥本大三郎		
72	ファープル展示品		30	奥本大三郎		
昆虫シアター						
73	「世界のクワガタ・カブト大集合」		2			
虫と学んで遊ぼう						
74	セミクイズ		4			

【展示平面図】



iii 柳沢吉保と甲府城

【会 期】平成23年10月8日（土）から同年11月28日（月）まで  
会期日数52日、展示日数45日

【主 催】山梨県立博物館、甲府市、財団法人自治総合センター

【後 援】朝日新聞甲府総局、NHK甲府放送局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、テレビ山梨、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、株式会社山梨中央銀行、山梨日日新聞社・山梨放送、読売新聞甲府支局、甲府市教育委員会、甲州市教育委員会、北杜市教育委員会、大和郡山市教育委員会

【会 場】企画展示室

【入場者数】10,716人

【担 当】学芸・企画交流課長 中山誠二、学芸員 井澤英理子、高橋 修、西川広平

【概 要】

五代将軍徳川綱吉に抜擢され、小姓から大老格にまで出世し、元禄・宝永時代の江戸幕府を動かした柳沢吉保。甲斐源氏の末裔として生まれた吉保は、やがて「先祖の地」甲斐国を拝領して、甲府城と城下町を整備し、「是ぞ甲府の花盛り」という評判が立つほどの繁栄をもたらした。

本展では、吉保の足跡や、最近の調査の進展によって明らかとなってきた甲府城及び甲府城下町の様子とともに、柳沢淇園の文芸や永慶寺に代表される柳沢家の黄檗文化を紹介し、柳沢吉保とその一族が甲斐国内外に残した影響を探った。

【関連イベント】

■かいじあむ古文書講座 甲府城ゆかりの古文書を読む

- ・日 時 平成23年10月8日（土）午後1時30分～午後3時
- ・場 所 生涯学習室
- ・講 師 高橋 修（学芸員）

■かいじあむ古文書講座 柳沢吉保ゆかりの古文書を読む

- ・日 時 平成23年11月12日（土）午後1時30分～午後3時



展覧会ちらし

- ・場 所 生涯学習室
- ・講 師 西川広平 (学芸員)
- シンポジウム「柳沢吉保と甲府城」
- ・主 催 山梨県立博物館、山梨郷土研究会、山梨県考古学協会、  
武田氏研究会
- ・日 時 平成23年10月30日 (日) 午後1時～午後4時30分
- ・場 所 山梨県総合教育センター大研修室
- ・講 師 島内景二氏 (電気通信大学教授)  
福留真紀氏 (長崎大学准教授)  
宮里 学氏 (県埋蔵文化財センター)



展示風景

- ・パネルディスカッション司会 高橋 修 (学芸員)
- ・パネラー 島内景二氏、福留真紀氏、宮里 学氏、西川広平 (学芸員)

## ■柳沢吉保にまつわる歌と語りと音の会

- ・日 時 平成23年10月23日 (日) 午後1時30分～午後2時30分
- ・場 所 エントランスロビー
- ・演 者 甲斐りょうじん

## ■茶道を体験してみよう！

- ・日 時 平成23年11月27日 (日) 午後1時30分～午後2時30分
- ・場 所 エントランスロビー
- ・講 師 菊嶋清子氏

## ■収蔵品ゆかりの地ツアー「柳沢吉保と甲府城」展ゆかりの甲府城ツアー

- ・主 催 山梨県立博物館・NPO法人つなぐ
- ・日 時 平成23年10月16日 (日) 午前9時30分～午前12時
- ・場 所 舞鶴城公園

## ■収蔵品ゆかりの地ツアー「柳沢吉保と甲府城」展ゆかりの六義園ツアー

- ・主 催 山梨県立博物館・NPO法人つなぐ
- ・日 時 平成23年11月13日 (日) 午後1時30分～午後3時
- ・場 所 六義園

## ■「柳沢吉保と甲府城」関連ミニ展示

- ・実 施 山梨県立博物館・NPO法人つなぐ
- ・日 時 平成23年10月18日 (火) から同年10月30日 (日) まで
- ・場 所 甲府市立図書館

## ■山梨再発見講座「柳沢吉保と甲府城」

- ・主 催 山梨県立博物館、山梨県生涯学習推進センター
- ・日 時 平成23年10月20日 (木)、27日 (木)、11月10日 (木)、17日 (木)  
午後2時～午後4時、合計4回開催
- ・場 所 山梨県生涯学習推進センター
- ・講 師 西川広平 (学芸員)、高橋 修 (同)、井澤英理子 (同)、宮澤富美恵 (職員)

## ■学芸員によるギャラリー・トーク

- ・日 時 平成23年10月8日 (土)、23日 (日)、11月3日 (木・祝)、12日 (土)  
午後3時から1時間程度

※その他の開館日にも展示交流員によるガイドツアーを実施 午後3時から30分間程度

## 【出品資料一覧】

◎重要文化財 ○県指定文化財 ◇市町村指定文化財

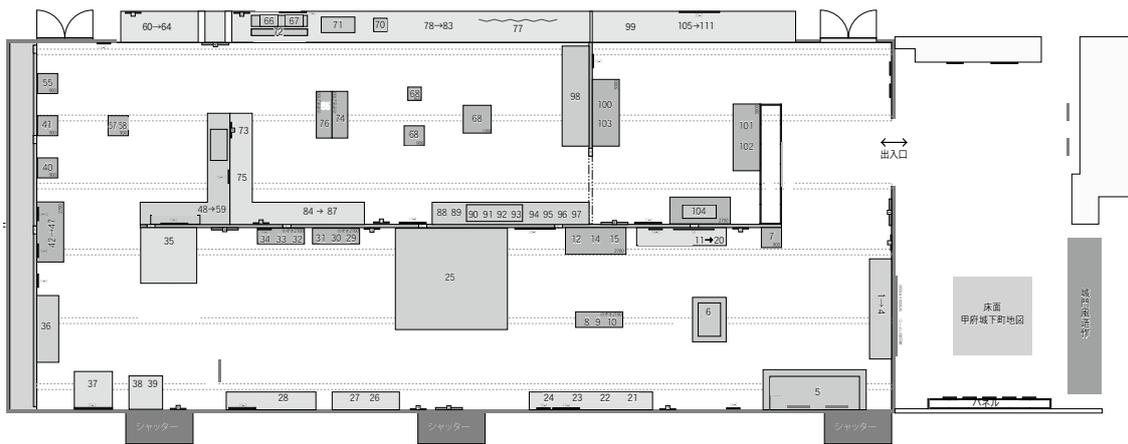
番号	指定	資料名	員数	所蔵者	材質技法	時代（世紀・制作年）	展示期間
第Ⅰ章 吉保登場							
1	○	柳沢吉保像 狩野常信筆 柳沢吉保賛	1 幅	山梨県 一蓮寺	絹本着色	元禄15年（1702）	H23.10.8～11.14
2	○	柳沢吉保像 狩野常信筆 柳沢吉保賛	1 幅	山梨県 常光寺	絹本着色	元禄15年（1702）	H23.10.19～11.28
3		柳沢吉保像 狩野常信筆 柳沢吉保賛	1 幅	奈良県 永慶寺	絹本着色	元禄15年（1702）	H23.10.8～10.24
4	◇	柳沢吉保像 狩野常信筆 柳沢吉保賛	1 幅	柳澤保徳氏	絹本着色	江戸時代 (元禄15年・1702推定)	H23.11.9～11.28
5	◇	柳沢吉保・同夫人坐像 浄慶作	2 軀	奈良県 永慶寺	木造 玉眼 彩色	江戸時代（18世紀）	H23.10.8～10.24
6	◇	柳沢吉保坐像 浄慶作	1 軀	山梨県 恵林寺	木造 玉眼 彩色	江戸時代（18世紀）	H23.10.8～11.28
7		太刀 銘山城守国重	1 口	奈良県 永慶寺	(刀身) 鉄製 (拵) 木製 梨子地 蒔絵	江戸時代（18世紀）	H23.10.8～10.24
8	◇	柳沢保山（吉保）書状	1 通	山梨県 恵林寺	紙本墨書	江戸時代（18世紀）	H23.10.8～11.28
9	◇	衆只堂年録 第三卷	1 冊	奈良県 柳沢文庫	紙本墨書	宝永6年（1709）以降	H23.10.8～11.28
10		永慶寺殿源公御実録 (豊田家史料)	4 冊	大和郡山市教育委員会	紙本墨書	元文5年（1740）	H23.10.8～11.28
11	◇	恵林寺奉加帳 寛文十二年記	1 冊	山梨県 恵林寺	紙本墨書	寛文12年（1672）	H23.10.8～11.28
12	◇	過則勿憚改	1 幅	奈良県 柳沢文庫	紙本墨書	江戸時代 (元禄元年・1688推定)	H23.10.8～11.28
13	◇	衆只堂年録 第七卷	1 冊	奈良県 柳沢文庫	紙本墨書	宝永6年（1709）以降	H23.10.8～11.28
14		散華（豊田家史料）	6 枚	大和郡山市教育委員会	紙本金地著色・ 紙本銀地著色	江戸時代 (元禄11年・1698推定)	H23.10.8～11.28
15	◇	隻履達磨図 狩野探雪筆	1 幅	山梨県 恵林寺	絹本墨画淡彩	江戸時代（17～18世紀）	H23.10.8～11.28
16		徳川綱教書状 (豊田家史料)	1 通	大和郡山市教育委員会	紙本墨書	江戸時代 (元禄16年・1703推定)	H23.10.8～11.7
17		前田綱紀書状 (豊田家史料)	1 通	大和郡山市教育委員会	紙本墨書	江戸時代 (元禄15年・1702推定)	H23.11.9～11.28
18		鍋島綱茂書状 (豊田家史料)	1 通	大和郡山市教育委員会	紙本墨書	江戸時代（18世紀）	H23.11.9～11.28
19		酒井忠孝書状 (豊田家史料)	1 通	大和郡山市教育委員会	紙本墨書	江戸時代 (元禄13年・1700推定)	H23.10.8～11.7
20		松平信庸書状 (豊田家史料)	1 通	大和郡山市教育委員会	紙本墨書	江戸時代（18世紀）	H23.11.9～11.28
21	○	真光院殿初七日追悼和歌	1 巻	山梨県 恵林寺	紙本墨書	正徳3年（1713）	H23.10.8～11.28
22		染子歌集	1 帖	奈良県 柳沢文庫	紙本墨書	宝永2年（1705）	H23.10.8～11.28
23		松家気 第廿六卷	1 冊	奈良県 柳沢文庫	紙本墨書	江戸時代（18世紀）	H23.10.8～11.28
24		柳沢吉保庭訓 (豊田家史料)	1 冊	大和郡山市教育委員会	紙本墨書	元禄15年（1702）	H23.10.8～11.28
第Ⅱ章 先祖の地 甲斐国へ							
25		甲斐国絵図	1 舗	奈良県 柳沢文庫	紙本墨書 彩色	元禄15年（1702）	H23.10.8～11.28
26		甲斐国領知朱印状	1 枚	奈良県 柳沢文庫	紙本墨書	宝永2年（1705）	H23.10.8～11.28
27		老中連署知行目録	1 枚	奈良県 柳沢文庫	紙本墨書	宝永2年（1705）	H23.10.8～11.28
28		甲府八景和歌	1 巻	山梨県 恵林寺	紙本墨書	江戸時代（18世紀）	H23.10.8～11.28
29	◇	風流使者記 卷四	1 冊	奈良県 柳沢文庫	紙本墨書	文化14年（1817）写	H23.10.8～11.28
30		柳沢吉保書状 (豊田家史料)	1 通	大和郡山市教育委員会	紙本墨書	江戸時代（18世紀）	H23.10.8～11.28
31		柳沢吉保書状 (豊田家史料)	1 通	大和郡山市教育委員会	紙本墨書	江戸時代（18世紀）	H23.10.8～11.28

番号	指定	資料名	員数	所蔵者	材質技法	時代(世紀・制作年)	展示期間
32		甲斐国検地帳(西花輪村・藤田村・平沢村)	3冊	山梨県立博物館	紙本墨書	(西花輪村・藤田村) 宝永元年(1704) (平沢村) 宝永8年(1711)	(平沢村) H23.10.8～10.24 (藤田村) H23.10.26～11.7 (西花輪村) H23.11.9～11.28
33		年貢割付状	1通	野呂瀬保氏	紙本墨書	正徳5年(1715)	H23.10.8～11.28
34		甲斐国三郡引渡目録写	1冊	山梨県立博物館	紙本墨書	江戸時代 (原本は享保9年・1724)	H23.10.8～11.28
<b>第三章 是ぞ甲府の花盛り</b>							
35		甲府城並近辺之絵図	1冊	京都大学大学院工学研究科建築学専攻	紙本墨書 彩色	江戸時代(17世紀)	H23.10.8～11.28
36		甲府城並家中屋敷割図	1冊	大和郡山市教育委員会	紙本墨書 彩色	江戸時代(18世紀)	H23.10.8～11.28
37	◇	甲府城絵図(『築只堂年録』一七三巻収載)	1冊	奈良県 柳沢文庫	紙本墨書 彩色	江戸時代(18世紀)	H23.10.8～11.28
38		甲斐国府中城曲輪絵図	1冊	奈良県 柳沢文庫	紙本墨書 彩色	宝永2年(1705)	H23.10.8～11.7
39		甲斐国府中城修復願書絵図	1冊	奈良県 柳沢文庫	紙本墨書 彩色	正徳3年(1713)	H23.11.9～11.28
40	○	甲府城跡出土金箔鱗瓦	1点	山梨県立考古博物館	土製 金箔	桃山時代(16世紀末)	H23.10.8～11.28
41	○	甲府城跡出土大型鱗瓦片	7点	山梨県立考古博物館	土製 金箔	桃山時代(16世紀末)	H23.10.8～11.28
42	○	甲府城跡出土金箔鬼瓦(風神)	1点	山梨県立考古博物館	土製 金箔	桃山時代(16世紀末)	H23.10.8～11.28
43	○	甲府城跡出土獅子留蓋瓦	1点	山梨県立考古博物館	土製	桃山時代(16世紀末)	H23.10.8～11.28
44	○	甲府城跡出土桐紋鬼瓦	1点	山梨県立考古博物館	土製	桃山時代(16世紀末)	H23.10.8～11.28
45	○	甲府城跡出土遼鷹羽丸瓦	1点	山梨県立考古博物館	土製	桃山時代(16世紀末)	H23.10.8～11.28
46	○	甲府城跡出土遼鷹羽丸瓦	5点	山梨県立考古博物館	土製	桃山時代(16世紀末)	H23.10.8～11.28
47	○	甲府城跡出土輪宝	6点	山梨県立考古博物館	銅製	江戸時代(17世紀)	H23.10.8～11.28
48		甲府城跡出土巴紋鳥衾	6点	山梨県立考古博物館	土製	江戸時代	H23.10.8～11.28
49	○	甲府城跡出土鬼瓦	1点	山梨県立考古博物館	土製	江戸時代(17世紀)	H23.10.8～11.28
50		甲府城跡出土滴水瓦	4点	山梨県立考古博物館	土製	江戸時代 (17～18世紀)	H23.10.8～11.28
51	○	甲府城跡出土葵紋軒丸瓦	1点	山梨県立考古博物館	土製	江戸時代後期	H23.10.8～11.28
52	○	甲府城跡出土花菱紋鬼瓦	1点	山梨県立考古博物館	土製	江戸時代(18世紀)	H23.10.8～11.28
53	○	甲府城跡出土花菱紋隠	2点	山梨県立考古博物館	銅製	江戸時代(18世紀)	H23.10.8～11.28
54	○	甲府城跡出土扱間	1点	山梨県立考古博物館	木製	江戸時代	H23.10.8～11.28
55		伝塩硝蔵壺	1点	山梨県立図書館	土製	江戸時代 (18～19世紀)	H23.10.8～11.28
56		甲府城関連遺跡出土品	102点	甲府市教育委員会	土製・木製	江戸時代中～後期	H23.10.8～11.28
57		伝甲府城追手橋擬宝珠	1点	山梨県立図書館	青銅製	江戸時代(宝永7年・1710推定)	H23.10.8～11.28
58		伝甲府城追手橋擬宝珠	2点	山梨県立甲府第一高等学校	青銅製	江戸時代(宝永7年・1710推定)	H23.10.8～11.28
59		甲府城跡古写真	4点	山梨県立博物館・個人	紙製	明治時代	H23.10.8～11.28
60		甲府 数田重守屋敷分間絵図(豊田家史料)	1冊	大和郡山市教育委員会	紙本墨書 彩色	江戸時代(18世紀)	H23.10.8～11.28
61		立近習町より犬出生につき覚	1通	山梨県立博物館	紙本墨書	貞享5年(1688)	H23.10.8～11.28
62		西青沼町より犬飼育につき覚	1通	山梨県立博物館	紙本墨書	貞享5年(1688)	H23.10.8～11.28
63		甲州道中絵図(豊田家史料)	1通	大和郡山市教育委員会	紙本墨書 彩色	江戸時代(18世紀)	H23.10.8～11.28
64		富士山宝永噴火山灰(豊田家史料)	2包并1枚	大和郡山市教育委員会	(包紙)紙本墨書	宝永4年(1707)	H23.10.8～11.28
<b>第四章 花開く柳沢文化</b>							
65	○	永慶寺殿・真光院殿道具覚帳	1冊	山梨県 恵林寺	紙本墨書	享保9年(1724)	H23.10.8～11.28
66	○	花菱紋時絵鞍	1背	山梨県 恵林寺	木製 漆塗 時絵	室町～江戸時代前期	H23.10.8～11.28
67	○	鉄線唐草銀象嵌銘・加州小松庄住権大夫氏重作	1双	山梨県 恵林寺	鉄製 銀象嵌	江戸時代前期	H23.10.8～11.28
68	○	鉄錆地桶側胴具足兜・小具足付	1領	山梨県 恵林寺	鉄製 時絵 漆塗	江戸時代(18世紀)	H23.10.8～11.28
69	◎	短刀 銘備州長船倫光 応安二年八月日	1口	山梨県 恵林寺	鉄製	応安2年(1369)	H23.10.8～11.28

番号	指定	資料名	員数	所蔵者	材質技法	時代(世紀・制作年)	展示期間
70	○	菊時絵香道具	1 具	山梨県 恵林寺	木製 漆塗 時絵	江戸時代 (17～18世紀)	H23.10.8～11.28
71	○	菊唐草時絵化粧道具	1 具	山梨県 恵林寺	木製 漆塗 時絵、鍍 のみ金銅製	江戸時代(18世紀)	H23.10.8～11.28
72	○	四ツ花菱葛紋時絵雑刀拵 銘・出雲守藤原吉氏	1 口	山梨県 恵林寺	木製 漆塗 時絵 赤銅	江戸時代(18世紀)	H23.10.8～11.28
73		硯	1 面	奈良県 柳沢文庫	石製	宝永6年(1709)	H23.10.8～11.28
74		鳩杖	1 本	奈良県 柳沢文庫	木製	元禄10年(1697)	H23.10.8～11.28
75		和歌百首 霊元院加點	1 巻	奈良県 柳沢文庫	紙本墨書	江戸時代 (元禄16年・1703推定)	H23.10.8～11.28
76	◇	保山公御詠歌御手鑑	2 帖	奈良県 柳沢文庫	紙本墨書	江戸時代(18世紀)	H23.10.8～11.28
77		中国故事人物図屏風 狩野洞春筆	6 曲 1 双	山梨県立博物館	紙本金地著色	江戸時代 (17～18世紀)	H23.10.8～11.28
78	◇	羅漢図 柳沢淇園筆	2 幅	山梨県 恵林寺	絹本著色	江戸時代(18世紀)	H23.10.8～11.7
79		関羽図 柳沢淇園筆 柳沢信鴻賛	1 幅	東京国立博物館	絹本著色	江戸時代(18世紀)	H23.11.9～11.28
80		雪中梅花小禽図 柳沢淇園筆	1 幅	個人	絹本著色	江戸時代(18世紀)	H23.10.8～11.7
81		蘭花果実図 柳沢淇園筆・賛	1 幅	個人	絹本著色	江戸時代(18世紀)	H23.11.9～11.28
82		睡童子図 柳沢淇園筆・賛	1 幅	個人	絹本著色	江戸時代(18世紀)	H23.11.9～11.28
83		ひとりね	2 冊	山梨県立博物館	紙本墨書	文化6年(1809)写	H23.10.8～11.28
84	◇	六義園記	1 巻	奈良県 柳沢文庫	紙本墨書	宝永元年(1704)序	H23.10.8～11.7
85		和歌「六義園十二境」	1 巻	奈良県 柳沢文庫	紙本墨書	江戸時代(18世紀)	H23.11.9～11.28
86	◇	六義園図 狩野常信・ 岑信・周信筆	3 巻	奈良県 柳沢文庫	絹本著色	江戸時代(18世紀)	(上巻) H23.10.8～10.24 (中巻) H23.10.26～11.7 (下巻) H23.11.9～11.28
87		六義園の図	1 鋪	奈良県 柳沢文庫	紙本墨書 彩色	江戸時代	H23.10.8～11.28
88		甲州龍華山御建立次第	1 冊	奈良県 永慶寺	紙本墨書	元文5年(1740)	H23.10.8～11.28
89		永慶寺境内図	1 鋪	奈良県 永慶寺	紙本墨書 彩色	江戸時代(18世紀)	H23.10.8～11.28
90		龍華山永慶寺諸伽藍目録	1 冊	奈良県 永慶寺	紙本墨書	宝永6年(1709)	H23.10.8～11.28
91		龍華山御建立以来諸色書 留 一	1 冊	奈良県 柳沢文庫	紙本墨書	宝永7年(1710)	H23.10.8～11.28
92		悦峯道章像 悦峯道章賛	1 幅	奈良県 永慶寺	紙本著色	享保元年(1716)	H23.10.8～11.28
93	◇	勅賜護法常応録 附故紙 録	35 冊	奈良県 永慶寺	紙本墨書	宝永2年(1705)	H23.10.8～11.28
94		柳沢吉保偈	1 通	奈良県 永慶寺	紙本墨書	江戸時代(18世紀)	H23.10.26～11.7
95		香国禅師偈	1 通	奈良県 永慶寺	紙本墨書	江戸時代(18世紀)	H23.11.9～11.28
96		柳沢家家老連署書状	1 通	奈良県 永慶寺	紙本墨書	江戸時代(享保9年・1724推定)	H23.10.8～10.24
97	○	紙本墨摺勤修福念仏図説	1 幅	山梨県 常光寺	紙本墨摺 填彩	江戸時代(18世紀)	H23.10.8～11.28
98		浄土曼荼羅図	1 幅	奈良県 永慶寺	絹本著色	元禄12年(1699)	H23.10.8～11.28
第V章 伝統を受け継ぐ							
99		甲斐少将松平吉保家世次 第	1 通	山梨県 恵林寺	紙本墨書	宝永2年(1705)	H23.10.8～11.28
100		法性院殿百三十三回忌詠歌	1 通	山梨県 恵林寺	紙本墨書	宝永2年(1705)	H23.10.8～11.28
101	◎	太刀 銘来国長 糸巻太刀 拵	1 口	山梨県 恵林寺	(刀身)鉄製 (拵)木製 梨子地 時 絵 (外箱)木製 漆塗 (内箱)木製	(刀身)南北朝時代(14世紀) (拵・外箱・内箱) 江戸時代(18世紀)	(刀身) H23.11.9～11.28 (拵・箱) H23.10.26～11.28
102	◎	太刀 銘真守造	1 口	高松平家歴史資料 香川県立ミュージアム保管	鉄製	鎌倉時代(12世紀)	H23.10.8～11.7
103		陣立図	1 鋪	奈良県 永慶寺	紙本墨書	宝永4年(1707)	H23.10.8～11.28
104		旗指物図(豊田家史料)	1 冊	大和郡山市教育委員会	紙本墨書 彩色	江戸時代(18世紀以降)	H23.10.8～11.28
105		武田信玄像 柳沢吉里賛 狩野洞春筆	1 幅	奈良県 柳沢文庫	紙本著色	宝永4年(1707)	H23.10.8～11.7

番号	指定	資料名	員数	所蔵者	材質技法	時代（世紀・制作年）	展示期間
106	◇	武田信玄像 柳沢吉里筆	1幅	山梨県 恵林寺	絹本着色	享保7年（1722）	H23.10.8～11.28
107		武田二十四将図 柳沢吉里筆	1幅	奈良県 柳沢文庫	紙本着色	江戸時代（18世紀）	H23.11.9～11.28
108		武田晴信（信玄）書状	2通	奈良県 柳沢文庫	紙本墨書	戦国時代（16世紀）	H23.10.8～11.28
109		武田勝頼書状	2通	奈良県 柳沢文庫	紙本墨書	戦国時代（16世紀）	H23.10.8～11.28
110		武田家伝馬手形	2通	奈良県 柳沢文庫	紙本墨書	永禄10年（1567）	H23.11.9～11.28
111		武田万千代書状	2通	奈良県 柳沢文庫	紙本墨書	戦国時代（16世紀）	H23.10.8～11.7

## 【展示平面図】



## iv おふどうと名乗った家－豪商大木家の350年－

【会 期】平成24年1月27日（金）から同年3月5日（月）まで  
会期日数39日、展示日数34日

【主 催】山梨県立博物館

【会 場】企画展示室

【入場者数】4,538人

【担 当】学芸員 丸尾依子、近藤暁子、海老沼真治

## 【概 要】

平成2年に山梨県に寄贈された大木家資料から美術工芸資料、歴史資料、民俗資料を総合的に紹介した。大木家の350年の歴史とその時代背景、商家のくらしと信仰、ゆかりの文化人、豪商として培ってきた文化などに注目した。

第I章 呉服店繁盛記 江戸時代から昭和初期まで大木家が経営した呉服店に関する資料を展示

第II章 店の奥のこと 家族の暮らしぶりや、節供、人生切れにまつわる資料を展示

第III章 育まれた文化 大木家歴代の当主が収集したり、大木家に伝来した美術工芸品を展示

第IV章 喬命の時代 大木家7代目当主の大木喬命にまつわる資料等を展示



展覧会ちらし

【関連イベント】

■収蔵品ゆかりの地ツアー「甲府城下における大木家ゆかりの地ツアー」

- ・主 催 山梨県立博物館、つなぐNPO
- ・日 時 平成24年2月4日（土）午後1時30分～午後3時
- ・場 所 甲府市内

■古文書講座「甲府の豪商 大木家ゆかりの古文書を読む」

- ・日 時 平成24年2月11日（土）午後1時30分～午後3時
- ・場 所 生涯学習室
- ・講 師 海老沼真治（学芸員）

■学芸員によるギャラリー・トーク

- ・日 時 平成24年1月27日（金）、28日（土）、2月11日（土・祝）、3月4日（日）  
午後3時から1時間程度
- 平成24年2月4日（土）午前10時30分から1時間程度

※その他の開館日にも展示交流員によるガイドツアーを実施 午後3時から30分間程度



展示風景

【出品資料一覧】

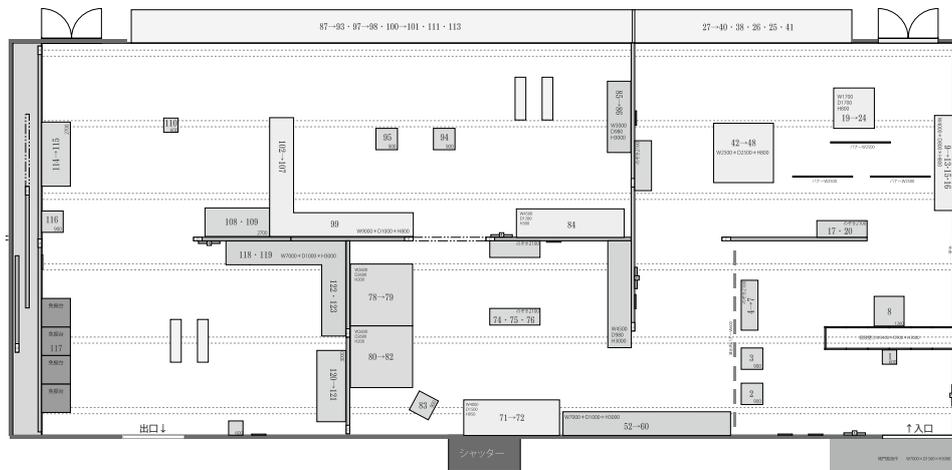
※出品資料はすべて当館所蔵であり、特に注記のないものは大木家資料である。

番号	資 料 名	員数	時代（世紀・制作年）	展示期間	備 考
1	不動明王像	1 軀	江戸時代	H24.1.27～3.5	
2	家相図	1 点	天保13年（1842）	H24.1.27～3.5	
3	帳簿類	6 点	江戸時代	H24.1.27～3.5	
4	覚（麻手拭、唐縮緬代請取二付）	1 点	江戸時代	H24.1.27～3.5	河野家文書
5	頼母講御連銘帳	1 点	安政6年（1859）	H24.1.27～3.5	
6	借用申金子之事	1 点	嘉永7年（1854）	H24.1.27～3.5	
7	大木呉服店写真	1 点	明治時代	H24.1.27～3.5	
8	実測甲府市街全図	1 点	大正時代	H24.1.27～3.5	県立博物館収集資料
9	商品券	7 点	明治時代初期	H24.1.27～3.5	
10	商品券控	1 点	昭和3年（1928）	H24.1.27～3.5	
11	呉服柄見本	5 点	～昭和時代初期	H24.1.27～3.5	
12	大木呉服店広告（峡中広告集より）			H24.1.27～3.5	
	1「初売り」広告	1 点	明治時代～大正時代	H24.1.27～2.6	甲州文庫
	2「夏物売出し」広告	1 点	明治時代～大正時代	H24.2.8～2.20	甲州文庫
	3「初売り」広告	1 点	明治時代～大正時代	H24.2.22～3.5	甲州文庫
13	初売出し広告の葉書	1 点	大正元年（1912）	H24.1.27～3.5	
14	甲府織物商組合看板	1 点	明治時代以降	H24.1.27～3.5	
15	羽二重売帳	1 点	明治28年（1895）	H24.1.27～3.5	
16	傘地買付仮控	1 点	明治16年（1883）	H24.1.27～3.5	
17	おふどう呉服店桜町出張所写真	2 点	昭和2年（1927）	H24.1.27～3.5	
18	「おふどう」小旗	2 点	昭和時代初期	H24.1.27～3.5	
19	おふどう呉服店桜町出張所図面・照明計画	2 点	昭和8年（1933）	H24.1.27～3.5	
20	おふどう祭（観桜会）写真	2 点	大正時代～昭和時代初期	H24.1.27～3.5	
21	祭用旗	1 点	大正時代～昭和時代初期	H24.1.27～3.5	
22	売り物だった反物	1 式	～昭和時代初期	H24.1.27～3.5	
23	端布	1 式	～昭和時代初期	H24.1.27～3.5	
24	足袋	5 点	～昭和時代初期	H24.1.27～3.5	
25	売出しの旗	1 点	昭和時代初期	H24.1.27～3.5	
26	冬物売出しの旗	1 点	明治時代～昭和時代初期	H24.1.27～3.5	
27	のし紙	1 式	昭和時代初期	H24.1.27～3.5	
28	おふどう呉服店畳紙	1 式	昭和時代初期	H24.1.27～3.5	
29	黒八丈襟箱	1 点	年代不詳	H24.1.27～3.5	
30	「おふどう」印のある木箱	2 点	年代不詳	H24.1.27～3.5	
31	「井筒屋」印のある葛籠	1 点	年代不詳	H24.1.27～3.5	
32	「おふどう」版木	2 点	年代不詳	H24.1.27～3.5	

番号	資料名	員数	時代(世紀・制作年)	展示期間	備考
33	「おふどう」原図	2点	大正15年(1926)	H24.1.27～3.5	
34	店用印	12点	年代不詳	H24.1.27～3.5	
35	「おふどう」バッジ	1式	昭和時代初期	H24.1.27～3.5	
36	「おふどう」の書	1点	年代不詳	H24.1.27～3.5	
37	「おふどう」風呂敷	1式	昭和時代初期	H24.1.27～3.5	
38	「おふどう」手拭いで作った寝間着	1点	昭和時代初期	H24.1.27～3.5	
39	福助足袋	4点	昭和時代初期	H24.1.27～3.5	
40	福助像	1点	年代不詳	H24.1.27～3.5	
41	福助人形	1点	年代不詳	H24.1.27～3.5	
42	印半纏	1点	昭和時代初期	H24.1.27～3.5	
43	染場・職人写真	4点	昭和時代初期	H24.1.27～3.5	
44	山日ゆかた包装紙	1点	昭和時代初期	H24.1.27～3.5	
45	日本名流ゆかた包装紙	1点	昭和時代初期	H24.1.27～3.5	
46	店員用風呂敷	1点	昭和時代初期	H24.1.27～3.5	
47	店員注文帳	1点	昭和13年(1938)～	H24.1.27～3.5	
48	店員支給表	1点	大正15年(1926)	H24.1.27～3.5	
49	店員心得	2点	昭和6年(1931)	H24.1.27～3.5	
50	店則	1点	明治時代以降	H24.1.27～3.5	
51	奉公人引請状	1点	明治28年(1895)	H24.1.27～3.5	
52	盆石用具	1式	年代不詳	H24.1.27～3.5	
53	ステレオスコープ(活眼写真)	1式	明治時代	H24.1.27～3.5	
54	大皿	1点	年代不詳	H24.1.27～3.5	
55	碁盤と碁石	1式	年代不詳	H24.1.27～3.5	
56	蓄音機とレコード	1式	大正時代～昭和時代初期	H24.1.27～3.5	
57	牛乳領収書	2点	明治14年(1881) 明治15年(1882)	H24.1.27～3.5	
58	家庭用の端糸箱	1点	年代不詳	H24.1.27～3.5	
59	甲斐犬写真	4点	昭和時代初期	H24.1.27～3.5	
60	甲斐犬表彰状	2点	昭和10年(1935)	H24.1.27～3.5	
61	大神宮祭典諸記録	1点	明治41年(1908)	H24.1.27～3.5	
62	富士大山登山饞別日下恵	1点	天保14年(1843)	H24.1.27～3.5	
63	蛭子講入用覚	1点	安政6年(1859)	H24.1.27～3.5	
64	和合神像	1点	明治時代以降	H24.1.27～3.5	
65	ピリケン像	1点	明治時代以降	H24.1.27～3.5	
66	大黒天像	1軀	明治時代～昭和時代	H24.1.27～3.5	
67	光沢寺本堂上棟式の槌	1点	明治44年(1911)	H24.1.27～3.5	
68	大木稲荷の額	1点	年代不詳	H24.1.27～3.5	
69	先祖祭及二十五回忌執行	1点	明治14年(1881)	H24.1.27～3.5	
70	野辺送りの式	1点	明治16年(1883)	H24.1.27～3.5	
71	源氏物語貼付屏風	6曲1双	江戸時代後期	右隻：H24.1.27～2.20 左隻：H24.2.22～3.5	
72	婚礼筆筭	3棹	明治6年(1873)	H24.1.27～3.5	
73	婚礼料理控帳	1点	明治6年(1873)	H24.1.27～3.5	
74	出産見舞受納帳并節句見舞受納帳	1点	嘉永5年(1852)	H24.1.27～3.5	
75	出産見舞帳	1点	明治28年(1895)	H24.1.27～3.5	
76	若旦那御祝儀呉服売上	1点	明治33年(1900)	H24.1.27～3.5	
77	元服祝儀帳	1点	慶応2年(1866)	H24.1.27～3.5	
78	三月節供雛人形	1式	明治時代～昭和時代初期	H24.1.27～3.5	
79	三月節供雛人形	1式	明治時代～昭和時代初期	H24.1.27～3.5	
80	五月節供武者飾り	1式	明治時代～昭和時代初期	H24.1.27～3.5	
81	騎馬軍人人形 丸屋大木平蔵製	3点	明治28年(1895)	H24.1.27～3.5	
82	鎧飾り	1点	年代不詳	H24.1.27～3.5	
83	祓および付属品	1式	年代不詳	H24.1.27～3.5	
84	撫子図屏風	6曲1隻	江戸時代前～中期	H24.1.27～3.5	
85	唐美人図 狩野休巴筆	1幅	江戸時代前期	H24.1.27～3.5	
86	桃鳩図	1幅	江戸時代前期	H24.1.27～3.5	
87	「營」字 座光寺南屏筆	1幅	江戸時代中～後期	H24.1.27～3.5	
88	山水押絵貼付屏風 天龍道人筆	6曲1隻	江戸時代中～後期	H24.2.8～2.20	
89	松梅図 谷文晁筆	1幅	文化11年(1814)	H24.1.27～3.5	
90	花鳥図 椿椿山筆	1幅	嘉永元年(1848)	H24.1.27～3.5	

番号	資料名	員数	時代(世紀・制作年)	展示期間	備考
91	五代目大木喜右衛門夫妻像 初代歌川広重筆	2幅	天保12年(1841)頃	H24.1.27～3.5	山梨県指定文化財
92	鴻ノ台図屏風 二代歌川広重筆	6曲1隻	江戸時代末期	H24.2.8～2.20	
93	雑魚貼交屏風 二代歌川広重及び門下筆	6曲1双	江戸時代末期	H24.2.22～3.5	
94	茶入 銘 二王 初代川上不自作	1口	江戸時代中～後期	H24.1.27～3.5	
95	茶杓 銘 亀 初代川上不自作	1本	安永2年(1773)	H24.1.27～3.5	
	茶杓 銘 鶴 初代川上不自作	1本	安永9年(1780)		
96	酒折宮図 中林竹溪筆	1幅	江戸時代後期	H24.1.27～3.5	
97	蓮鷺図 日根対山筆	1幅	慶応3年(1867)	H24.1.27～3.5	
98	群鹿図屏風 竹邨三陽筆	6曲1双	天保13年(1842)	H24.1.27～2.6	
99	簡齋記 頼山陽筆	1巻	文政13年(1830)	H24.1.27～3.5	
100	書状 山県大武筆	1幅	江戸時代中期	H24.1.27～3.5	
101	行書三字額 木仙居 貫名海屋筆	1面	安政6年(1859)	H24.1.27～3.5	
102	郷土作家扇面			H24.1.27～3.5	
	1 富岳図 三枝雲岱筆	1面	明治31年(1898)	H24.1.27～3.5	
	2 歳寒二雅図 野口小蘋筆	1面	大正3年(1914)	H24.1.27～3.5	
	3 富岳図 中沢年章筆	1面	明治時代～大正時代	H24.1.27～3.5	
	4 漁翁図 渡辺雪峰筆	1面	明治35年(1902)	H24.1.27～3.5	
	5 霜溪暮翠図 中丸精十郎筆	1面	江戸時代末期～明治時代	H24.1.27～3.5	
6 蘭霊芝図 近藤東来筆	1面	明治時代～大正時代	H24.1.27～3.5		
103	春山明窓図 野口小蘋筆	1幅	明治9年(1875)	H24.1.27～3.5	
104	茉莉花園 野口小蘋筆	1幅	明治時代	H24.1.27～3.5	
105	煙管入れ 初代中村蘭台作	1点	明治15年(1882)	H24.1.27～3.5	
106	覺円峰図 近藤東来筆	1幅	大正4年(1915)	H24.1.27～3.5	
107	玉堂富貴図(大木氏古稀記念書画帖のうち) 三枝雲岱筆	1帖	明治17年(1884)	H24.1.27～3.5	
108	草書文語 三条実美筆	1幅	江戸時代末期～明治時代	H24.1.27～3.5	
109	甲斐猿橋図 富岡鉄斎筆	1幅	明治時代	H24.1.27～3.5	
110	顔真卿図 富岡鉄斎筆	1幅	明治時代	H24.1.27～3.5	
111	風景画 中丸精十郎筆	1点	明治時代	H24.1.27～3.5	
112	高林古翠図 中丸精十郎筆	4面	明治5年(1872)	H24.1.27～3.5	
113	草書二字額 翁姿 貫名海屋筆	1面	江戸時代後期	H24.1.27～3.5	
114	茶会記	1点	明治27年(1894)	H24.1.27～3.5	
115	進徳社主意書	1点	明治12年(1879)	H24.1.27～3.5	甲州文庫
116	行書七言絶句 肅親王筆	1幅	清代	H24.1.27～3.5	
117	峡中名々相撲番附	1点	明治24年(1891)	H24.1.27～3.5	県立博物館収集資料
118	謝恩碑建立記念品	1点	大正11年(1922)	H24.1.27～3.5	
119	おふどう呉服店閉店葉書	1点	昭和18年(1943)	H24.1.27～3.5	

【展示平面図】



## ②シンボル展

- i 恩賜林御下賜100周年記念事業協賛  
やまなしの森と人ー百年のあゆみー

【会 期】平成23年5月21日（土）から同年6月27日（月）まで  
会期日数38日、展示日数33日

【主 催】山梨県立博物館、恩賜林御下賜100周年記念事業実行委員会

【入場者数】5,435人

【担 当】学芸員 小畑茂雄、丸尾依子

## 【概 要】

平成23年（2011）は、明治44年（1911）3月11日に明治天皇から山梨県へ御料林が御下賜されてから100周年にあたり、林業を中心とした山の恵みと本県の人々の関わりや歴史や、山にまつわる信仰関係の資料、林業で使用されたトロッコの実物など資料100点を展示し、また恩賜林を中心とした戦前戦後の林業関係写真約100点を展示した。

本展の開催にあたっては、山梨県森林環境部との協働により企画準備を進め、恩賜林御下賜100周年記念事業実行委員会との共催で実施した。森林環境部との協働は、林業関係の資料や情報の収集、借用などにおいて有利に働き、県の林務関係部署で保管されていた甲斐国絵図（本展では展示せず）が確認されるなどの成果があった。

本展を通じ、環境と人との関係や森林の役割、転機を迎える山梨県の林業について、利用者に理解を深めて頂くきっかけになったほか、林業関係者の子や孫をはじめ、山梨の林業の隆盛時代を知らない世代から、「（父や祖父が）どのような仕事をしているのかが分かって良かった」との声が多く寄せられた。

## 【関連イベント】

## ■学芸員によるギャラリー・トーク

- ・日 時 平成23年6月5日（日）、26日（日）  
午後3時から1時間程度

※その他の開館日にも展示交流員によるガイドツアーを実施 午後3時から30分間程度

## ■木をつかってあそぼう！「ヒノキのおほしをつくってみよう」

- ・日 時 平成23年5月22日（日）午前10時30分～午後3時
- ・場 所 体験学習室
- ・講 師 泰楽 正 氏（山梨県木材協会）

## ■楽つみ木広場

- ・日 時 平成23年6月19日（日）  
①午前10時～午前12時、②午後1時30分～午後3時30分
- ・場 所 エントランスロビー
- ・講 師 木楽舎 つみ木研究所

## 【出品資料一覧】

番号	資 料 名	種類	数量 (資料)	数量 (写真)	所 蔵 者	時代 (世紀・制作年)
1	ツキノワグマ	資料	1	1	個人蔵	現代
第I章 森林の利用と明治40年の大水害						
江戸時代のやまなしの森						
2	甲斐国絵図	資料	1		県立博物館（甲州文庫）	文政8年（1825）
3	中牧小物成山出入裁許絵図	資料	1		県立博物館（広瀬家文書）	享保15年（1730）
4	中牧入会山林場起し返し復旧借置引請証文	資料	1		県立博物館（広瀬家文書）	慶応4年（1868）
5	東山梨郡諏訪村略図	資料	1		県立博物館（頼生文庫）	明治14年（1881）
6	新倉村湯島村御林山林材木請負につき一札	資料	1		県立博物館（甲州文庫）	延宝2年（1674）
7	湯島山新倉山林材木請負困難に付召上げられ方願書	資料	1		県立博物館（甲州文庫）	延宝5年（1677）
8	献納材木数他書上帳	資料	1		県立博物館保管資料	天保15年（1844）



展示風景

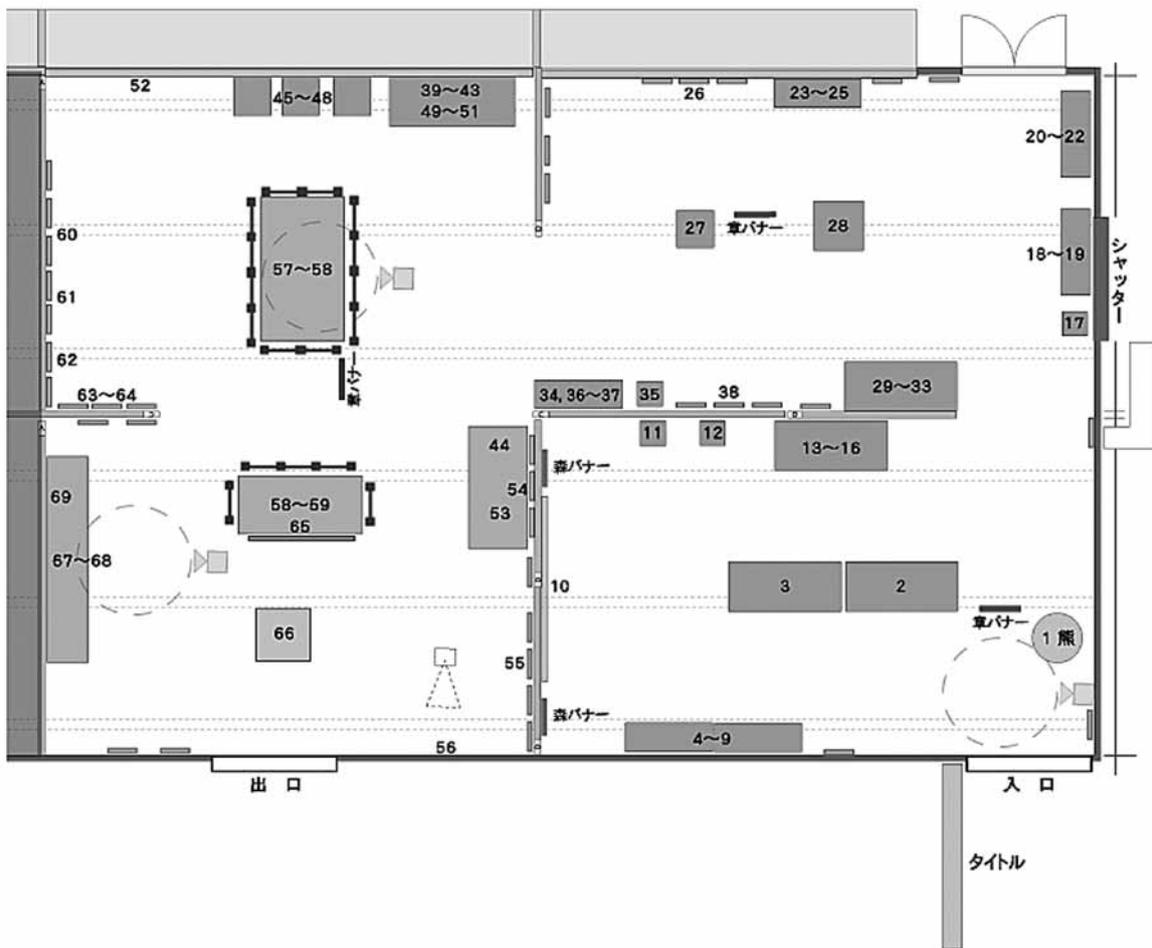


展示風景

番号	資料名	種類	数量 (資料)	数量 (写真)	所蔵者	時代 (世紀・制作年)
9	根伐木数千五百本他国出し川下げに付	資料	1		県立博物館保管資料	天明6年(1786)
10	山仕事の道具	資料	13		個人蔵	近現代
11	山にまつわる信仰のツクリモノ	資料	1		県立博物館	現代
12	山の神の弓矢	資料	1		県立博物館	現代
13	山の神の奉納物	資料	1		県立博物館	現代
14	カドオトコ	資料	1		県立博物館	平成17年(2005)
15	カドオトコと小正月のツクリモノ	資料	1		県立博物館	昭和
16	奈良田の小正月のツクリモノ	資料	1		県立博物館	現代
明治時代のやまなしの森						
17	御料局静岡支庁管内略図	資料	1		県立博物館(甲州文庫)	明治20～30年代
18	山梨県布達 明治十六年	資料			県立博物館(甲州文庫)	明治16年(1883)
19	山梨県報 明治二十三年	資料	1		県立博物館(甲州文庫)	明治23年(1890)
20	山梨県会ト森林問題	資料	1		県立博物館(甲州文庫)	明治36年(1903)
21	『山梨県山林救済意見』	資料	1		県立博物館(甲州文庫)	明治35年(1902)
22	『山梨県ノ森林整治』	資料	1		県立博物館(甲州文庫)	明治36年(1903)
明治40年の大水害						
23	『山梨県水害史』	資料	1		県立博物館(甲州文庫)	明治44年(1911)
24	明治四十年八月山梨県下水害地巡視日記	資料	1		県立博物館(古文書雑輯(2))	明治40年(1907)
25	水害写真集	資料	1		県立博物館(甲州文庫)	明治40年(1907)
26	水害被害写真	写真パネル		12		
第二章 恩賜林の誕生						
恩賜林御下賜						
27	御沙汰書	資料	1		県森林環境部	明治44年(1911)
28	山梨山林地図	資料	1		県立博物館(頼生文庫)	明治末～大正初期
29	入会山境界に関する書類	資料	1		県私学文書課	明治10年代
30	林業に関する調査書類	資料	1		県私学文書課	明治40年(1907)
31	恩賜県有財産調査委員会に関する書類	資料	1		県私学文書課	明治44年(1911)
32	恩賜県有財産関係文書	資料	1		県私学文書課	明治44年(1911)
33	帝室林野管理局引継目録	資料	1		県私学文書課	明治44年(1911)
34	恩賜林絵はがき	資料	1		県立博物館	昭和初期
謝恩碑の建設						
35	謝恩碑模型	資料	1		県立博物館(大木家資料)	大正時代
36	恩賜林御下賜記念 謝恩碑竣成記念絵葉書	資料	1		県立博物館	大正11年(1922)
37	謝恩碑正面図	資料	1		県立博物館(頼生文庫)	大正時代
38	採石現場写真	写真パネル		11	(社)山梨県恩賜林組合連合会	
第三章 森林の恵みとの現在						
恩賜林の仕事と山の恵み						
39	横びき鋸	資料	1		山梨県森林総合研究所	近現代
40	前びき大鋸	資料	1		山梨県森林総合研究所	近現代
41	笹刃鋸	資料	1		江本隆一氏	近現代
42	輪尺	資料	1		山梨県森林総合研究所	近現代
43	養	資料	1		山梨県森林総合研究所	近現代
44	初期の山梨県ヘルメット(アルミ製)	資料	1		山梨県森林総合研究所	昭和30年代
45	作業用法被	資料	1		峡南林務環境事務所	昭和戦後
46	作業用法被	資料	1		個人蔵	昭和戦後
47	作業用法被	資料	1		個人蔵	昭和戦後
48	作業用帽子	資料	4		個人蔵	昭和戦後
49	携帯用電話機	資料	1		山梨県森林総合研究所	昭和戦後
50	齋口	資料	1		山梨県森林総合研究所	近現代
51	山作業の弁当箱	資料	1		山梨県森林総合研究所	近現代
52	恩賜林関係の看板類	資料	6		山梨県森林総合研究所	昭和戦後
53	山梨県マークのチェーンソー	資料	3		山梨県森林総合研究所	昭和30～40年代
54	のこぎりの写真パネル	写真パネル		6		
55	林業の様子写真パネル	写真パネル		10		
56	恩賜林御下賜五十周年式典	DVD	1	1	峡東林務環境事務所	昭和36年(1961)
木材の輸送と森林軌道						
57	トロッコ	資料	1		武田の杜森林学習展示館	昭和初期
58	恩賜林から切り出した丸太	資料	2		山梨県森林総合研究所	現代
59	木馬	資料	1		山梨県森林総合研究所	昭和初期

番号	資料名	種類	数量 (資料)	数量 (写真)	所蔵者	時代 (世紀・制作年)
60	トロッコの写真パネル	写真パネル		16		
61	インクラインの写真パネル	写真パネル		8		
62	索道の写真パネル	写真パネル		9		
63	林道の写真パネル	写真パネル		3		
64	木馬の写真パネル	写真パネル		3		
65	木馬の写真紗幕	紗幕		1		
やまなしに育つ木たち						
66	年輪で見る百年	資料	1		山梨県森林総合研究所	平成
67	木材見本	資料	12		県民の森	平成
68	木の実見本	資料	10		山梨県森林総合研究所	平成
69	林相の写真パネル	写真パネル		15		

【展示平面図】



ii 川中島の戦いー戦後450年ー

【会 期】平成23年9月10日（土）から同年9月26日（月）まで  
会期日数17日、展示日数15日

【主 催】山梨県立博物館

【入場者数】2,298人

【担 当】学芸員 海老沼真治、小畑茂雄

【概 要】

武田信玄と上杉謙信が争った第四次川中島の戦い（永禄4年・1561）から450年の節目にあたり、前後12年、5回にわたって展開した合戦を通覧するとともに、もっとも激しい戦闘となり、一騎打ちなどの伝説が作られた4回目の戦いが、江戸時代以降さまざまな形で流布した様子を紹介した。なお本展は、山梨県観光推進機構・山梨県立図書館・山梨県工業技術センターとの共催イベント「第四次川中島合戦450周年リレーイベント」の一環として開催し、終了後は展示資料と解説パネルの一部が信玄公宝物館において展示された（平成23年9月28日から同年12月18日まで）。



展示会ちらし

【関連イベント】

■学芸員によるギャラリー・トーク

・日 時 平成23年9月11日（日）、19日（月・祝）、25日（日）  
午後3時から1時間程度

※その他の開館日にも展示交流員によるガイドツアーを実施  
午後3時から30分間程度

■大川原 潤 作「甲州軍団出陣図」展示

・日 時 平成23年9月10日（土）から同年9月26日（月）まで  
・場 所 企画展示室入口前  
・協 力 大川原 潤 氏



展示風景

■やまなし再発見講座「川中島合戦」

・主 催 山梨県立博物館、山梨県生涯学習推進センター  
・日 時 平成23年8月18日（木）、25日（木）、9月15日（木）、22日（木）  
午前10時～午前12時、合計4回開催  
・場 所 山梨県生涯学習推進センター  
・講 師 平山 優（副主幹）、植月 学（学芸員）、近藤暁子（同）、海老沼真治（同）

【出品資料一覧】

番号指定	資 料 名	員数	所蔵者	時代（世紀・制作年）	法量（縦×横 cm）
1	河中嶋大合戦	1点	山梨県立博物館	江戸時代	49.0×36.5
2	武田・上杉 川中嶋大合戦の図	1点	山梨県立博物館	江戸時代	37.0×77.4
3	信州川中嶋合戦地理図	1点	山梨県立博物館	嘉永2年（1849）	134.6×96.7
4	勝山古記	1冊	個人	江戸時代	27.5×19.0
5	妙法寺記 下	1冊	山梨県立博物館	江戸時代	19.1×13.0
6	武田晴信感状	1通	個人	天文24年（1555）	18.3×46.0
7	武田晴信書状写（「並山日記」巻五より）	1通	山梨県立博物館	弘治元年（1555）	26.2×19.5
8	信州川中嶋武田上杉和睦図	1点	山梨県立博物館	江戸時代	34.9×73.3
9	筑摩川対陣	1点	山梨県立博物館	江戸時代	34.8×122.8
10	武田信繁書状	1通	個人	弘治3年（1557）か	26.1×35.1
11	武田晴信感状	1通	個人	弘治3年（1557）	19.3×46.3
12	○ 武田晴信書状写（市河家文書）	1通	山梨県立博物館	弘治3年（1557）	32.3×38.6
13	○ 武田晴信書状（市河家文書）	1通	山梨県立博物館	弘治3年（1557）	28.0×40.8
14	武田晴信感状	1通	個人	弘治3年（1557）	19.4×40.4
15	菱川辰政 川中嶋合戦図	1幅	山梨県立博物館	江戸時代	48.0×68.0
16	武田甲斐国領土出城見取図のうち 海津城	2点	山梨県立博物館	江戸時代	48.4×50.0 40.2×54.3
17	甲陽軍大全	1冊	山梨県立博物館	延宝8年（1680）	27.2×19.4
18	甲陽軍鑑	4冊	山梨県立博物館	江戸時代	各26.6×19.0
19	古戦図	1点	山梨県立博物館	江戸時代	39.9×58.9
20	信州川中嶋甲越合戦陣取略絵図	1点	山梨県立博物館	江戸時代	40.1×59.0
21	川中嶋合戦図	1点	山梨県立博物館	江戸時代	54.6×80.8

番号	指定	資料名	員数	所蔵者	時代(世紀・制作年)	法量(縦×横 cm)
22		甲越信戦録	4冊	山梨県立博物館	江戸時代	各26.8×19.0
23	○	武田家朱印状(市河家文書)	1通	山梨県立博物館	永禄11年(1568)	31.5×46.1
24		日本外史	6冊	山梨県立博物館	文政12年(1829)	各18.6×12.8
25		甲越川中嶋軍記	4冊	山梨県立博物館	嘉永4年(1851)	各18.0×11.9
26		川中嶋烈戦美譚	2冊	山梨県立博物館	安政6年(1859)	各17.9×11.7
27		北越太平記(北越軍記)	17冊	山梨県立博物館	宝永8年(1711)	各26.3×18.4
28		就御尋書上候信州川中島五箇度合戦之次第	1冊	山梨県立博物館	文政11年(1828)	29.9×17.9
29		川中島古戦場之遺蹟	1点	山梨県立博物館	明治41年(1908)	51.8×78.3
30		川中島古戦場一ト廻り案内記	1冊	山梨県立博物館	明治41年(1908)	14.8×11.0
31		川中島の戦 附史蹟探訪案内	1冊	山梨県立博物館	昭和5年(1930)	18.6×12.8
32		川中島合戦	1点	山梨県立博物館	江戸時代	34.8×73.1
33		川中島大合戦 備を立て直す図	1点	山梨県立博物館	江戸時代	35.6×74.3
34		川中島合戦図	1点	山梨県立博物館	江戸時代	23.1×33.4
35		川中島勘助勇戦ノ図	1点	山梨県立博物館	江戸時代	35.0×72.0
36		役者絵 川中島合戦	1点	山梨県立博物館	明治9年(1876)	37.3×72.0

【展示平面図】



iii 特別公開 戦国時代の甲州金

【会 期】 平成24年1月2日(月)から同年1月16日(月)まで

会期日数15日、展示日数14日

【主 催】 山梨県立博物館

【会 場】 企画展示室

【入場者数】 1,531人

【担 当】 学芸員 海老沼真治、香名貴彦

【概 要】

平成23年10月に収集した新資料「甲州金」を広く県民に紹介するため、特別公開として展示を行った。

【関連イベント】

■学芸員によるギャラリー・トーク

・日 時 平成24年1月2日(月)、3日(火)、15日(日)

午後3時から1時間程度

【出品資料一覧】

番号	資料名	員数	年代	所蔵先
1	甲州金(碁石金・蛭藻金)	20点	戦国時代	山梨県立博物館
2	出土銭貨	1括	唐~明代	山梨県立博物館
3	甲陽軍鑑	1冊	江戸時代	山梨県立博物館
4	江戸幕府奉行人連署状写(若尾資料「松本文書」のうち)	1点	江戸時代	山梨県立博物館
5	甲斐国志	1冊	江戸時代	山梨県立博物館
6	金銀図録	7冊	江戸時代	山梨県立博物館

【展示平面図】 iv 縄文王国やまなし展の展示平面図を参照

iv 縄文王国やまなし展

【会 期】平成24年1月2日（月）から同年1月16日（月）まで  
会期日数15日、展示日数14日

【主 催】山梨県立博物館

【担 当】学芸・企画交流課長 中山誠二、学芸員 丸尾依子

【概 要】

山梨県は、縄文時代の遺跡に関し質量共に日本国内でも有数の地域で、「縄文王国」にふさわしい地域である。本展は、県内各館と連携して山梨の縄文文化のすばらしさを広くPRすることを目的として、各館の所蔵する縄文土器や石器などを中心に紹介をした。

【関連イベント】

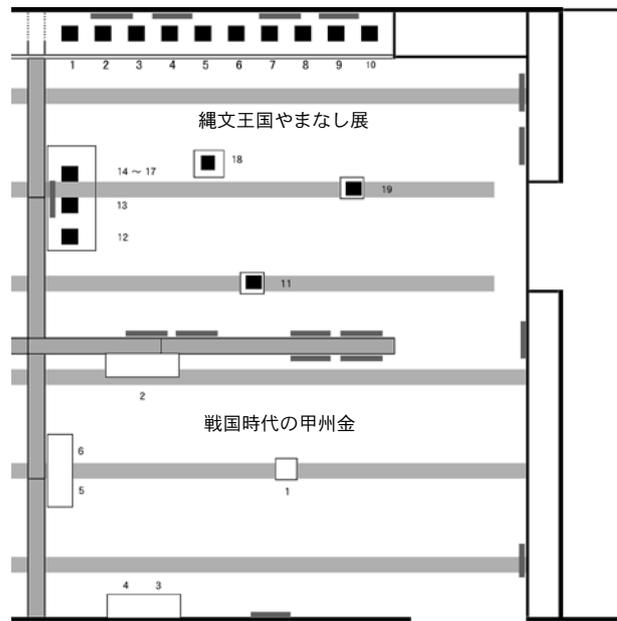
■学芸員によるギャラリー・トーク

- ・日 時 平成24年1月2日（月）、3日（火）、15日（日）  
午後3時から1時間程度

【出品資料一覧】

番号	資料名	員数	遺跡名	時代	所蔵者
1	深鉢	1	海堂前C遺跡	縄文時代中期	山梨県立考古博物館
2	深鉢	1	上の平遺跡	縄文時代中期	山梨県立考古博物館
3	深鉢	1	安道寺遺跡	縄文時代中期	山梨県立考古博物館
4	深鉢	1	重郎原遺跡	縄文時代中期	山梨県立考古博物館
5	土偶	1	七日子遺跡	縄文時代中期	山梨県立博物館
6	土偶	1	山梨市立石	縄文時代中期	山梨県立博物館
7	土偶	1	山梨市立石	縄文時代中期	山梨県立博物館
8	深鉢（藤内式）	1	不明	縄文時代中期	山梨県立博物館
9	深鉢（藤内式）	1	不明	縄文時代中期	山梨県立博物館
10	釣手土器	1	七日子遺跡	縄文時代中期	山梨県立博物館
11	縄文の仮面小町「ウーラ」のレプリカ	1	後田遺跡	縄文時代後期	韭崎市民俗資料館
12	尖底土器	1	古屋敷遺跡	縄文時代早期	富士吉田市歴史民俗博物館
13	尖底土器	1	古屋敷遺跡	縄文時代早期	富士吉田市歴史民俗博物館
14	両頭石棒	1	小淵沢町内出土	縄文時代中期	北杜市考古資料館
15	両頭石棒	1	原家の前遺跡	縄文時代	北杜市考古資料館
16	有頭石棒	1	古林第4遺跡	縄文時代中期	北杜市考古資料館
17	有頭石棒	1	寺所第2遺跡	縄文時代中期	北杜市考古資料館
18	人体文様付有孔鏝付土器レプリカ	1	鍔物師屋遺跡	縄文時代中期	南アルプス市ふるさと文化伝承館
19	円錐形土偶レプリカ	1	鍔物師屋遺跡	縄文時代中期	南アルプス市ふるさと文化伝承館

【展示平面図】



(3) 展覧会関係刊行物

	名 称	発行年月日	体 裁
1	『北齋と広重』ふたりの富嶽三十六景』展図録	平成22年3月30日改訂（第2版）	A4版 157頁
2	『北齋の富士 北齋と甲斐の国』（『北齋の富嶽三十六景』展リーフレット）	平成23年3月19日	A4版 24頁
3	『やまなしの森と人―百年のあゆみ―』展リーフレット	平成23年5月21日	A4版 4頁
4	『すごい虫』（『歴史の中の昆虫たち』展図録）	平成22年6月18日	A4版 68頁（発行 株式会社デコ）
5	『歴史の中の昆虫たち』展リーフレット	平成23年7月9日	A4版 8頁
6	『川中島の戦い―戦後450年―』リーフレット	平成23年9月10日	A4版 4頁
7	『柳沢吉保と甲府城』展図録	平成23年10月8日	A4版変形 176頁
8	『おふどうと名乗った家―豪商 大木家の350年―』展図録	平成24年1月27日	A4版変形 171頁



1



2



3



4



5



6



7



8

## 第5章 企画交流事業

## (1) 生涯学習サービス事業

## ① 講演会・講座・シンポジウム等

## ■ 講演会

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者(人)
平成23年4月24日(日)	田代 博 (日本国際地図学会評議員)	「デジタルで読み解く 富嶽三十六景」	県立博物館	99

## ■ 講座

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者(人)
平成23年5月15日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 古代地方行政のしくみ」	県立博物館	72
7月17日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 古代の地方都市-国府1」	県立博物館	59
9月18日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 古代の地方都市-国府2」	県立博物館	58
11月20日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 民俗信仰の源流を求めて」	県立博物館	69
平成24年1月15日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 海の道・川の道」	県立博物館	50
3月18日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 東アジア交流の原点“文字”」	県立博物館	43
平成23年4月9日(土)	西川広平(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 はじめての古文書1」	県立博物館	54
5月14日(土)	高橋 修(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 はじめての古文書2」	県立博物館	62
6月11日(土)	小畑茂雄(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 近現代の古文書を読む1」	県立博物館	72
7月9日(土)	小畑茂雄(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 近現代の古文書を読む2」	県立博物館	69
8月13日(土)	平山 優(当館副主幹)	「かいじあむ古文書講座 川中島の戦いの古文書を読む1」	県立博物館	71
9月10日(土)	平山 優(当館副主幹)	「かいじあむ古文書講座 川中島の戦いの古文書を読む2」	県立博物館	100
10月8日(土)	高橋 修(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 甲府城ゆかりの古文書を読む」	県立博物館	71
11月12日(土)	西川広平(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 柳沢吉保ゆかりの古文書を読む」	県立博物館	79
平成24年1月14日(土)	宮澤富美恵(当館職員)	「かいじあむ古文書講座 甲州文庫を読む」	県立博物館	76
2月11日(土)	海老沼真治(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 甲府の豪商 大木家の古文書を読む」	県立博物館	106
3月10日(土)	海老沼真治(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 武田氏の滅亡に関する古文書を読む」	県立博物館	86
平成23年4月9日(土)	—	「古文書相談1」	県立博物館	5
5月14日(土)	—	「古文書相談2」	甲州市民文化会館	3
6月11日(土)	—	「古文書相談3」	県立博物館	1
7月9日(土)	—	「古文書相談4」	上野原市文化ホール	1
8月13日(土)	—	「古文書相談5」	県立博物館	2
9月17日(土)	—	「古文書相談6」	富士川町公民館	1
10月8日(土)	—	「古文書相談7」	県立博物館	3
10月29日(土)	—	「古文書相談8」	南部町総合会館	2
平成24年1月14日(土)	—	「古文書相談9」	県立博物館	6
2月11日(土)	—	「古文書相談10」	県立博物館	5

## ■ シンポジウム

日時	内容	開催場所	参加者(人)
平成23年10月30日(日)	山梨県立博物館、甲府市、山梨郷土研究会、山梨県考古学協会、武田氏研究会主催 「柳沢吉保と甲府城」シンポジウム 福留真紀氏(長崎大学准教授)「幕府政治における柳沢吉保」 島内景二氏(電気通信大学教授)「日本文化の分水嶺と柳沢吉保」 宮里 学氏(県埋蔵文化財センター)「発掘成果からみた甲府城・甲府城下町」 パネルディスカッション 司会：高橋 修(当館学芸員) パネラー：福留真紀氏、島内景二氏、宮里 学氏、西川広平(当館学芸員)	山梨県総合教育センター	190

## ■ やまなし再発見講座・かいじあむ講座(山梨県生涯学習推進センターと共催)

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者(人)
平成23年8月18日(木)	植月 学(当館学芸員)	「馬から見た武田の騎馬隊」	山梨県生涯学習推進センター	143
8月25日(木)	近藤暁子(当館学芸員)	「武田氏の信仰」	山梨県生涯学習推進センター	153
9月15日(木)	平山 優(当館副主幹)	「川中島合戦の実像」	山梨県生涯学習推進センター	155
9月22日(木)	海老沼真治(当館学芸員)	「山本菅助と川中島の戦い」	山梨県生涯学習推進センター	136
10月20日(木)	西川広平(当館学芸員)	「柳沢吉保と江戸幕府」	山梨県生涯学習推進センター	85

10月27日(木)	高橋 修(当館学芸員)	「柳沢氏による甲斐国統治の実像」	山梨県生涯学習推進センター	94
11月10日(木)	井澤英理子(当館学芸員)	「柳沢氏ゆかりの美術」	山梨県生涯学習推進センター	100
11月17日(木)	宮澤富美恵(当館学芸員)	「柳沢時代の甲府城下の生活」	山梨県生涯学習推進センター	92
講演会・講座・シンポジウム等参加者数合計				2,473

## ②体験プログラム

日 時	内 容	開催場所	参加者(人)
平成23年 4月16日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	13
5月21日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	9
6月18日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	7
7月16日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	7
8月20日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	15
9月17日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	18
10月15日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	19
11月19日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	10
12月17日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	9
平成24年 1月21日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	13
2月18日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	46
3月17日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	7
平成23年 4月24日(日)	かいじあむ子ども工房「立体浮世絵を作ってみよう！」	県立博物館	25
5月22日(日)	かいじあむ子ども工房「木をつかってあそぼう！」	県立博物館	70
6月26日(日)	かいじあむ子ども工房「鳴くセミを作ろう！」	県立博物館	40
7月24日(日)	かいじあむ子ども工房「ペーパークラフトで昆虫を作ろう1」	県立博物館	80
8月28日(日)	かいじあむ子ども工房「ペーパークラフトで昆虫を作ろう2」	県立博物館	74
9月25日(日)	かいじあむ子ども工房「木の実でおもちゃを作ろう！」	県立博物館	10
10月23日(日)	かいじあむ子ども工房「柳沢吉保にまつわる歌と語りと音の会」(演奏：甲斐りょうじん)	県立博物館	79
11月27日(日)	かいじあむ子ども工房「茶道を体験してみよう！」(菊嶋清子 氏)	県立博物館	46
12月25日(日)	かいじあむ子ども工房「お正月の凧を作ろう！」	県立博物館	31
平成24年 1月22日(日)	かいじあむ子ども工房「節分のお面を作ろう！」	県立博物館	25
2月26日(日)	かいじあむ子ども工房「金粉で絵を描こう！」	県立博物館	74
3月25日(日)	かいじあむ子ども工房「立体浮世絵を作ろう！」	県立博物館	29
平成23年 5月 3日(火)	かいじあむ子ども祭り	県立博物館	117
5月 4日(水)	かいじあむ子ども祭り	県立博物館	168
5月 5日(木)	かいじあむ子ども祭り	県立博物館	445
5月 7日(土)	浮世絵版画の錦絵刷りの実演(アダチ伝統木版画技術保存財団)	県立博物館	191
6月19日(日)	薬つみ木広場(木薬舎 つみ木研究所)	県立博物館	120
7月31日(日)	石でムシを作ってみよう(佐藤正和重孝 氏)	県立博物館	32
8月13日(土)	かいじあむの夏祭り	県立博物館	556
8月14日(日)	かいじあむの夏祭り	県立博物館	613
11月20日(日)	かいじあむの秋祭り	県立博物館	663
平成24年 1月 2日(月)	かいじあむのお正月	県立博物館	214
1月 3日(火)	かいじあむのお正月	県立博物館	298
1月14日(土)	小正月のまゆ玉作り	県立博物館	50
2月18日(土)	ハーモニカコンサート(演奏：金子 敬 氏)	県立博物館	69
2月18日(土)	シイタケを植えてみよう	県立博物館	108
3月 3日(土)	民俗芸能イベント 太神楽の実演(演者：鏡味仙三 氏・鏡味仙花 氏)	県立博物館	132
3月24日(土)	ウクライナの歌姫 ナターシャ・グジーコンサート(演奏：ナターシャ・グジー 氏)	県立博物館	411
体験プログラム参加者数合計			4,943

## ③その他

展示交流員が毎週土曜日に常設展示の見どころを案内する「常設展スルーガイド」、同じく毎週日曜日に体験型展示を案内する「あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば」を定期的を実施した。

(2) 博学連携

①かいじあむティーチャーズクラブ

i 会員の状況

学校の教職員が入会しやすくなるように、入会手続きの簡略化及び活動内容の範囲を広げたことで会員数が増加した。会員数は2,461名(平成24年3月末)で、前年度実績2,151名からさらに増加した。また、平成23年度教職員による視察件数は1,842件である。

ii 会員数

校 種	会員数(人)
小学校	893
中学校	401
高等学校	1,008
教育庁	78
総合教育センター	56
市町村他	25
総 計	2,461

iii 活動実績

- ・平成23年6月9日(木) 第1回研究会 実践研究の進め方の提案等
- ・同 8月10日(水) 夏季研修会 展示の教材化について
- ・同 8月18日(木) 夏季研修会 展示の教材化について
- ・平成24年2月16日(木) 第2回研究会 実践研究発表、意見交換等
- ・同 3月26日(月) 『博物館活用事例集⑧』発行

②授業の一環としての博物館利用

■授業の一環としての博物館利用一覧

番号	来館日	学 校 名	人数(人)		番号	来館日	学 校 名	人数(人)	
			児童・生徒	引率				児童・生徒	引率
1	4月13日(水)	青森山田高校山梨校	13	3	31	5月20日(金)	上野原中学校	131	9
2	4月14日(木)	須玉中学校	61	6	32	5月20日(金)	甲陽学園	1	4
3	4月14日(木)	青森山田高校山梨校	18	3	33	5月20日(金)	笹南中学校(桜木分校)	3	7
4	4月15日(金)	中富中学校(班別行動)	4	0	34	5月20日(金)	押原中学校(班別行動)	16	0
5	4月15日(金)	鯉沢中学校(班別行動)	8	0	35	5月25日(水)	山梨大学附属小学校	95	14
6	4月15日(金)	増穂中学校(班別行動)	3	0	36	5月25日(水)	小立小学校	61	5
7	4月20日(水)	高根東小学校	28	2	37	5月26日(木)	敷島中学校	4	0
8	4月20日(水)	玉穂中学校(班別行動)	14	1	38	5月26日(木)	丹波中学校	4	4
9	4月22日(金)	玉幡中学校(班別行動)	9	0	39	5月27日(金)	忍野小学校	122	5
10	4月27日(水)	石和こすもす教室(中学生)	7	4	40	5月28日(土)	江戸川女子高校	172	8
11	5月11日(水)	久那土中学校	12	4	41	5月30日(月)	江戸川女子高校	166	8
12	5月11日(水)	鯉沢小学校	41	4	42	6月2日(木)	御殿場市立原里中学校	143	8
13	5月11日(水)	鯉沢中部小学校	1	1	43	6月11日(土)	都留高校(定時制)	13	6
14	5月12日(木)	長坂中学校	27	2	44	6月15日(水)	目黒第九中学校	82	11
15	5月12日(木)	双葉中学校(班別行動)	5	0	45	6月19日(日)	御坂西小学校	11	0
16	5月12日(木)	楯形中学校(班別行動)	8	0	46	6月22日(水)	笛吹高校	221	12
17	5月12日(木)	白根巨摩中学校(班別行動)	11	0	47	7月1日(金)	泉中学校	45	5
18	5月12日(木)	白根御勅使中学校(班別行動)	2	0	48	7月1日(金)	白州中学校	33	5
19	5月12日(木)	田富中学校(班別行動)	24	0	49	7月6日(水)	笛吹高校	221	12
20	5月13日(金)	玉穂南小学校	41	3	50	7月8日(金)	大塚ろう学校	47	23
21	5月13日(金)	谷村第一小学校	70	5	51	7月8日(金)	甲府東高校	1	1
22	5月13日(金)	河口湖北中学校	72	7	52	7月8日(金)	山梨北中学校インターン	3	1
23	5月13日(金)	小淵沢中学校(班別行動)	12	0	53	7月9日(土)	目黒区立東山小学校	186	17
24	5月15日(日)	御徒町台東中学校	109	9	54	7月13日(水)	落合小学校	27	2
25	5月16日(月)	都留第二中学校(班別行動)	7	0	55	7月14日(木)	泉小学校	39	2
26	5月18日(水)	都留第一中学校	101	7	56	7月14日(木)	成立学園中学校	46	8
27	5月18日(水)	勝山小学校	30	3	57	7月14日(木)	青森山田高校山梨校	20	2
28	5月18日(水)	島田中学校	22	3	58	7月15日(金)	中央高校	102	11
29	5月19日(木)	秋山中学校	20	3	59	7月15日(金)	青森山田高校山梨校	20	2
30	5月19日(木)	上野原西中学校	38	3	60	7月21日(木)	進徳幼稚園	62	13

番号	来館日	学 校 名	人数 (人)		番号	来館日	学 校 名	人数 (人)	
			児童・生徒	引率				児童・生徒	引率
61	7月25日 (月)	山梨学院大学附属小学校	37	2	113	10月21日 (金)	竜王北小学校	63	4
62	7月25日 (月)	敷島児童館	29	4	114	10月21日 (金)	敷島北小学校	44	4
63	7月27日 (水)	山梨学院大学附属小学校	37	2	115	10月21日 (金)	甲府東小学校	84	5
64	7月27日 (水)	笛吹高校	20	1	116	10月21日 (金)	強瀬小学校	11	2
65	7月27日 (水)	山梨高校インターン	6	1	117	10月21日 (金)	西浜小学校	15	3
66	7月27日 (水)	中央高校インターン	6	1	118	10月21日 (金)	須玉小学校	55	4
67	7月28日 (木)	都留児童相談所	12	8	119	10月26日 (水)	白州中学校	28	3
68	7月30日 (土)	あいかわ・かすがいふれあい交流団	69	27	120	10月27日 (木)	上野小学校	28	3
69	8月3日 (水)	敷島児童館	30	4	121	10月27日 (木)	舞鶴小学校	61	4
70	8月11日 (木)	甲府東中インターン	6	1	122	10月27日 (木)	甲府北東中学校	10	1
71	8月11日 (木)	春日居中インターン	4	1	123	10月28日 (金)	上条中学校	137	7
72	8月18日 (木)	敷島児童館	30	4	124	10月28日 (金)	長坂小学校	37	3
73	8月18日 (木)	国玉保育園	39	5	125	11月4日 (金)	韮崎北東小学校	88	5
74	8月26日 (金)	目黒東山中学校	186	15	126	11月4日 (金)	中道南小学校	2	1
75	8月28日 (日)	昭和町子どもスポーツ教室	40	10	127	11月4日 (金)	穂坂小学校	19	2
76	9月2日 (金)	石田小学校	75	4	128	11月7日 (月)	若草小学校	89	6
77	9月12日 (月)	横浜市立中村小学校	19	2	129	11月9日 (水)	御坂中インターン	9	1
78	9月16日 (金)	山城小学校	143	7	130	11月10日 (木)	竜王西小学校	50	4
79	9月28日 (水)	小高工業高校	86	8	131	11月10日 (木)	甲府南中学校	8	3
80	9月29日 (木)	道志小学校	30	4	132	11月14日 (月)	豊小学校	59	4
81	9月30日 (金)	相川小学校	68	4	133	11月14日 (月)	武川中学校	83	10
82	9月30日 (金)	島田小学校	16	3	134	11月14日 (月)	市川南小学校	23	2
83	9月30日 (金)	山梨小学校	94	6	135	11月16日 (水)	山梨高校	110	6
84	9月30日 (金)	里垣小学校	63	3	136	11月16日 (水)	山梨高校	81	6
85	10月3日 (月)	下山小学校	6	2	137	11月17日 (木)	駿台甲府小学校	72	5
86	10月5日 (水)	貢川小学校	72	3	138	11月17日 (木)	武川小学校	28	2
87	10月6日 (木)	玉諸小学校	117	5	139	11月17日 (水)	甲斐清和高校	35	1
88	10月6日 (木)	都留文大附属小学校	27	4	140	11月23日 (水)	笛吹高校インターン	15	1
89	10月7日 (金)	日野春小学校	24	4	141	11月24日 (木)	一宮西小学校	121	4
90	10月7日 (金)	朝日小学校	44	4	142	11月24日 (木)	甲斐清和高校	36	1
91	10月7日 (金)	市川小学校	67	4	143	11月25日 (金)	鳥沢小学校	34	2
92	10月7日 (金)	禾生第一小学校	1	2	144	11月25日 (金)	甘利小学校	117	5
93	10月7日 (金)	増富小学校	5	4	145	12月1日 (木)	大河内小学校	14	4
94	10月7日 (金)	谷村第一小学校	2	1	146	12月7日 (水)	富士河口湖高校	70	5
95	10月12日 (水)	静川小学校	7	2	147	12月7日 (水)	富士河口湖高校	70	5
96	10月12日 (水)	西島小学校	7	2	148	12月8日 (木)	富士河口湖高校	70	5
97	10月12日 (水)	原小学校	10	3	149	12月8日 (木)	富士河口湖高校	70	5
98	10月12日 (水)	増穂小学校	107	7	150	12月14日 (水)	一宮北小学校	29	2
99	10月12日 (水)	池田小学校	110	7	151	12月19日 (月)	石和東小学校	32	3
100	10月12日 (水)	塩山南小学校	68	4	152	1月13日 (金)	猿橋小学校	38	4
101	10月12日 (水)	日川小学校	45	4	153	1月27日 (金)	韮崎小学校	49	4
102	10月13日 (木)	高根清里小学校	32	5	154	2月2日 (木)	春日居小学校	74	4
103	10月13日 (木)	明見小学校	90	4	155	2月3日 (金)	石和東小学校	37	4
104	10月13日 (木)	湯田小学校	33	3	156	2月3日 (金)	鱈沢小学校	30	2
105	10月13日 (木)	初狩小学校	19	3	157	2月9日 (木)	甲陵中学校	40	2
106	10月13日 (木)	那古小学校	18	2	158	2月23日 (木)	かえで支援学校(中等部)	16	7
107	10月13日 (木)	大月東小学校	50	5	159	2月24日 (金)	明野小学校	39	3
108	10月14日 (金)	玉幡小学校	72	4	160	2月24日 (金)	山梨大学附属支援学校(高等部)	10	6
109	10月14日 (金)	伊勢小学校	76	4	161	3月1日 (木)	甲府東中学校	6	2
110	10月14日 (金)	豊富小学校	31	2	162	3月7日 (水)	三富小学校	8	2
111	10月14日 (金)	芦川小学校	4	2	163	3月16日 (水)	御坂西小学校	77	5
112	10月17日 (月)	八田小学校	81	5			小 計	7,716	694
							総 計		8,410

③出前授業

■出前授業実施一覧

番号	実施日	主 催	学校名(会場)	内 容	担当職員	人数
1	平成23年5月16日(月)	かふる歴史倶楽部	甲府市立図書館	「柳沢吉保の人となり」	高橋 修	150
2	5月18日(水)	塩山高校	塩山高校	塩山の民俗	丸尾依子	60
3	5月28日(土)	甲斐市教育委員会	敷島総合文化会館	甲斐市歴史講座「古文書の読み方」	高橋 修	35
4	6月 1日(水)	塩山高校	塩山高校	総合的な学習の時間「日本を知る」	高橋 修	12
5	6月 4日(土)	山梨県考古学協会	身延町総合文化会館	山梨県考古学協会地域大会 寺院と金山のまち 身延「南部氏から穴山氏へー身延町の中世ー」	海老沼真治	90
6	6月 8日(水)	笛吹高校	笛吹高校	総合的な学習の時間「笛吹市の歴史」	平山 優	221
7	6月 9日(木)	ことぶき学院南巨摩	県立博物館	「山梨の歴史」	高橋 修	32
8	6月25日(土)	甲斐市教育委員会	敷島総合文化会館	甲斐市歴史講座「長塚村・中下条村の古文書を読む」	高橋 修	35

第Ⅱ編 事業・諸活動

番号	実施日	主催	学校名(会場)	内容	担当職員	人数
9	6月26日(日)	山梨県立考古博物館	風土記の丘研修センター	考古学講座「生ごみの考古学」	樋月 学	51
10	7月 3日(日)	江東区教育委員会	県立博物館	県立博物館の常設展示	丸尾依子	60
11	7月 6日(水)	ことぶき勸学院東山梨	県立博物館	県立博物館の常設展示	丸尾依子	26
12	7月 6日(水)	笛吹市立富士見小学校	笛吹市立富士見小学校	歴史紙芝居(湖水伝説)	天野 享 片山敬子	60
13	7月12日(火)	甲府市	甲府市役所	甲府市役所職員研修「柳沢吉保の人となり」	高橋 修	40
14	7月23日(土)	甲斐市教育委員会	敷島総合文化会館	甲斐市歴史講座「西八幡村の古文書を読む」	高橋 修	35
15	7月25日(月)	ことぶき勸学院中巨摩	県立博物館	県立博物館の常設展示	丸尾依子	52
16	7月27日(水)	笛吹市立富士見小学校	県立博物館	富士見小学校教員研修「県立博物館の利用法」	高橋 修	21
17	7月30日(土)	長野県立歴史館	長野県立歴史館	「市河家文書と山本勘助」	西川広平	133
18	8月 6日(土)	甲斐市教育委員会	敷島総合文化会館	甲斐市歴史講座「宇津谷村の古文書を読む」	高橋 修	35
19	8月16日(火)	甲府市教育委員会	甲府市教育研修所	総合教育研修講座「学校現場における博物館の活用についてー古文書の活用方法ー」	高橋 修	37
20	8月19日(金)	御坂地域教育協議会 笛吹市立御坂東小学校、御坂西小学校、御坂中学校	山梨県立博物館	山梨県立博物館の活用方法	天野 享 川崎 剛 岡田昌也	80
21	9月10日(土)	山梨文化学園	山梨文化会館	「黒駒勝蔵と甲斐の任侠」	高橋 修	51
22	9月22日(木)	甲府城下町を語る会	甲府市北公民館	「武田信虎」	平山 優	100
23	10月 7日(金)	東京電気大学商工懇話会	ホテルふじ	「柳沢吉保のリーダースhip」	高橋 修	38
24	10月13日(木)	ことぶき勸学院東八代	山梨県立博物館	「柳沢吉保と甲府城」展について	高橋 修	37
25	10月20日(木)	都留文科大学	都留文科大学	山梨の歴史「災害と人々ー明治四十年の大水害を中心にー」	小畑茂雄	160
26	10月20日(木)	笛吹市立石和東小学校	笛吹市立石和東小学校	社会科 「昔のくらし」	川崎 剛 天野 享 丸尾依子	31
27	10月22日(土)	豊川市桜ヶ丘ミュージアム	豊川市桜ヶ丘ミュージアム	豊川の人物誌展講演会「新発見の古文書にみる武田氏時代の山本菅助」	海老沼真治	44
28	10月24日(月)	笛吹市立一宮西小学校	笛吹市立一宮西小学校	総合「奈良時代の一宮町ー木簡を再現してみよう」	川崎 剛 海老沼真治	56
29	10月27日(木)	笛吹市立一宮西小学校	笛吹市立一宮西小学校	社会科 「昔のくらし」	天野 享 丸尾依子 岡田昌也	61
30	10月31日(月)	甲府市立笛南中学校	甲府市立笛南中学校	総合的な学習の時間「武田氏館と甲府城について」	高橋 修	53
31	11月 2日(水)	水曜会	岡島ロイヤル会館	柳沢吉保と甲斐国	西川広平	40
32	11月10日(木)	東京女子大学	東京女子大学	東京女子大学学会「博物館の資料保存活動」	高橋 修	32
33	11月11日(金)	ノートルダム清心女子大学	ノートルダム清心女子大学	視覚教育教育メディア論「ジオラマについて」	高橋 修	35
34	11月14日(月)	北杜市立武川中学校	県立博物館	柳沢吉保と甲斐国	西川広平	93
35	11月15日(火)	北都留地区教育研究協議会	上野原市立上野原小学校	北都留地区教育研究協議会上野原社会科分科会「子どもが意欲的に参加できる社会科の授業づくりについて」	高橋 修	12
36	11月16日(水)	甲州市郷土研究会	県立博物館	柳沢吉保と甲斐国	西川広平	63
37	11月20日(日)	山梨県立図書館	山梨県立図書館	川中島合戦 in 図書館 ミニ講演会「山本菅助と川中島の戦い」	海老沼真治	29
38	11月24日(木)	笛吹市立一宮西小学校	県立博物館	総合的な学習の時間「奈良時代の一宮町」	海老沼真治	120
39	12月 6日(火)	中央史学会中世史部会	中央大学	戦国期の治水・利水と村落	西川広平	14
40	12月10日(土)	甲府城下を語る会	甲府市北公民館	柳沢吉保の手紙を読む	高橋 修	51
41	12月15日(木)	笛吹市立石和東小学校	笛吹市立石和東小学校	山梨県の歴史	天野 享 川崎 剛	32
42	平成24年1月15日(日)	甲府城下町を語る会	遊亀公民館	「平家と甲斐源氏」	海老沼真治	56
43	1月20日(金)	昭和町立押原中学校	昭和町総合会館	総合的な学習の時間「山梨県の歴史・文化遺産について」	高橋 修	215
44	1月21日(土)	山梨文化学園	山梨文化会館	「柳沢吉保の手紙を読む」	高橋 修	36
45	1月30日(月)	笛吹市立石和東小学校	笛吹市立石和東小学校	総合的な学習の時間「古文書を読んでみよう」	高橋 修	37
46	2月 2日(木)	笛吹市立一宮西小学校	笛吹市立一宮西小学校	社会科 「昔の道具とくらし」	丸尾依子 天野 享 川崎 剛	61
47	2月 3日(金)	笛吹市立石和東小学校	県立博物館	社会科 「昔の道具とくらし」	丸尾依子 天野 享 川崎 剛	38
48	2月 6日(月)	山梨県タクシー協会	県立博物館	おもてなしタクシードライバー養成講座「山梨県の基礎情報」	高橋 修	36
49	2月 9日(木)	山梨県生涯学習センター	びゅあ総合	山梨学講座「山梨の人と文化10」山梨の仏教文化ー甲斐の人々と信仰ー	井澤英理子	140
50	2月19日(日)	山梨県大泉会	新宿ワシントンホテル	大泉会総会講演「ほうとうの起源」	中山誠二	50
51	2月22日(水)	山梨県タクシー協会	県立博物館	おもてなしタクシードライバー養成講座 「山梨県の歴史・地域情報 峡中・峡東編」	高橋 修	27
52	2月22日(水)	甲府市立石田小学校	甲府市立石田小学校	社会科 「昔の道具とくらし」	丸尾依子 天野 享 川崎 剛	61
53	2月23日(木)	山梨県タクシー協会	県立博物館	おもてなしタクシードライバー養成講座 「山梨県の歴史・地域情報 富士東部・峡南・峡北編」	高橋 修	9
54	2月25日(土)	山梨県養蚕士会 研修会	びゅあ総合	「山梨の食文化ー縄文農耕の可能性ー」	中山誠二	80
55	3月 1日(木)	山梨市立加納岩小学校	山梨市立加納岩小学校	社会科 「昔の道具とくらし」	丸尾依子 天野 享 川崎 剛	76
56	3月 2日(金)	甲府市立舞鶴小学校	甲府市立舞鶴小学校	社会科 「昔の道具とくらし」	丸尾依子 天野 享 川崎 剛	56
57	3月 6日(火)	山梨県生涯学習推進センター	びゅあ総合	山梨学講座 山梨の人と文化10ー山梨の仏教文化ー「他阿真教と甲斐の時宗寺院」	西川広平	108
58	3月14日(水)	山梨県生涯学習推進センター	びゅあ総合	山梨学講座 山梨の人と文化10ー山梨の仏教文化ー「シンポジウム 山梨の仏教文化」	井澤英理子 西川広平	112
59	3月15日(木)	甲斐市立双葉東小学校	甲斐市立双葉東小学校	総合「修学旅行事前学習(鎌倉)」	川崎 剛	103
60	3月16日(金)	笛吹高校	笛吹高校	総合「博学連携委員会」	川崎 剛	3
総 計						3,721

## ④職場体験

## ■職場体験実施一覧

実施日	学校名	学年	人数(人)
平成23年 7月 8日(金)	山梨市立山梨北中学校	2年	3
平成23年 7月27日(水)～7月28日(木)	山梨高等学校	2年	3
平成23年 7月27日(水)～7月29日(金)	中央高等学校	2、3年	2
平成23年 8月11日(木)～8月12日(金)	甲府市立甲府東中学校	2年	3
平成23年 8月11日(木)～8月12日(金)	笛吹市立春日居中学校	2年	2
平成23年11月 9日(水)～11月11日(金)	笛吹市立御坂中学校	2年	3
平成23年11月23日(水)～11月25日(金)	笛吹高等学校	1年	5
小計(中学校)			11
小計(高等学校)			10
総計			21

## ⑤「未来の山梨を描こう！」募集

	応募学校数(校)	応募人数(人)
小学校	28	181
中学校	6	15
合計	34	196

## ⑥子ども学芸員事業

「子ども学芸員事業」は、平成21年12月より試行が行われ、平成22年度より本格的に実施している。県民参画型博物館という側面をより一層充実させ、子どもから大人まで県民全体の文化に対する意識向上を図ることが目的とされる。来館した子どもたちにレポートを課し、合格した児童・生徒を「子ども学芸員」に任命するというもの。「子ども学芸員」には招待状を渡し、家族や地域の人に山梨の魅力を伝えてもらう。平成23年度は928名を認定し、現在までのところ、3,159名が初級に認定されている。

## ■子ども学芸員認定状況(平成23年度)

番号	来館日	学校名	学年	人数	常設展	企画展	備考
1	平成23年 5月11日(水)	富士川町立鯉沢小学校	6	42	○		
2	5月27日(金)	中央市立玉穂南小学校	6	41	○		
3	7月 6日(水)	笛吹高等学校	1	221	○		
4	9月16日(金)	甲府市立山城小学校	3	142	○		
5	10月17日(月)	南アルプス市立八田小学校	4	81	○		
6	10月21日(金)	北杜市立須玉小学校	6	55	○	○	「柳沢吉保と甲府城」展
7	10月27日(木)	笛吹市立一宮西小学校	4	61			出前授業
8	11月24日(木)	笛吹市立一宮西小学校	6	56	○		親子活動
9	12月15日(木)	笛吹市立石和東小学校	6	32			出前授業
10	12月19日(月)	笛吹市立石和東小学校	4	35	○		
11	平成24年 1月30日(月)	笛吹市立石和東小学校	5	37			出前授業
12	2月 2日(木)	笛吹市立一宮西小学校	3	50			出前授業
13	2月 3日(金)	笛吹市立石和東小学校	3	38	○		
14	3月19日(月)	ふるさと山梨郷土学習コンクール		13			
15	3月19日(月)	押し葉標本作品展		16			
16	3月19日(月)	高校社会科学研究		8			
認定数				928名			

※押し葉標本作品展及び高等学校社会科学研究発表大会の優秀作品を平成23年12月7日(水)～平成24年1月20日(金)まで当館ロビーに展示。  
 ※ふるさと山梨郷土学習コンクール及び高等学校社会科学研究発表大会の優秀作品を「おふどうと名乗った家－豪商大木家の350年－」展の開催期間に合わせ、平成24年1月27日(金)～同年3月5日(月)まで当館ロビーに展示。

## ⑦大学教育との連携

## i 学芸員実習

【期間】平成23年8月4日(木)から同年8月14日(日)まで(計10日間)

【受け入れ人数】8名(男1名、女7名)

【実習生所属大学】

- ・山梨県内：都留文科大学 2名、帝京科学大学 1名、山梨英和大学 3名
- ・山梨県外：金沢大学 1名、帝京大学 1名

【実習内容】

- ・県立博物館の概要と役割などについての概説と施設見学
- ・学芸員が行う調査研究・展示・資料保存など各業務についての分野別講義及び実習
- ・企画交流事業についての講義及び実習
- ・県立博物館職員との意見交換会

ii 大学非常勤講師の受託

担当職員	大学名	期間
井澤英理子	山梨英和大学（博物館実習）	平成23年 4月 1日（金）から平成24年 3月31日（土）まで
沓名 貴彦	帝京科学大学（博物館各論Ⅰ）	平成23年 4月 1日（金）から平成24年 3月31日（土）まで
高橋 修	山梨県立大学（日本の歴史Ⅰ）	平成23年 4月 1日（金）から平成23年 9月30日（金）まで
中山 誠二	首都大学東京（考古学特殊講義Ⅱ）	平成23年 4月 1日（金）から平成24年 3月31日（土）まで
西川 広平	中央大学（日本史学基礎演習Ⅱ）	平成23年 4月 1日（金）から平成24年 3月31日（土）まで

⑧発行物

名称	発刊日	体裁
『博物館活用事例集⑧ 山梨県立博物館を活用したティーチャーズクラブの先生による学習活動事例集』	平成24年3月26日	簡易印刷

※ 県内の小中高特別支援学校全校及び山梨県教育委員会、各教育事務所、市町村教育委員会、総合教育センターなどに配布。

(3) 博物館同士のネットワーク

①ミュージアム甲斐・ネットワーク

i ミュージアム甲斐・ネットワーク会議

■平成23年度第1回会議

日時：平成23年6月2日（木）

場所：総合教育センター

内容：夏休み自由研究プロジェクト

ネットワーク会議HPについて

研修会「東日本大震災後の史料保全活動」 講師 佐藤大介 氏（宮城歴史史料保全ネットワーク）

■平成23年度第2回会議

日時：平成23年7月22日（金）

場所：県立博物館

内容：研修会 ミュージアム甲斐ネットHP活用方法研修（㈱少國民社担当）

■平成23年度第3回会議

日時：平成24年1月23日（月）

場所：県立博物館

内容：ミュージアム甲斐ネットHPキャンペーンについて

研修会「文化財レスキュー」 講師 栗原祐司 氏（文化庁文化財部美術学芸課長）

## ii 博物館を活用した夏休み自由研究プロジェクト

開催日時	開催場所	参加者数（人）	参加者数（館）
平成23年7月18日（月）	アイメッセ山梨	618	33

## ②縄文王国山梨

今年度の事業としては、平成23年8月21日（日）にふるさと文化伝承館において実施された巡回イベント「縄文王国やまなし」（参加者数28名）、平成24年1月29日（日）に釈迦堂遺跡博物館において実施された同イベント（参加者数108名）にそれぞれ参加した。

## (4) 広 報

年4回の「かいじあむ通信 K a i（交い）」の発行や、常設展チラシ・ポスター・パンフレット、企画展・シンボル展のチラシ・ポスター、県政だより「ふれあい」、県教育委員会広報誌「教育やまなし」、県政テレビ放送、県政ラジオ放送等の各種媒体を用いて広報に努めてきた。

今後とも広報活動の充実に努め、県立博物館のPRを積極的に実施する。

## ■各種だより、リーフレット類一覧

上述のとおり、広報には各種媒体を用いてきたが、多岐にわたるため、紙媒体で県立博物館が主体となって作成したものを中心に掲載する。

誌 名	発行期日
「かいじあむ通信 K a i（交い）」第22号	平成23年 6月 1日
「かいじあむ通信 K a i（交い）」夏休み特別号	平成23年 6月24日
「かいじあむ通信 K a i（交い）」第23号	平成23年 9月 1日
「かいじあむ通信 K a i（交い）」第24号	平成23年12月 1日
「かいじあむ通信 K a i（交い）」第25号	平成24年 3月 1日

## 第6章 施設の整備・管理

### (1) 安全快適な施設づくり

県立博物館では、山梨の歴史や文化について、人々が快適に学ぶ環境を整えるために、安全かつ快適な施設・整備の管理に努めている。

#### ■防災訓練等非常時における対応訓練の実施

県立博物館では、来館者の安全を守るための避難誘導や初期消火等を円滑に進めることを目的に、職員を対象に訓練を実施している。

#### ・防災訓練

回数	開催日	内容
第1回	平成23年9月9日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災を想定した常設展示室からの総合防災訓練</li> <li>・避難経路、消防設備等の確認</li> </ul>

### (2) 施設開放

県立博物館は開かれた博物館を目指し、施設の一部を一般に開放している。その利用状況は次のとおりである。

年月	生涯学習室		交流室	
	利用人数 人	利用金額 円	利用人数 人	利用金額 円
平成23年4月	284	7,600	0	0
5月	114	11,820	0	0
6月	254	24,290	0	0
7月	331	19,250	0	0
8月	200	8,610	0	0
9月	108	11,060	0	0
10月	178	6,700	0	0
11月	206	10,440	0	0
12月	63	3,800	15	1,540
平成24年1月	99	9,930	0	0
2月	357	24,600	0	0
3月	190	13,200	0	0
計	2,384	151,300	15	1,540

## 第7章 情報の発信と公開

### (1) 資料閲覧室の利用状況

資料閲覧室は、博物館展示をとおして利用者が持った歴史等に対する探求心や日常の学習意欲に応えるための資料・情報を提供するとともに、研究者、学芸員等の調査研究に必要な文献を的確に収集、整備し、その研究活動を支援する役割を担う。

#### ■利用時間

- 午前9時から午後5時まで
- (書庫内資料の請求、複写申込は午後4時30分まで)
- (即日閲覧資料の請求は、午後3時まで)
- 入室は無料

#### ■資料検索

資料閲覧室内の利用者端末(2台)により収蔵資料、図書・雑誌等の書誌情報やレファレンスデータの検索が可能となっている。フリーワード検索では、資料名、作者名、発行者名などの一部からも検索ができる。ホームページの収蔵資料案内からも同様に検索が行える。

#### ■資料閲覧

- ・図書、雑誌は来館者が自由に閲覧できる。室内には各分野の辞典類や歴史に関する書籍、郷土研究についての資料、『山梨県史』や県内の市町村史誌類、逐次刊行物など約2,500冊が配架されている。書庫内の図書資料も職員に請求することにより、閲覧が可能である。
- ・歴史資料等のうち「甲州文庫」の画像データは資料閲覧室内の端末で閲覧できる。
- ・収蔵資料のうち、即日閲覧対象資料(古文書・古記録・版木等)、「甲州文庫」及び古文書のデジタル・マイクロフィルムは即日閲覧可能である。
- ・即日閲覧対象外の原資料については、「歴史資料等閲覧申請書」により事前に申し込み、博物館職員の立会いのもと所定の日時・場所で閲覧する。

#### ■資料撮影

原資料についての撮影は、「歴史資料等撮影申請書」により事前に申し込み、許可された場合は、「歴史資料等撮影決定通知書」に従い、博物館職員の立会いのもと所定の日時・場所で行う。

#### ■レファレンスサービス

質問や調査事項に応じて、参考資料や文献を紹介し、利用者の調査・研究活動の援助を行っている。専門的な質問については、必要に応じて学芸員が調査・研究の成果に基づき回答している。

#### ■コピーサービス(有料)

著作権法に基づき、博物館所蔵の図書・雑誌等の活字資料、「甲州文庫」等のマイクロ・デジタル化資料の複写サービスを行っている。

#### ■展示関連資料紹介

当館で開催する企画展・シンボル展への関心や理解を更に深めてもらうために、期間中資料閲覧室内に関連資料の紹介コーナーを設けている。

#### ■キッズライブラリー

山梨発見エリア内のキッズライブラリーには、小・中学生向けの歴史の調べ方や自然観察の本、幼児のための絵本などを揃えている。

#### ■ビデオライブラリー

山梨発見エリア内のビデオブース(3台)では、歴史・文化財に関するビデオ・DVDなどを視聴することができる。

■平成23年度資料閲覧室利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
入室者	309人	425人	248人	366人	473人	193人	270人	276人	114人	203人	219人	258人	3,354人
ビデオ利用	116件	123件	74件	75件	146件	28件	63件	78件	22件	24件	66件	56件	871件
レファレンス	レファレンス	11件	33件	16件	14件	26件	16件	47件	33件	18件	28件	22件	290件
	利用相談	33件	34件	19件	24件	38件	22件	29件	16件	12件	21件	22件	291件
	小計	44件	67件	35件	38件	64件	38件	76件	49件	30件	49件	44件	581件
複写	件数	28件	39件	26件	38件	47件	22件	42件	28件	20件	36件	30件	388件
	電子式	717枚	342枚	125枚	240枚	573枚	424枚	476枚	306枚	165枚	433枚	373枚	4,537枚
	マイクロデジタル	88枚	704枚	1,019枚	154枚	49枚	136枚	384枚	318枚	184枚	150枚	144枚	3,342枚
	小計	805枚	1,046枚	1,144枚	394枚	622枚	560枚	860枚	624枚	349枚	583枚	517枚	7,874枚



展示関連資料紹介「川中島の戦いー戦後450年ー」  
 期間：平成23年9月10日（土）から同年9月26日（月）まで

(2) 博物館総合情報システム

山梨県立博物館は、山梨の歴史や文化・産業など広範な分野にわたる膨大な資料情報を一元的に管理し、効率的な博物館運営を行うため、博物館総合情報システムを導入している。このシステムの活用によって広く館内外に情報発信を行い、県民の山梨の歴史に関する興味を喚起し、多くの人に親しまれる「開かれた博物館」が実現することを目的としている。平成23年度は、システムの更新を行い、平成24年3月1日に本稼働させた。

このシステムは、以下の4つのシステムから構成される。

■活動支援システム

活動支援システムは、博物館の管理運営を支援するシステムである。チケット発券や来館者数管理のシステム化や自動化、団体・施設の予約管理等の支援を行ってきた。あわせて、これらの情報をグループウェアにより共有化し、効率的な運営の補助を行ってきた。しかし、今回の更新に伴い、来館者数管理のみのシンプルな構成とした。

■データベースシステム

博物館資料の管理システムとして、収蔵資料・図書資料等に関する各種情報を一元的に管理するためのシステムである。資料の受入情報から収蔵情報、付随する資料のメディアファイル類も、一元的に管理が可能となる。そして、データベースから常設展示情報端末への資料情報連携を行う展示システムも含まれる。

■利用者公開システム

データベースシステムで管理されている情報を、利用者の必要に応じて加工し、館内外で情報発信を行うシステムである。館内では、資料閲覧室における収蔵資料・図書情報検索や地域インデックスにおける各種県内情報等の発信がある。館外では、博物館ホームページにおける情報発信や、その中での収蔵資料・図書

情報検索があった。今回の更新に伴い、レファレンスデータの一般公開を開始した。

#### ■ネットワークシステム

情報処理室には各種サーバが設置され、そこを拠点に館内にはLANが張り巡らされている。そして、インターネットへは情報処理室から隣接する総合教育センターを経由して接続されている。館内におけるセキュリティは、山梨県情報セキュリティに準じている。

### (3) 博物館ホームページ

平成17年10月1日より現ホームページの公開を開始し、展示案内・イベント案内等を公開しているほか、随時ページの増設、更新を行っている。

#### 【ホームページの主な更新履歴】

平成24年2月10日 アクセス数48万件を突破

3月1日 レファレンスデータベースの公開

「収蔵資料案内」ページの更新：収蔵資料・図書・レファレンスの検索を行うことができるページを、随時更新している。平成23年度にはデータの精査をし、重複箇所の統合、削除を行った。

検索可能件数（平成24年3月現在） ・収蔵資料 82,704件  
 ・図書類 37,750件  
 ・レファレンス 401件



QRコード  
 携帯電話で読み取ると、  
 県立博物館の携帯電話  
 用ホームページにアク  
 セスできます。

PC向けURL：<http://www.museum.pref.yamanashi.jp/>

携帯電話向けURL：<http://www.museum.pref.yamanashi.jp/mb>

アクセス件数（アクセスカウンタによる数値）

年 月	件数/月	1日平均	昨年度件数
平成23年 4月	7,505	250	7,340
5月	7,283	235	7,603
6月	6,550	218	6,609
7月	8,554	276	8,312
8月	9,613	310	9,894
9月	6,925	231	6,137
10月	6,904	223	7,760
11月	6,673	222	6,379
12月	4,923	159	4,503
平成24年 1月	6,216	201	5,558
2月	6,158	212	5,607
3月	7,117	230	6,421
合 計	84,421	231	82,123

## 第8章 県民参画

### (1) NPOとの連携

平成23年度に実施したNPOとの連携事業の一覧は次のとおりである。

まず、「かいじあむ検定」については企画展・シンボル展ごとに実施し、展示会の見どころについてより楽しんでいただくクイズ形式のものが定着化している。新たな試みとして、テレビやイベントをとおして県民の間で人気の高い「サクライザー」を招き、「歴史の中の昆虫たち－大昆虫博覧会－」展に関連した内容のショーを実演したことで、大勢の家族連れ利用者を獲得し得た。また、甲府市にゆかりの深い「柳沢吉保と甲府城」展・「おふどうと名乗った家－豪商大木家の350年－」展の関連イベントとして、甲府市立図書館の展示室を利用してそれぞれ関連ミニ展示会を開催し、当館への利用誘導を図った。

「通信簿ツアー」の詳細は第Ⅰ編第2章を参照されたい。

「収藏品ゆかりの地ツアー」については、現地に直接集合し、案内を行った。これまでのコース設定は県内を中心に巡っていたが、平成23年度は「柳沢吉保と甲府城」展にあわせて、東京都の六義園ツアーを実施し、県外の参加者を当館に誘客するという試みを新たに実施した。また、甲府城ツアーにおいては甲府城案内ボランティア「甲府城御案内仕隊」に、六義園ツアーの際は六義園ボランティアガイドにそれぞれ案内を依頼し、参加者とボランティアとの積極的交流を行った。

以上のとおり、昨年に引き続き、NPOを介して当館と様々な団体が連携する事業の在り方は、地域連携の強化を目指す当館の運営方針を実現させる試みであり、今後も引き続き実施することとしたい。

#### ①かいじあむ検定

実施日	事業名	開催場所	参加者数(人)
平成23年7月23日(土)	かいじあむにサクライザーがやってくる!	県立博物館	230
平成23年8月20日(土)	かいじあむにサクライザーがやってくる!	県立博物館	273
平成23年10月18日(火)から 同年10月30日(日)まで	「柳沢吉保と甲府城」ミニ展示	甲府市立図書館	316
平成24年1月7日(土)から 同年1月15日(日)まで	「おふどうと名乗った家 －豪商大木家の350年－」ミニ展示	甲府市立図書館	299
参加者数合計			1,118

#### ②通信簿ツアー

実施日	事業名	開催場所	参加者数(人)
平成23年8月7日(日)	通信簿ツアー	県立博物館	154
8月18日(木)	通信簿ツアー	県立博物館	12
参加者数合計			166

#### ③収藏品ゆかりの地ツアー

実施日	事業名	開催場所	参加者数(人)
平成23年10月16日(日)	「柳沢吉保と甲府城」展ゆかりの甲府城ツアー	甲府市	40
11月23日(水)	「柳沢吉保と甲府城」展ゆかりの六義園ツアー	東京都 六義園	33
平成24年2月4日(土)	甲府城下における大木家ゆかりの地ツアー	甲府市	110
参加者数合計			183

※委託先のNPOについては、平成23年5月27日(金)に県民参画事業実施先NPO審査会を開催し、その結果、各事業ともNPO法人「つなぐ」に委託することとなった。



平成23年7月23日（土）実施の「かいじあむ検定」の様子。県民の間で人気の高いサクライザショーを実施することで、大勢の家族連れ利用者層を獲得した。



平成23年10月18日（火）から同年10月30日（日）まで実施した「柳沢吉保と甲府城」ミニ展示の様子。これまでは館内を主会場として実施していたのに対し、甲府市教育委員会・甲府市立図書館と連携して同図書館内の一室を会場提供いただき、誘客を図るという新たな試みを実施した。

## (2) 博物館協力会（ボランティア）との連携

当館におけるボランティア活動は、原則として山梨県立博物館協力員によるものである。会員数は若干の変動があるが、概ね60名ほどの協力員が館の主催する様々な活動を支援してきた。

県立博物館協力員の主たる活動は次のとおりである。

- ・来館者への展示ガイド、及び体験型展示の利用の補助
- ・館蔵の図書、資料、写真などの整理
- ・ミュージアムショップの運営
- ・館が行うイベントなどの補助や島など野外施設の管理
- ・広報物発送の補助

これまで会員数が70～80名程度で推移していたことを踏まえると、人数が減少傾向にあり、今後、会員増が大きな課題である。

### ■平成23年度の協力会の主な活動

平成23年6月11日（土）協力会総会（平成22年度事業・決算報告、23年度事業計画・予算の決定）

同日 親睦会開催

9月9日（金）接遇研修

10月26日（水）協力会研修旅行（静岡市立登呂遺跡博物館・静岡県立美術館）

10月31日（月）茶話会開催

平成24年3月4日（日）協力会研修旅行「講演会 富士山の価値と山岳信仰」（於 富士吉田市民会館）

その他、常時実施したのは次の活動である。

- ・ショップ運営…ミュージアムショップ当番
- ・資料整理補助…「大木家資料」約2,000点の整理について資料専用封筒詰め、ナンバリング、目録のパソコン入力等の作業で協力を得た。
- ・イベント補助…年4回のお祭りイベント、月1回の子ども工房、その他不定期イベントの補助



平成23年10月26日（水）に実施された研修旅行の様子。静岡市立登呂遺跡博物館を訪問し、特別展「発掘された日本列島2011」を観覧した。



平成24年2月18日（土）に実施された「シイタケを植えてみよう」イベントの様子。様々なイベントにおいて協力員が参加者に対し、おもてなしをしている。

## 第9章 組織・人員

### (1) 職員の資質向上

#### ①職員参加研修一覧

氏名	研修名	主催	場所	期間	研修内容
高橋 修	ミュージアム・マネジメント研修	文化庁	国立新美術館	平成23年12月12日(月)～14日(水)	博物館運営全般について
高橋 修	新学芸員養成課程対応特別研修会	日本ミュージアム・マネジメント学会	大妻女子大学	平成23年12月17日(土)	博物館運営・博物館教育について
丸尾依子	平成23年度歴史民俗資料館等専門職員研修会	文化庁・国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館	平成23年11月14日(月)～18日(金)	歴史民俗資料館における調査・収集・保存・公開等に関する専門的知識と技能の研修

#### ②展示交流員研修一覧

日時	内容
平成23年4月中	新任交流員に対し、紙芝居の読み方研修を随時、実施
平成23年9月9日(金)	①自衛消防訓練を行い、安全・安心の確保に努めることなど幅広い研修を実施 ②接遇研修、常設展スルーガイドの案内の仕方研修を実施
平成23年11月中	紙芝居の読み方研修を随時、実施

### (2) 第三者委員会

#### ①山梨県立博物館運営委員会

##### i 運営委員会委員名簿(五十音順、敬称略)

氏名	勤務先・役職等
小澤 龍一	働やまなし文化学習協会生涯学習センター前所長 みんなでつくる博物館協議会委員長
清雲 俊元	山梨郷土研究会理事長 資料・情報委員会委員長
五味 文彦	放送大学教授 東京大学名誉教授
萩原 三雄	帝京大学山梨文化財研究所所長
早川 源	公益財団法人山梨総合研究所副理事長
守屋 正彦	筑波大学教授

##### ii 運営委員会の検討状況

##### ■第20回運営委員会

日時：平成23年6月24日(金)

検討内容：平成24年度以降の企画展について

平成24年度以降の調査研究事業について

##### ■第21回運営委員会

日時：平成23年11月4日(金)

検討内容：平成24年度以降の企画展について

開館5周年年度目の総合評価について

所蔵資料の文化財指定について

##### ■第22回運営委員会

日時：平成24年3月1日(木)

検討内容：開館5周年年度目の総合評価について

今後の運営について

平成24年度以降の企画展について

## ②山梨県立博物館資料・情報委員会

第Ⅱ編第3章(1)で詳述

## ③みんなで作る博物館協議会

## i みんなつく委員名簿（五十音順、敬称略）

氏名	勤務先・役職等
植松 光宏	なまよみ文庫館長
小澤 龍一	㈱山梨文化学習協会生涯学習推進センター前所長
数野 妙子	笛吹市立富士見小学校教諭
齋藤 康彦	山梨郷土研究会理事
新海 一男	山梨県中小企業団体中央会専務理事
谷口 一夫	甲斐黄金村・湯之奥金山博物館長
丹沢 良二	㈱タンザワ会長
出澤 忠利	㈱印傳屋上原勇七総務部長
戸田 達昭	シナプテック㈱ 代表
長沢 宏昌	石和温泉活性化研究会副理事長
名取 武師	山梨県公立小中学校校長会
八田 知子	ホテル八田代表
山本 育夫	特定非営利活動法人つなぐ理事長
横内 金弥	山梨県農業協同中央会専務理事
渡辺 昭夫	富士河口湖旅館組合前組合長・現相談役

\*表は平成23年9月1日（木）からの委員名簿である。なお、平成23年8月31日（水）までの委員名簿は『平成22年度年報』68頁を参照されたい。

## ii みんなつく検討状況

## ■平成23年度第1回みんなつく協議会

日時：平成23年12月15日（木）

検討内容：県立博物館の総合評価と今後の課題について

国民文化祭と連携した展示会の開催について

博学連携の強化について

ミュージアム甲斐・ネットワーク広報の強化について

## 第10章 外部支援と連携

### (1) 外部支援

#### ■外部資金を得た調査研究

第Ⅱ編第2章(1)で詳述

### (2) 外部との連携

#### ①「笛吹市と県立博物館との連携にかかる協定」に基づく福島原発被災者支援事業

平成23年3月の東日本大震災で発生した東京電力福島原子力発電所災害により避難生活を送られている方に対し、笛吹市では被災者支援事業として市内宿泊施設へ受け入れを行い、やすらぎの一時を過ごしていただくこととなった。その際、被災者の皆様に宿泊先周辺に案内し、当館も見学先として加わった。

当館と笛吹市との間では、平成22年10月12日（火）に各種事業における連携について協定書を結んだことから、被災者の皆様に無料見学で招待し、山梨の歴史や文化について理解を深めていただくこととした。その実施状況については次のとおりである。

来館年月日	人数（人）
平成23年6月22日（水）	480
平成23年7月28日（木）	100
平成23年9月28日（水）	93

#### ②文化財レスキュー事業

##### ■文化財レスキューのための職員派遣

平成23年3月に発生した東日本大震災により、多くの文化財が消失・破損した。そのことを受けて、文化庁により文化財レスキュー事業が実施され、文化財・美術関係団体と連携を図りながら「東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会」（以下「救援委員会」）が組織された。救援委員会は日本博物館協会（以下「日博協」）と連携を図り、日博協を介して全国各地の博物館に文化財レスキューのための職員派遣の要請を行った。

当館では文化財を守ることをその整備の目的としていることから、保存文化財レスキューに協力体制をとり、職員派遣の依頼があった場合には、調整の上、派遣に応じることとしている。日博協からの依頼に基づき、次のとおり職員の派遣を行った。

今後も同種の要請があれば、出来得る限り応じることとしたい。あわせて山梨県内において災害時の文化財レスキュー体制を構築することも今後の課題である。

派遣期間	派遣職員	派遣先	レスキューの内容
平成23年7月2日（土）から同年7月4日（月）まで	中山誠二 高橋 修	悠里館（宮城県 亶理町郷土資料館）、 亶理町個人宅、石巻市門脇小学校	水損資料の洗浄作業、資料の搬出作業
平成23年7月19日（火）から同年7月22日（金）まで	小畑茂雄	陸前高田市立生田小学校	水損資料の洗浄作業及び整理作業



平成23年7月2日（土）  
悠里館（亶理町郷土資料館）における  
水損資料の洗浄作業の様子

##### ■文化財レスキュー事業紹介コーナーの設置

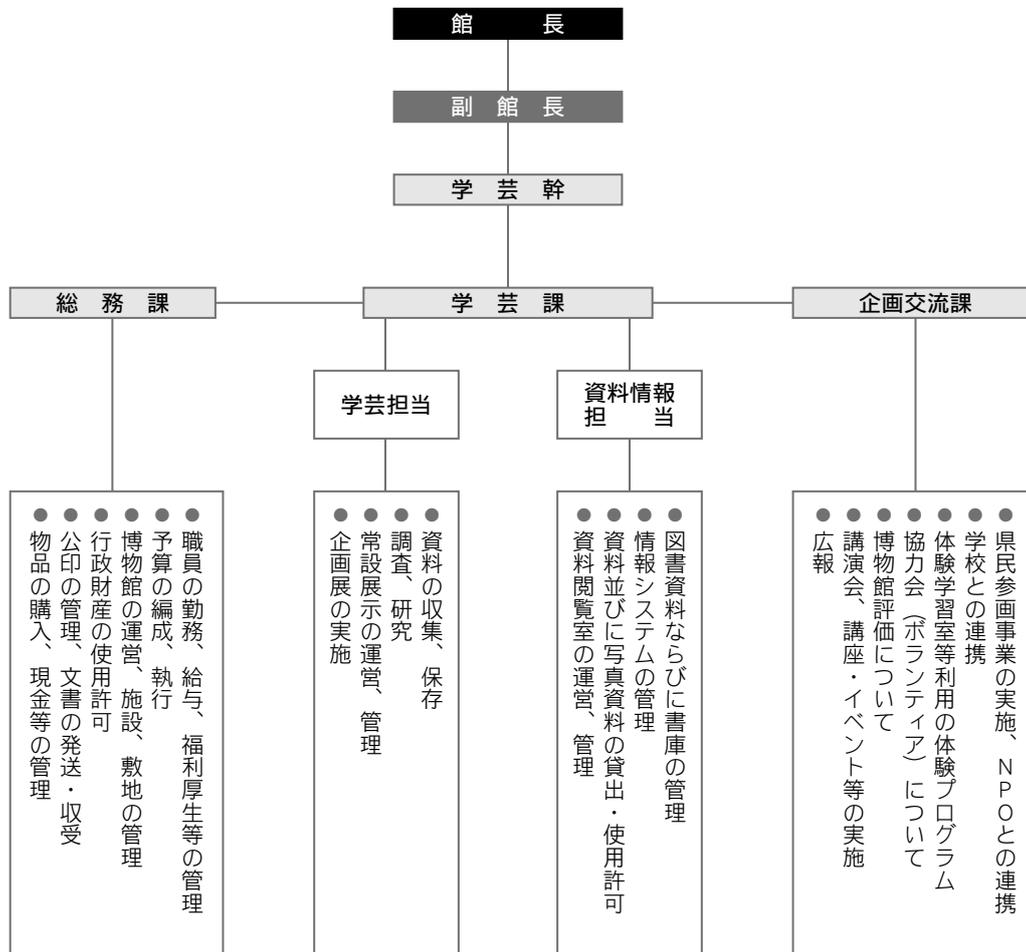
毎年11月1日から同7日までの1週間は文化財保護強調週間として国によって定められ、文化財保護にまつわる様々な事業が全国で実施されている。当館では、文化財レスキュー事業に関する紹介コーナーを次のとおり設置することで、文化財の保護が県立博物館の基本的役割の一つであることを利用者に周知し、広く同事業について理解を求めた。

- ・日時：平成23年11月3日（木）から同年11月7日（月）まで
- ・場所：山梨県立博物館ロビー
- ・内容：文化財レスキュー事業についてパネル及び映像で紹介

# 第Ⅲ編 各種資料

## 1 組織・職員等名簿

### ■組織図



### 関係委員会

#### 運営委員会

- 博物館運営全般の専門的指導
- 企画展テーマ等に関する協議
- 共同調査、研究テーマ等に関する協議

#### 資料・情報委員会

- 資料収集の適否の審議
- 資料・情報の収集方針の検討
- 資料・情報の活用計画検討

#### みんなでつくる博物館協議会

- 利用者の立場からの博物館運営の検討
- 博物館評価制度の検討

■関係委員及び職員名簿

●山梨県立博物館運営委員会委員

第Ⅱ編第9章(2)参照

●山梨県立博物館資料・情報委員会委員

第Ⅱ編第3章(1)参照

●みんなでつくる博物館協議会委員

第Ⅱ編第9章(2)参照

●博物館職員(H24. 3. 31現在)

館長	平川南
副館長	三枝仁也
総務課	
課長	河野彰
主査	荻野貴史
主任業務員	白倉政富
非常勤嘱託	名取美穂
非常勤嘱託	宮澤真央
非常勤嘱託	飯沼美奈子
非常勤嘱託	小幡理美
非常勤嘱託	五味聖子
非常勤嘱託	古屋恵里佳
非常勤嘱託	長田征也
非常勤嘱託	片山敬子
非常勤嘱託	古屋みどり
非常勤嘱託	神山明子
非常勤嘱託	松野美波
非常勤嘱託	河西悠佑
非常勤嘱託	小川典子
非常勤嘱託	天野幸代
非常勤嘱託	郷田敦子
非常勤嘱託	羽田英雄
非常勤嘱託	小林史枝
非常勤嘱託	村松亜紀子
臨時職員	早川美保

学芸課

課長	中山誠二	考古学
学芸担当		
学芸員	井澤英理子	美術
学芸員	西川広平	歴史
学芸員	植月学	古環境
学芸員	近藤暁子	美術
学芸員	小畑茂雄	歴史
学芸員	海老沼真治	歴史

資料情報担当

副主幹	外川豊子	
副主幹	平山優	
学芸員	杳名貴彦	保存科学
非常勤嘱託	小澤史葉	
非常勤嘱託	宮澤富美恵	

企画交流課

課長	中山誠二	考古学
		(学芸課長兼務)
学芸員	高橋修	歴史
副主幹・教育主事	天野享	
主査・教育主事	川崎剛	
学芸員	丸尾依子	民俗
非常勤嘱託	村松	
非常勤嘱託	岡田昌也	

## 2 平成23年度予算額

単位：千円

事業名	予算額	事業内容
博物館事業費	78,664	企画展運営、調査・研究事業、運営委員会・みんつく運営経費
歴史資料等収集費	16,073	歴史資料等の収集・保存・管理・修復、図書資料の整備
博物館運営費	207,059	施設管理、常設展示機器管理、非常勤職員人件費
合計	301,796	

※ 職員給与費を除く

## 3 年間日誌

## ■主な出来事及び新聞記事から抄

- ・平成23年4月 山梨県が葛飾北斎「富嶽三十六景 甲州石班澤」初刷りを購入、県立博物館で公開（平成23年4月13日付「山梨日日新聞」ほか）
- ・平成23年7月 東日本大震災における県内避難者への共通定期観覧券（ミュージアム甲斐in券「絆」）を提供
- ・平成23年7月 県立博物館職員が東日本大震災被災地で文化財レスキュー活動（平成23年8月17日付「山梨日日新聞」）
- ・平成23年8月12日（金）「歴史の中の昆虫たち」展来場1万人を突破（平成23年8月13日付「山梨日日新聞」）
- ・平成23年9月14日（水）山梨県が県立博物館の収蔵資料として、戦国時代の甲州金購入を発表（平成23年9月15日付「朝日新聞」ほか）
- ・平成23年10月8日（土）「柳沢吉保と甲府城」展開幕、新発見の柳沢吉保像を初公開（平成23年10月8日付「山梨日日新聞」ほか）

## ■外国人の利用実績

来館年月日	来館者	人数
平成23年8月18日（木）	語学指導を行う外国青年招致事業	30
平成23年11月9日（水）	中国四川省成都市農民研修プロジェクト訪日研修	8

---

---

平成23年度 山梨県立博物館年報

発行日 2012(平成24)年7月30日  
編集・発行 山梨県立博物館  
〒406-0801  
山梨県笛吹市御坂町成田1501-1  
TEL 055 (261) 2631  
印刷 株式会社 島田プロセス

---

---